

# 公益財団法人 日本水泳連盟 飛込委員会資料

2024 年 12 月 21 日（土）：オンライン zoom

## < 目次 >

1. 強化・普及部
2. 競技部
3. 審判部
4. 総務部
5. 競技力向上コーチ委員会
6. ブロック

・北海道・東北・関東・北信越・東海・近畿中国・四国・九州

## 2024年度飛込委員会強化部 全国会議資料

1. 2024年シニア強化指定選手選出要項
2. 2023年上期～2024年下期 ジュニアナショナル選考基準
3. 2024年下期～2025年上期 強化指定選手一覧
4. 2025年度国際大会（シンガポール世界選手権）派遣選考内容
5. 2025年度ユニバーシティーゲーズ大会派遣選考内容
6. オリンピックメダリスト特別強化事業  
玉井陸斗選手オーストラリア強化合宿遣
7. ナショナルジュニア・エリート小学生強化事業項
8. 2024年度下期ジュニア特別強化（海外大会派遣）事業
9. world Aqua 公認大会自主参加について
10. 2024年度上期 国際大会派遣結果

## 2024 シニア強化指定選手選出要項

## 1、目 標

2028 ロスアンゼルスオリンピック及び2032 ブリスベンオリンピックにおけるメダル獲得

## 2、強化期間

2024年10月1日～2025年9月30日

## 3、選出方法

(1) 2024 日本選手権における個人及びシンクロペアの選考基準達成率（「基準得点の達成率」と「基準難易度の達成率」の平均）の高い順に候補選手を選出。

\* 基準得点の達成率は予選・決勝の得点合計の平均、基準難易度の達成率は決勝の難易度合計を採用する。

(2) 選考基準達成率を「5、強化カテゴリー別選出基準」に照らし合わせ強化カテゴリーを決定。

## 4、選考基準

男子選考基準					
対象大会	内容	3 m 飛板飛込	高飛込	3 m シンクロ	高飛込シンクロ
日本選手権	難易度合計	19.9	20.3	13.4	13.1
	得点合計	410	450	365	370

女子選考基準					
対象大会	内容	3 m 飛板飛込	高飛込	3 m シンクロ	高飛込シンクロ
日本選手権	難易度合計	15.0	15.4	9.0	9.4
	得点合計	300	310	280	290

## 5、強化カテゴリー別選出基準と強化内容

	強化カテゴリー別選出基準	強化内容
シニア A	「基準得点の達成率」と「基準難易度の達成率」の合計平均が 100% を満たした者及びペア	・国内強化合宿 ・NTC 利用 ・JISS サポート
シニア B	「基準得点の達成率」と「基準難易度の達成率」の合計平均が 95% を満たした者及びペア	・国内強化合宿（※参加費一部負担） ・NTC 利用 ・JISS サポート
シニア C	「基準得点の達成率」と「基準難易度の達成率」の合計平均が 90% を満たした者及びペア	・NTC 利用 ・JISS サポート

NTC=ナショナルトレーニングセンター（日環アリーナ栃木）、 JISS=国立スポーツ科学センター

## 6、その他、

(1) 実績を踏まえ、強化部推薦により強化選手の選出及び継続、また強化カテゴリーの昇格を行う場合もある。

(2) シンクロ競技の強化ペアの選出は、2028年ロスオリンピックまでペアを継続する者に限る。

(3) 強化指定選手及び選考基準は、年度ごとに見直しを図る。

2023年上期～2024年下期 ジュニアナショナル選考基準

Men

区分	対象大会	条件	内容	飛板	高飛	目標・参加対象大会	
トップ	日本選手権 室内選手権 国際大会選考会	対象大会8位以上で右記基準突破者及び特別推薦者	D.D	自由6種目 18.9	自由6種目 19.2	(目標)世界ジュニアメダル (参加対象大会) WAグランプリ 国際オープン大会 等	
			スコア	359.1	364.8		
セカンド	日本選手権 室内選手権 国際大会選考会	対象大会12位以上で右記基準突破者及び特別推薦者	D.D	自由6種目 17.6	自由6種目 18	(目標)世界ジュニア入賞 (参加対象大会) 国際オープン大会 Jr国際オープン大会 等	
			スコア	334.4	342		
サード	高校 2年 まで インターハイ 全国夏季JOC	8位以上かつ対象年齢上位3名かつ基準突破者	D.D	自由5種目 14.5	自由5種目 15	(目標) 世界ジュニア入賞 (参加対象大会) Jr国際オープン大会 等	
			自由	268.25	268.25		
			合計	468.3	428.3		
	Grou p B	全国中学 全国夏季JOC	D.D	自由4種目 10.6	自由4種目 10.7		
			スコア	395.6	357.55		
	Grou p C		D.D	自由3種目 6.7	自由3種目 7.9		
スコア			309.6	301.8			
小学生	Grou p C	全国夏季JOC	8位以上の小学生上位2名かつ右記基準突破者	スコア	295.5	274.2	(目標) ・タレント発掘 ・基本技術の共有 ・Nジュニアへの連結 ・指導者の育成 ・生活習慣の育成
	Grou p D		優勝者のみ	スコア	220		

Women

区分	対象大会	条件	内容	飛板	高飛	目標・参加対象大会	
トップ	日本選手権 室内選手権 国際大会選考会	対象大会8位以上で右記基準突破者及び特別推薦者	D.D	自由5種目 14	自由5種目 14.5	(目標)世界ジュニアメダル (参加対象大会) WAグランプリ 国際オープン大会 等	
			スコア	266	275.5		
セカンド	日本選手権 室内選手権 国際大会選考会	対象大会12位以上で右記基準突破者及び特別推薦者	D.D	自由5種目 13.4	自由5種目 14	(目標)世界ジュニア入賞 (参加対象大会) 国際オープン大会 Jr国際オープン大会 等	
			スコア	254.6	266		
サード	高校 2年 まで インターハイ 全国夏季JOC	8位以上かつ対象年齢上位3名かつ基準突破者	D.D	自由4種目 11.1	自由4種目 11.3	(目標) 世界ジュニア入賞 (参加対象大会) Jr国際オープン大会 等	
			自由	195.36	195.36		
			合計	395.36	355.36		
	Grou p B	全国中学 全国夏季JOC	D.D	自由3種目 8.1	自由3種目 8.4		
			スコア	349.35	315		
	Grou p C		D.D	自由2種目 4.4	自由2種目 5.2		
スコア			269.4	254.4			
小学生	Grou p C	全国夏季JOC	8位以上の小学生上位2名かつ右記基準突破者	スコア	255.5	232.2	(目標) ・タレント発掘 ・基本技術の共有 ・Nジュニアへの連結 ・指導者の育成 ・生活習慣の育成
	Grou p D		優勝者のみ	スコア	220		

## 2024年下期～2025年上期 強化指定選手一覧

※強化指定選手は2025年日本選手権開催までとする

強化指定選手	名前	学年	所属1	所属2	担当コーチ	強化指定ランク
強化統括	玉井 陸斗	高3	JSS宝塚	須磨学園高校	馬淵崇英	A
野村 孝路	三上紗也可	院1	日本体育大学院	米子DC	安田千万樹	A
	荒井 祭里		JSS宝塚	佐賀スポーツ協会	馬淵崇英	A
コーチ	榎本 遼香		栃木トヨタ自動車(株)	栃木DC	上野大助	A
(14名)	坂井 丞		ミキハウス		寺内 健	B
強化指定選手A	伊藤 洸輝		滋賀・立命館DC	(公財) 滋賀県スポーツ協会	馬淵崇英	B
(4名)	西田 玲雄		岡三リビック(株)	大阪水泳学校	徳本奈保美	B
強化指定選手B	山田 周汰		岡三リビック(株)	大阪水泳学校	徳本奈保美	B
(9名)	大久保 柊		昭和化学工業(株)	東京SC	大久保一司	B
強化指定選手C	山崎 佳蓮	大3	高知工科大学	高知SC	瓶子勇治郎	B
(6名)	須山 晴貴		NSP宇都宮	栃木DC	松本行夫	B
	伊熊 扇李	大2	日本体育大学	JSS宝塚	恵 元	B
	坂田 丹寧	高3	常総学院	IKI! Diving Club	坂田和也	B
	金戸 快	院2	セントラルスポーツ		金戸恵太	C
	乗松 飛羽	大1	高崎健康福祉大学		野村孝路	C
	荒木 宥凶		長岡市スポーツ協会	長岡DC	荒木駿凶	C
	二羽 倅駕	大1	近畿大学	大阪水泳学校	徳本奈保美	C
	森岡さくら	大4	徳島大学		大西 道也	C
	金戸 凜	大3	日本大学	セントラルスポーツ	金戸恵太	継続
Jr強化指定選手	名前	学年	所属1	所属2	担当コーチ	Group
Jrナショナルヘッドコーチ	片岡 三亮	高2	コンセント	ルネ豊田	森岡 大成	Group A・サード
瓶子 勇治郎	古戎 徠人	中1	神辺SPC		重永美希子	Group C・サード
ジュニア担当	茶木 琉聖	中2	大分DC		茶木 康寛	Group C・サード
徳本奈保美・坂田和也	浜田 悠希	中2	高知SC		瓶子勇治郎	Group C・サード
コーチ(8名)	浜田 晃希	小5	高知SC		瓶子勇治郎	Group D・サード
トップ・セカンド	井上 優奈	中2	高知SC		瓶子勇治郎	Group B・サード
(0名)	岩崎 莉子	小6	NSP宇都宮		辰巳楓佳	Group C・サード
セカンド	倉島 寿芽	小6	三重DC		池田 庸祐	Group C・サード
(0名)	尾畑 結心	小4	NSP宇都宮		辰巳楓佳	Group D・サード
サード						
(9名)						

## 2025年 国際大会(シンガポール世界選手権)派遣選考内容

### 1. 2025年度派遣大会名

#### (1) WA世界選手権 シンガポール

派遣期間 2025年 7月 日( ) ~ 月 日( )

大会期間 2025年 7月26日(土) ~ 8月 3日(日)

### 2. 選考対象大会：2024年度翼 JAPAN 兼 国際大会派遣選手選考会

(1) 期日 2025年 3月20日(木) ~ 23日(日)

(2) 場所 東京都 東京アクアティクスセンター 東京都江東区辰巳2-2-1

(3) 競技日程 大会要項参照

### 3. 選考方法

<b>【選考目的】</b> 2028 ロスオリンピック及び 2032 ブリスベンオリンピックでの複数メダルの獲得。		
世界選手権シンガポール大会	<p><b>【個人種目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表記大会において、<u>予選・決勝の得点平均が下記の選考基準を突破した各種目上位2名</u>を選出する。但し高飛込は10m使用に限る。 また1m飛板飛込は選考された選手の中から出場可能な場合のみ選出する。</li> </ul> <p><b>【シンクロ種目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表記大会において、<u>下記の選考基準を突破した各種目上位1ペア</u>を選出する。</li> </ul> <p><b>【MIX シンクロ種目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表記大会において、<u>下記の選考基準を突破した各種目上位1ペア</u>を選出する。</li> </ul> <p><b>【チームイベント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人及びシンクロ種目で派遣された選手の中からヘッドコーチが選出する。</li> </ul>	チーム編成は(公財)日本水泳連盟選手選考委員会内定人数とする。  チーム編成(希望数) 選手 16名以内 <b>【個人種目2名以内】</b> <b>【シンクロ1チーム以内】</b> 男女比なし コーチ 5名以内 審判 1名 トレーナー 2名

### 4. 選考基準

男子	3m飛板飛込	高飛込	3mシンクロ	高飛込シンクロ
	399	403	362	366
女子	3m飛板飛込	高飛込	3mシンクロ	高飛込シンクロ
	277	291	266	273
MIX	飛板飛込シンクロ	高飛込シンクロ		
	265	270		

### 5. その他

- (1) 派遣選考を辞退する場合、監督者会議終了後までに書面にて辞退する対象大会名・氏名・所属、担当コーチ名を明記し提出すること。(辞退届の形式は問わない)
- (2) 何らかの事由により、代表選手の辞退者が発生しても選手の繰り上げ選考は行わない。

## 2025年度ワールドユニバーシティーズゲームズ大会派遣選考内容

### 1. 2024年度派遣大会名

(1) ワールドユニバーシティーズゲームズ大会 (ドイツ・Berlin SSE)

大会期間 2025年 7月17日(木)～7月23日(水)

派遣期間 2025年 7月 日( )～7月 日( )

### 2. 選考対象大会：2024年度翼JAPAN Cup 兼 国際大会代表選手選考会

(1) 期日 2025年 3月20日(木)～23日(日)

(2) 場所 東京アクアティクスセンター

(3) 競技日程 大会要項参照

### 3. 選考方法

<p>(1) 大会名 ワールドユニバーシティーズゲームズ</p> <p>(2) 派遣目的 ・全種目8位入賞以上、メダル獲得を目指す。</p>	<p>本大会の出場資格のある者の中から選出する。</p> <p>【個人種目】 表記選考会において、ワールドユニバーシティーズゲームズ参考得点を参考に総合判断し選出する。</p> <p>【シンクロ競技】 表記大会の結果及び総合判断によりペアリングを決定する。</p>	<p>選手団編成</p> <p>選手 8名以内 各種目 3名以内 男女1名以上男女比なし コーチ 3名以内 審判 1名 トレーナー1名</p> <p>※JOC決定後確定</p>
--	--	--

※2025WAシンガポール世界選手権大会派遣選手以外から選出する。

※対象選手の中から参考得点突破者上位1名を選出する。

※残りの派遣枠は、団体競技を視野に入れた総合的な判断で選出する。

(各個人種目3名までを上限とし、男女各1名以上とする。)

・個人(個人種目D.D/スコア)

・シンクロ各種目(個人出場種目の演技構成も参考とする)

※上記選考後、辞退者が出た場合、選考基準を参考にランキングにより繰り上げを行う。

但し、派遣手続き前までを期限とする。

### 4. 選考参考得点

#### 2025年度ワールドユニバーシティーズゲームズ参考得点

	3m飛板飛込	高飛込(10m)
男子	379	382
女子	263	276

個人種目及び団体種目でのメダル獲得を目標とする。

### 5. 申し込み規定

#### (1) 参加資格

年齢：2025年12月31日時点で18歳から25歳まで

2000年1月1日～2007年12月31日に生まれたもの

学籍：2024年度高校3年生については2025年4月時点で大学入学見込みの者とする。

2023年度～2024年度の卒業証書(大学院含)を有している選手及び大学在校生とする。

#### (2) 本大会エントリー種目

エントリー種目はヘッドコーチに一任することとし、最大限チームに貢献する意思を有すること。

オリンピックメダリスト特別強化事業

1 目的 オリンピック（ロス/2028及びブリスベン/2032）でのメダル獲得。

2 強化期間 2024年12月1日（日）～2025年9月30日（火）

4 対象者 パリオリンピックメダル獲得者

5 強化内容

(1) 国際主要大会派遣選手代表権の優先取得

イ、『2025シンガポール世界水泳選手権』代表権の優先取得

【規定】

- ・メダルを獲得した個人種目のみとする。
- ・原則、国際大会派遣選手選考会への出場は義務とし、怪我及び疾病（要診断書）又は国際大会参加により調整が難しいと判断される場合のみ出場を見送ることができる。

(2) 各種国際大会（AQUA 承認大会、各国オープン大会等）の派遣

イ、旅費(交通費・宿泊費)の支援

【規定】

- ・年度計画（予算案含む）の提出の義務（年度ごと）。
- ・対象者が未成年の場合は、所属コーチ又は監督者を帯同させること。
- ・参加にあたっては、選手1名につき、コーチ1名、トレーナー1名を帯同できる。但し、本事業指定選手以外の選手が同行する場合は、旅費等の支給は指定選手のみとする。

(3) 国内及び海外合宿の実施

イ、旅費（宿泊費、交通費）、施設利用料、トレーナー契約料の支援

※但し、海外合宿については別途規定に準ずる。

【規定】

- ・年度計画（予算案含む）の提出の義務（年度ごと）。
- ・対象者が未成年の場合は、所属コーチ又は監督者を帯同させること。
- ・参加にあたっては、選手1名につき、コーチ1名、トレーナー1名を帯同できる。但し、本事業指定選手以外の選手が同行する場合は、旅費等の支給は指定選手のみとする。

7 事業経費

本事業に関わる経費として全体強化費の5%を見込むものとする。

附則 1 本事業は、2024年12月1日から施行する。



MA 事業玉井陸斗オーストラリア強化合宿派遣

目的 2025 世界選手権（シンガポール大会）でのメダル獲得に向け、より高度な国際競技力向上を図るため強豪国の技術・知識を学ぶとともに、世界で活躍できるコミュニケーション力を身につける。

派遣期間 2025年1月7日（月）～2月6日（土）30日間

行程 1月7日（火） 深夜便関空発 8日ブリスベン着  
1月16日（木） 馬淵崇英 帰国  
2月6日（木） ブリスベン発 関空着 玉井陸斗 帰国

会場 SLEEMAN SPORTS COMPLEX Brisbane Aquatic Centre  
Sleeman Sports Complex, Old Cleveland Rd & Tilley Road, Chandler Queensland 4155

- 滞在先 18 Macgregor St, Upper Mount Gravatt, QLD, 4122 オーストラリア  
(2025年1月7日～1月16日)  
Mercure Brisbane Garden City (ホテル)  
(メルキュール ブリスベン ガーデン シティ)

※玉井は1月12日からオーストラリアチーム選手自宅にてホームステイ

指導者 Ady Hinchliffe (Australian National Head Coach)

参加者 引率コーチ 馬淵 崇英  
選手 玉井 陸斗

予算額 1,340,000 円

<内訳> 渡航費 200,000 円 /馬淵往復分  
200,000 円 /玉井往復分

ホテル 160,000 円 /馬淵 @20,000×8泊  
100,000 円 /玉井 @20,000×5泊

ホームステイ 250,000 円 /10,000\*25日

レンタカー費用 90,000 円 /10,000\*9日

指導・使用料 290,000 円 2025年1月8日-2月5日 /29日

雑費 50,000 円

# 2024年ナショナルジュニア・エリート小学生強化事業要項

## 1. 目的

- (1) オリンピックや世界選手権でのメダルの獲得を目指し、新しい技術の習得に向けた強化方法や知識を学び、心身の充実を図る。
- (2) 国際舞台で活躍できる選手を育成するために自己理解を深め、必要な知識やスキルを習得し、日本代表選手としての自覚をつくる。
- (3) 選抜した選手の国際競技力と国際的コミュニケーション能力の向上を図る。

## 2. 期日

### <強化合宿>

北海道地区・東北地区・関東地区・北信越地区

令和 6 年 12 月 20 日(金)～ 令和 6 年 12 月 22 日(日)～ 2泊3日  
集合予定 令和 6 年 12 月 20 日(金) 13時 栃木県・日環アリーナ栃木(予定)  
解散予定 令和 6 年 12 月 22 日(日) 12時

近畿地区・東海地区・中国地区・四国地区・九州地区

令和 6 年 12 月 20 日(金)～ 令和 6 年 12 月 22 日(日)～ 2泊3日  
集合予定 令和 6 年 12 月 20 日(金) 13時 滋賀県・草津市立プール(予定)  
解散予定 令和 6 年 12 月 22 日(日) 12時

### <特別強化合宿>

強化合宿で選出された選手

令和 7 年 3 月 日( )～ 令和 7 年 3 月 日( ) 泊 日  
集合予定 令和 7 年 3 月 日( ) 予定 海外または国内強化合宿を実施する。  
解散予定 令和 7 年 3 月 日( )

## 3. 場所

<東日本>	練習場所	宿泊場所
施設名	日環アリーナ栃木(予定)	未定
所在地	栃木県宇都宮市西川田4-1-1	

<西日本>	練習場所	宿泊場所
施設名	滋賀県草津市立プール(予定)	未定
所在地	滋賀県草津市	

上記合宿から選手を選出して、特別強化(海外派遣または国内合宿)を実施する。

## 4. 参加者

強化合宿 強化担当者及び2024年ナショナルジュニア及びエリート小学生、各担当コーチ  
研修選手として強化部で認定され参加を希望する選手  
特別強化合宿 強化合宿に参加した選手の中から選出された選手、担当コーチ

## 5. 内容(国内強化合宿)

- ① 全体ミーティング
- ② ドライランドトレーニング
- ③ プール練習
- ④ トライアル

## 6. 特別強化選手選出

参加選手(研修生含)の中から、以下の内容を踏まえて総合的に判断し、ジュニア特別強化選手の選出を行う。

特別強化事業参加にあたっては、自己負担金が伴うものとする。

7. 持ち物

<強化合宿>

- ① 練習用具： 縄跳び用の縄、アップマット、ドライランド・プール練習に各自必要なもの
- ② 参加費： 2,000/1泊×泊数分 (研修生の負担金については別に連絡する。)
- ③ その他： 筆記用具、保険証、常備薬、印鑑 等

<特別強化合宿>

- ① 練習用具： 縄跳び用の縄、アップマット、ドライランド・プール練習に各自必要なもの
- ② 参加費： 選出された選手、コーチに別途連絡
- ③ その他： 選出された選手、コーチに別途連絡

8. 問合せ先

(公財) 日本水泳連盟 飛込委員会 強化部 徳本 奈保美 TEL 090-3354-1351

9. 参加者リスト

ヘッドコーチ 瓶子 勇治郎

北海道・東北・関東・北信越地区				近畿・東海・中国・四国・九州地区			
担当	坂田 和也			担当	徳本 奈保美		
区分	年齢	選手氏名	所属	区分	年齢	選手氏名	所属
選手1	C	岩崎 莉子	NSP宇都宮	選手1	A	片岡 三亮	ルネサンス豊田高等学校
選手2	D	尾畑 結心	NSP宇都宮	選手2	B	井上 優奈	高知スイミングクラブ
コーチ	辰巳 楓佳		NSP宇都宮	選手3	C	茶木 琉聖	大分DC
				選手4	C	古戎 徠人	神辺スポーツセンター
				選手5	C	浜田 悠希	高知スイミングクラブ
				選手6	C	浜田 晃希	高知スイミングクラブ
				選手7	C	倉島 寿芽	三重ダイビングクラブ
				コーチ	瓶子 勇治郎		高知スイミングクラブ
				コーチ	茶木 康寛		大分DC
				コーチ	重永 美希子		神辺スポーツセンター
				コーチ	森岡 大成		ルネサンス豊田高等学校
				コーチ	池田 庸祐		三重ダイビングクラブ

※合宿会場の地区割り当てについては、年度によって変更する。

10. 研修生について

①研修生選出基準

- i 対象大会年齢別優勝または上位1名
- ii ジュニアナショナル強化基準D.D突破者
- iii 日本選手権3m飛板飛込・高飛込入賞などの実績が高い選手

②研修生リスト

北海道・東北・関東・東海・北信越地区				近畿・中国・四国・九州地区			
研修1	A	鈴木 静玖	幕張総合高校/セントラルスポーツ	研修1	B	北村 応吏	佐賀ダイビングクラブ
				研修2	C	植田 恵麻	香川ダイビングクラブ

## 24 年度 ジュニア特別強化(海外大会派遣)事業

目的 ○ジュニア強化選手の競技力向上を図るため、国際的な経験を積むことが不可欠である。世界のトップレベルの選手との競技を通じ技術的・精神的な成長を促進し、国内外で通用する選手を育成することを目的とし、海外大会への派遣事業を設定する。

○本事業により国際的な競技水準を体感させ、今後のオリンピックや世界選手権での活躍に向けた土台を築くことを目指していく。

### ジュニアナショナル海外大会派遣特別強化事業選考内容（案）

#### 1. 2024 年度派遣大会名

(1)2025 NSW Age Championships (オーストラリア・シドニー)

大会期間 2025年 3月 8日(土)～ 3月9日(日)

派遣期間 2025年 3月 5日(水)～ 3月10日(月)

#### 2. 選考方法

(1)大会名 2025 NSW Age Championships	【個人種目】 2024 年度ジュニア主要大会の成績と、2024 ジュニアナショナル強化合宿の内容を総合判断し選出する。 中学生以上を対象とする。	選手団編成 選手 3名以内 各種目 3名以内 男女比なし コーチ 1名
(2)派遣目的 メダル獲得を目指す。		

※年齢区分は 2025/12/31 時点での年齢

#### 4. 選考参考得点

2025 NSW Age Championships 参考得点

			男子		女子	
Group A 16～18歳	インターハイ 全国夏季 JOC	D.D	飛板自由 5 種	高飛自由 5 種	飛板自由 4 種	高飛自由 4 種
			14.5	15.0	11.1	11.3
		スコア	468.30	428.30	395.36	355.36
Group B 14・15歳	全国中学 全国夏季 JOC	D.D	自由 4 種目	自由 4 種目	自由 3 種目	自由 3 種目
			10.6	10.7	8.1	8.4
		スコア	395.60	357.55	349.35	315.00
Group C 12・13歳		D.D	自由 3 種目	自由 3 種目	自由 2 種目	自由 2 種目
			6.7	7.9	4.4	5.2
		スコア	309.60	301.80	269.40	254.40

## 2024 上期 国際大会派遣結果

### 1. 2024 ダイビングワールドカップ スーパー 中国・西安

大会期間 4月19日(金)～21日(日)

コーチ 安田千万樹、馬淵崇英

トレーナー 桐山大輔

種目名	出場者名	参加人数	予選順位	得点	準決勝順位	得点	決勝順位	得点
女子3m飛板飛込予選・決勝	三上紗也可	12	9	263.55	/	/	4	288.90
	榎本 遼香	12	10	262.25	/	/	10	262.90
女子高飛込予選・決勝	荒井祭里	12	8	269.85	/	/	6	313.75
男子高飛込予選・決勝	玉井陸斗	17	2	526.60	/	/	<b>2</b>	<b>531.55</b>

### 2. 2024 アメリカン カップ アメリカ インディアナポリス

大会期間 4月26日(金)～28日(日)

コーチ 徳本奈保美(大阪水泳学校)

選手 山崎佳蓮(高知工科大学・高知SC)

種目名	出場者名	参加人数	予選順位	得点	準決勝順位	得点	決勝順位	得点
女子高飛込予選・決勝	山崎 佳蓮	12	11	244.65	/	/	4	292.90

### 3. 2024 フランス オープン フランス・パリ

大会期間 5月6日(月)～12日(日)

コーチ 安田千万樹、馬淵崇英 トレーナー 桐山大輔

種目名	出場者名	参加人数	予選順位	得点	準決勝順位	得点	決勝順位	得点
男子高飛込決勝	玉井陸斗	7	/	/	/	/	<b>1</b>	500.55
女子3m飛板飛込決勝	三上紗也可	15	/	/	/	/	<b>3</b>	302.85
	榎本遼香	15	/	/	/	/	5	290.05
女子高飛込決勝	荒井祭里	11	/	/	/	/	<b>1</b>	333.40
男子3m飛板飛込決勝	坂井 丞	14	/	/	/	/	4	424.50

4. 2024 パリオロンピック競技大会競技

コーチ 安田千万樹、馬淵崇英 トレーナー 桐山大輔

種目名	出場者名	参加数	予選	得点	準決勝	得点	決勝	得点
女子高飛込	荒井祭里	29人	16位	280.65	8位	300.50	9位	314.45
男子3m飛板飛込	坂井 丞	25人	11位	389.15	14位	410.15		
女子3m飛板飛込	三上紗也可	28人	21位	258.35				
	榎本遼香	人	6位	299.10	18位	244.20		
男子高飛込	玉井陸斗	28人	2位	497.15	3位	477.00	2位	507.65

5. Aqua 2th マレーシアオープンダイビングチャンピオンシップ

大会期間：令和6年11月1日（金）～ 4日（月）

大会会場：Malaysia, Kuala Lumpur

コーチ 松本行夫 徳本奈保美 トレーナー 鳥飼達也

種目名	出場者名	参加人数	予選順位	得点	決勝順位	得点
男子3m飛板飛込 予選・決勝	須山 晴貴	予選11 決勝10	3	348.80	4	331.20
	伊熊 扇李		6	298.60	5	301.00
女子高飛込 予選・決勝	山崎 佳蓮	予選6 決勝6	2	248.50	2	218.30
男子シンクロ高飛込 決勝	山田 周太 西田 玲雄	決勝2			2	368.40
高飛込MIXシンクロ 決勝	山崎 佳蓮 西田 玲雄	決勝3			2	282.60
男子高飛込 予選・決勝	山田 周太	予選8 決勝7	5	322.80	5	339.00
	西田 玲雄		7	298.60	3	353.70

6.2024 世界ジュニア飛込世界選手権大会

大会期間：令和6年11月24日（日）～ 12月1日（日）大会

会場：Brazil, Rio de Janeiro

コーチ：瓶子勇治郎 坂田和也 徳本奈保美 審判：茶木康寛

種目名	出場者名	参加人数	予選順位	得点	準決勝順位	得点	決勝順位	得点
男子3m飛板シクロ	石沢 海斗	15					10	242.22
	瓶子 礼智							
Mix Team Event	瓶子 礼智	13					5	316.05
	池辺 寛人							
	坂田 丹寧							
	井上 優奈							
16~18歳男子3m飛板飛込	石沢 海斗	39	29	400.70				
	池辺 寛人		27	408.30				
16~18歳女子3m飛板飛込	坂田 丹寧	41	19	344.15				
16~18歳男子1m飛板飛込	石沢 海斗	39	30	354.80				
16~18歳女子高飛込	坂田 丹寧	27	9	367.75			10	354.15
14~15歳女子3m飛板飛込	井上 優奈	26	11	315.55			12	305.65
16~18歳男子高飛込	瓶子 礼智	29	24	393.85				
	池辺 寛人		22	405.90				
14~15歳女子高飛込	井上 優奈	23	9	304.75			11	279.50

以上

# 普及部資料

- 1 ニチレイ飛込検定制度について . . . 2～14
- 2 飛込技術検定報告について . . . 15
- 3 令和6年度飛込競技者登録数及び飛込教室について  
. . . 16～18
- 4 補足資料について . . . 19・20



# 飛込検定制度

*Nichirei Challenge Diving Badge Test*

飛込検定実施の手引き（抜粋）

公益財団法人 日本水泳連盟

令和3年9月版

# I. 飛込検定実施マニュアル

## 1. 飛込検定の目的

飛込検定の目的は、飛込の普及および競技の特性と楽しさを体験を通して知っていただき、選手としての競技活動を目指す一助とすることです。マイナー競技としてのイメージ、危険性や特殊性により、距離をおいてしまうスポーツではなく、安全で通常経験の出来ない「高さ」や「水深の深さ」、身体だけで「表現」する素晴らしさを伝えたいと思います。やってみたいが難しいのではと考える方も多いいと思います。また、練習環境がないために、どこで活動しているのか分からない方もいると思います。

本連盟では、飛込を通して水泳のより一層の安全性向上と普及のために「全国統一の飛込の力量（技能）を測る基準」が必要と考え、発足させたのが「(公財)日本水泳連盟飛込検定制度」です。

## 2. 飛込検定

### ①基礎から応用まで、飛込技術を段階的に判定できる級設定

飛込検定は、15～1級に分かれており、15級から基本を身につけ、段階的な技術の習得を目指し目標設定をしています。1級まで合格すると、大会出場に必要な種目構成が身につけ、選手として活動することも出来ます。

### ②生涯スポーツとしての楽しみを体験できる級設定

様々な基本技術から、宙返りや捻り種目など、挑戦意欲をかき立てる内容であり、生涯スポーツとして幅広い年齢層の方々にも、安全を第一に取り組める環境と指導者を検定者としています。

## 3. 飛込検定の実施

初めて飛込検定を実施する場合、参加者の有無が心配ですが、ポスターや「認定証見本」「検定基準」を提示することと、指導者による適切な説明と誘いがあれば充分です。検定会も特別に競技会形式のものを計画する必要はなく、練習会や飛込教室と兼ねて行えば特別に「検定会」として新たに大会を構える必要はありません。なお、飛込検定への参加に(公財)日本水泳連盟の選手登録等は必要ありません。

#### 4. 飛込検定の企画と準備

##### ①飛込検定会実施の公表

受検者のほとんどは、所属する学校・スイミングクラブ・サークル以外からの参加者であり、飛込検定会を実施する団体または検定者は、検定開催日2週間前までには、対象者へ「検定日」「検定会場」「検定方法」等、検定内容を公表し、広く検定受検者を公募します。それにより、地域との交流にも大いに役立ちます。

##### ②飛込検定受検者の負担する費用

飛込検定受検者の負担する費用は、検定料+認定証・バッジ代=受検料で構成されます。受検者からの申し込みを受け付ける際、「検定申込書」と同時に、受検料を受け取り、検定主催者が収納します。ただし、検定料は一般的なものであり、会場使用料等の諸費用が必要な場合、必要最小限の範囲で諸費用を追加して徴収することが出来ます。

飛込検定では、事前に全受検者の認定証およびバッジ（15～1級）を製作するため、検定結果の合否に関わらず、受検者への認定証・バッジ代の返金は行いません。

##### ③飛込検定会の実施要項

検定会を行う場合の必要条件是、(公財)日本水泳連盟飛込有資格者(コーチ)または(公財)日本水泳連盟飛込審判有資格者1名を含む検定者であることです。検定者は通常の講習会や競技会を行う場合と同様、必要に応じて補助役員を動員し、受検者への「安全」「健康」「保険加入(殆どの施設が賠償責任保険に加入していると思いますが、不加入の場合は加入する)」等を確認の上、必要用品を整えることが必要です。

##### ④飛込判定合否基準

別に定める「飛込検定基準」を満たしていることが必要です。但し、身体不自由者の場合は受検者の状態に応じた技術判定が認められています。検定受検者の年齢区分はありません。飛込検定を実施するに当たり最も重要なことは、「厳正かつ公平の原則を厳守する」ことにあります。

##### ⑤合格者氏名の公表

合格者氏名は「月刊水泳」(一部)、「(公財)日本水泳連盟ホームページ

(<https://swim.or.jp>)」、「スイミングマガジン」(一部)に掲載されます。掲載には、毎月末までに本連盟に到着した分を翌20日迄に編集し、各所に原稿を送付し掲載して頂いています。その関係上、報告書発送即掲載とはならないことをご承知おきください。また、旧字体などPCで変換できない文字は新字体表示とさせていただきます。(例)高(旧字体)→高(新字体)

## 5. 認定証およびバッジの交付

飛込検定では、検定実施終了後、合格者に対して、認定書と認定バッジを授与します。所定の払込取扱票(郵便局)にて下記宛に送金してください。

なお、振込金額は検定参加者数ではなく、合否にかかわらず検定実施数となります。

例) 検定参加者数：8名、検定実施数：10件(1級2名、2級5名、3級3名)  
 実施数内訳：1級2名、2級3名、2級と3級を複数受検2名、3級1名  
 上記の場合の払込金額は、検定実施数10件×1,000円となり、  
 合計払込金額は、10,000円となります。

### <送金先>

口座番号(東京) 00130-1-5178  
 加入者名 (公財)日本水泳連盟

(注) 払込人となる検定者の住所は、認定証等の送付希望先の住所となりますので楷書体にて明確に記入し、所属する都道府県水泳連盟(協会)名とコーチ・飛込審判資格登録番号および有効期限を必ず記入してください。

### 払込取扱票(記入例)

00 東京		払込取扱票	
口座記号		口座番号(右詰めで記入)	
00130	1	5178	
金額		金額	
¥10000		料	
加入者名		備考	
公益財団法人日本水泳連盟			
【飛込検定】▼下記の通り代金を添えて申し込み致します。(消費税含む)			
検定実施数	10	件 × 1,000円 =	合計金額 10,000 円
《検定実施日》2021年8月14日		コーチ・飛込審判資格	登録番号 0046231
所属都道府県水泳連盟(協会) 東京都		有効期限	2022年9月
〒160-0013		日	
東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号		附	
日の丸ダイビングクラブ		印	
日本太郎 様			
(ご連絡先電話番号) 03-6812-9061			
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) 切り取らないでください。			
この受領証は、大切に保管してください。			

### 振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	00130	1
金額	5178	
加入者名	公益財団法人日本水泳連盟	
金額	¥10000	
おなまえ	東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号日の丸ダイビングクラブ	
依頼人	日本太郎 様	
(消費税込み)	日	附 印
料金	円	
備考		

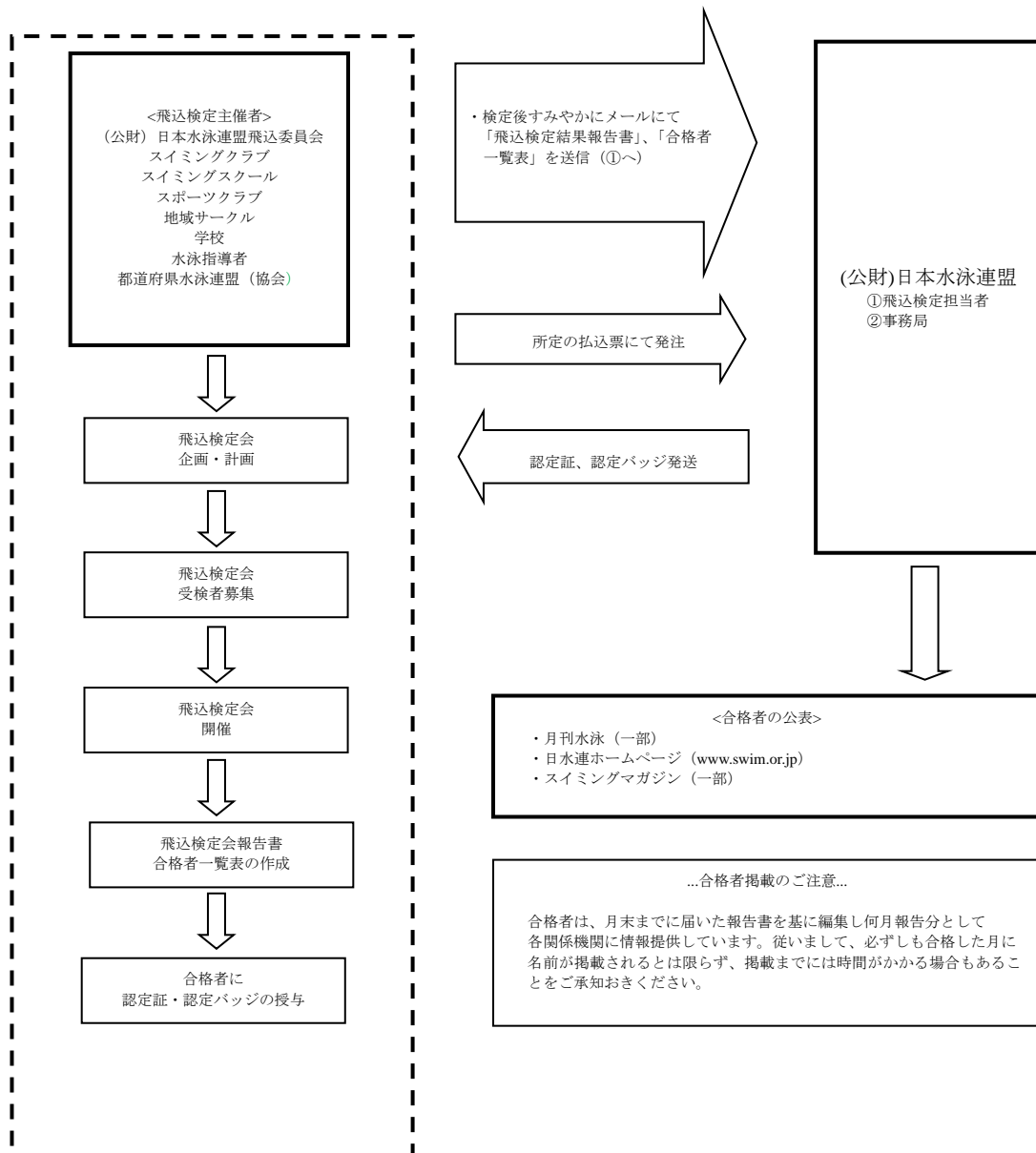
## 6. 飛込検定会の結果報告

飛込検定会の実施後、すみやかに日本水泳連盟飛込検定担当宛に、「飛込検定会結果報告書」(様式-1) 及び「合格書一覧表」(様式-2) を提出してください。「飛込検定会結果報告書」及び「合格者一覧表」は、「(公財) 日本水泳連盟ホームページ (<https://swim.or.jp>)」よりダウンロードし、記入後メール添付送信での提出を原則とします。

飛込検定会 結果報告用アドレス	<b><a href="mailto:jasf-diving-cert@googlegroups.com">jasf-diving-cert@googlegroups.com</a></b>
--------------------	---

※なお、手書きによる記入は不可とします。

## II. 飛込検定制度の流れ



## 飛込検定基準表

公 認 飛 込 進 級 テ ス ト					
<目標>					
15級	前棒飛AとC/Bのいずれかができる	6級	後飛A/B/Cのいずれかができる		
14級	後棒飛AとC/Bのいずれかができる	5級	前逆飛A/B/Cのいずれかができる		
13級	助走の棒飛A/B/Cのいずれかができる	4級	前宙返りC/B1回または後宙返り1回		
12級	前もしくは後棒飛1/2回以上捻りができる		A/Cのいずれかができる		
11級	前入水A/座りC/Bのいずれかができる	3級	前逆宙返り1回Cまたは後踏切前宙返り		
10級	後入水A/座りC/ジャンプAのいずれかができる		1回Cができる		
9級	前飛A/B/Cのいずれかができる	2級	前宙返り1回半Cができる		
8級	助走から前飛A/B/Cのいずれかができる	1級	前宙返り1回1回捻り/後宙返り1回半回		
7級	後踏切前飛A/B/Cのいずれかができる		捻りのいずれかの捻りができる		
( A 伸び型 B えび型 C かかえ型 D 自由型 )					
級	得点	練習の目標	級	得点	練習の目標
15級	A	前 棒 飛	8級		助走から前飛(101)
	C/B		7級		後踏切前飛(401)
14級	A	後 棒 飛	6級		後 飛 ( 2 0 1 )
	C/B		5級		前 逆 飛 ( 3 0 1 )
13級	1m	助 走 の 棒 飛	4級		102C/Bか202C/A
12級	1/2回以上	捻 り 棒 飛	3級		302Cか402C
11級		前 入 水	2級		1 0 3 C
10級		後 入 水	1級		5122Dか5221D
9級		前 飛 ( 1 0 1 )			
ふりがな		男	生年月日		
氏名		女	西暦 年 月 日 ( )		

## 飛込検定会実施要項 (1/2)

- 1.主 催
- 2.検 定 者 (公財) 日本水泳連盟飛込有資格者 (コーチ) または  
(公財) 日本水泳連盟飛込審判有資格者
- 3.期 日 年 月 日 ( ) 検定開始時刻 時 分
- 4.会 場
- 5.参加資格
- 6.申込制限 検定は1人1つの級までを原則とするが、技術に応じて複数級の検定も認める。
- 7.検定方法 飛込検定会における合否の判定基準は、別に定める飛込検定基準で求められた技術を実施できることとする。  
なお、技術は(公財)日本水泳連盟飛込競技規則に違反しない技術であること。ただし、身体不自由者の場合は、受検者の状態に応じた技術判定をしてもよい。
- 8.申込方法 申込書・誓約書に記入の上(年齢は検定会当日の満年齢)、受検料を添えてお申込みください。
- 9.受検料 1回につき 1,000円(検定料および認定証・認定バッジ)  
※複数級を受検する場合、それぞれの級に対して1,000円がかかる。
- 10.キャンセル 年 月 日( )迄の場合は無料で受理します。  
年 月 日( )以降は受検料を負担頂きます。
- 11.申込締切日 令和 年 月 日( )
- 12.そ の 他 本検定で取得した個人情報、個人情報保護法に基づき適正に管理し検定会のプログラム及び合格者公表等の資料として活用されます。



## 飛込検定会実施要項 (2/2)

### 飛込検定申込書

フリガナ		男・女	申込年月日			年	月	日
氏名			生年月日	S・H・R		歳		
				年	月			日生
住所				TEL				
緊急連絡先 (家族等の氏名)				(TEL)				
申込をする級に○をつけてください。	1級	検定料 1,000 円	6級	検定料 1,000 円	11級	検定料 1,000 円		
	2級	検定料 1,000 円	7級	検定料 1,000 円	12級	検定料 1,000 円		
	3級	検定料 1,000 円	8級	検定料 1,000 円	13級	検定料 1,000 円		
	4級	検定料 1,000 円	9級	検定料 1,000 円	14級	検定料 1,000 円		
	5級	検定料 1,000 円	10級	検定料 1,000 円	15級	検定料 1,000 円		
合計	× 1,000 円							

### 誓約書

私は、個人情報の活用を承諾し飛込検定会の申込をいたします。  
 検定会には自己責任において健康管理を行い万全の体調で参加すること、検定結果（合否）について異議申し立てを一切行わないことを誓約いたします。

申込者氏名

⑩

保護者氏名

⑩

(18歳未満の場合、保護者の承認が必要です。)

## 飛込検定結果報告書・合格者一覧表の提出方法について

飛込検定結果報告書・合格者一覧表については、その報告書のデータを基に認定証・認定バッジの作成、および日本水泳連盟ホームページや月刊水泳（一部）、スイミングマガジン（一部）に合格者名簿を掲載しております。

つきましては、定型の報告書フォーマットをダウンロードの上、（公財）日本水泳連盟飛込検定担当にメールにて送付いただくようお願いいたします。

### 記

1. 定型の報告書のフォームのダウンロード先  
公益財団法人日本水泳連盟ホームページ (<https://swim.or.jp>)
2. メール送付先  
公益財団法人日本水泳連盟飛込検定担当 ([jasf-diving-cert@googlegroups.com](mailto:jasf-diving-cert@googlegroups.com))
3. メール宛先の誤送信には責任を負いかねます。十分ご注意ください

以上

○この用紙のフォームは日本水泳連盟ホームページ(<https://swim.or.jp>)からダウンロードできます。

記入例 (様式-1)

## 飛込検定 結果報告書

報告日 (西暦) 2021年8月17日  
 開催団体名 日の丸ダイビングクラブ  
 報告者 畑岡 飛 (印)  
 TEL 03-3481-2306  
 E-Mail mail@nippon.com

○開催日 (西暦) 2021年8月14日 (金)

○会場 名称 日の丸スイミングアリーナ  
 プール ダイビングプール  
〒160-0013 (住所は都道府県から記入)  
 住所 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

○検定者 刀がナ ニホン タロウ  
 (責任者) 氏名 日本 太郎 (印)

○級数 参加状況

小学生		中学生		高校生		一般		合計	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1名	0名	0名	1名	1名	1名	2名	2名	4名	4名

受検・合否状況 受検者数 10名 (合格者 7名・不合格者 3名)

1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
2名	5名	3名	名	名	名	名	名
9級	10級	11級	12級	13級	14級	15級	
名	名	名	名	名	名	名	

○合格者一覧表のページ数 (飛込検定結果報告書は含めない) 1 枚

○この用紙のフォームは日本水泳連盟ホームページ(<https://swim.or.jp>)からダウンロードできます。

記入例 (様式-2)

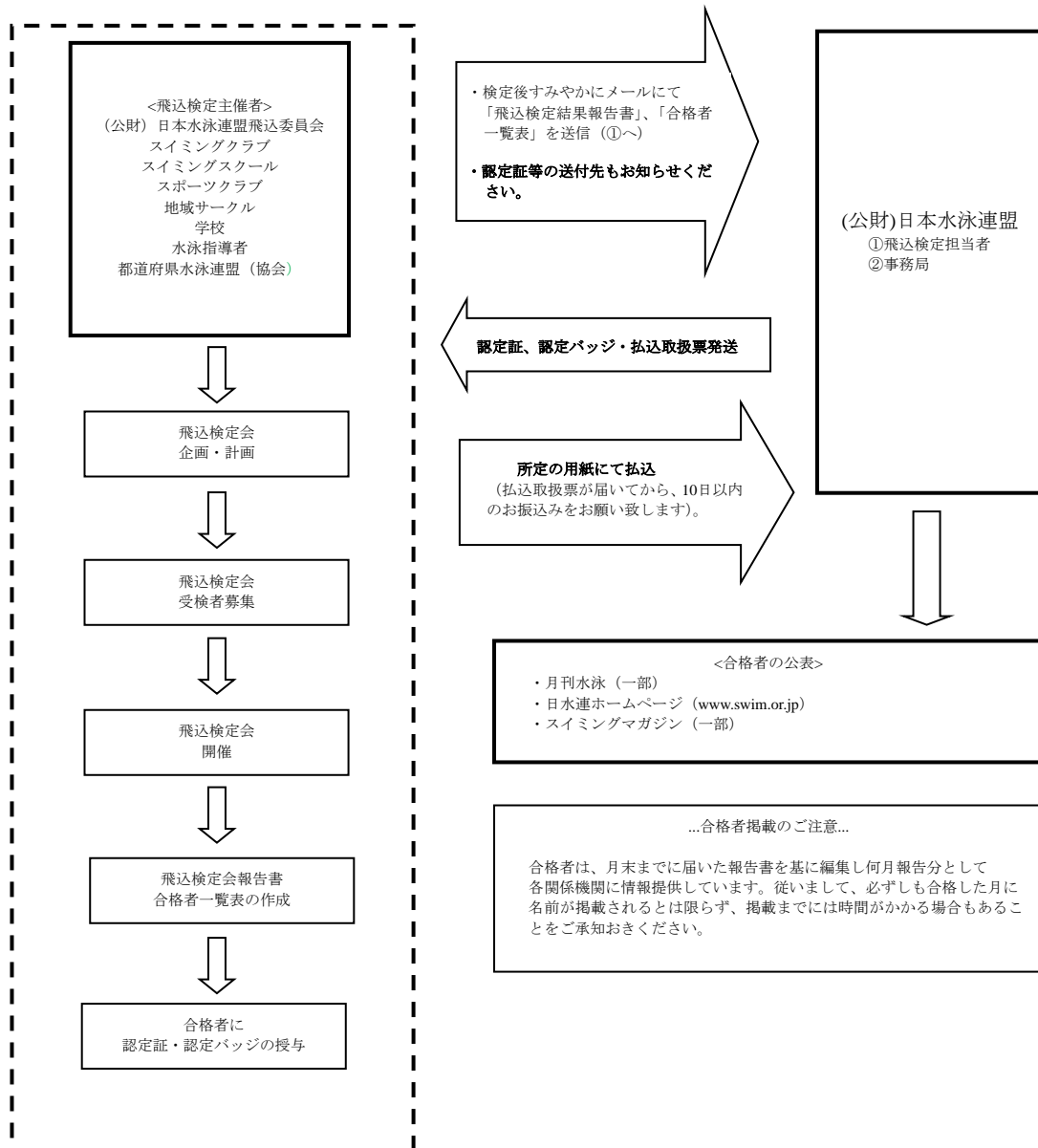
## 合 格 者 一 覧 表

実施日 2021年 8月14日      開催団体名 日の丸ダイビングクラブ

- ・級は1級から順番に記入してください。      ・級が変わる場合は1行開けてください。
- ・No.は級ごとに1番から入れてください。      ・書体はゴシック体または明朝体をご使用ください。
- ・氏名はJ I S第2水準までとし、苗字と名前には空欄を入れずに記入してください。
- ・フリガナはカタカナ全角にて記入してください。      ・年齢は検定会当日の満年齢です。
- ・性別は男または女で記入してください。
- ・内容は日本水泳連盟にメールにて送信してください。メール宛先の誤送信には責任を負いかねます。十分ご注意ください

級	No.	氏 名	フリガナ	性別	年齢
1	1	日本 一朗	ニホン イチロウ	男	10
1	2	新宿 次郎	シンジユク ジロウ	男	59
2	1	佐藤 三郎	サトウ サブロウ	男	20
2	2	日本 正子	ニホン マサコ	女	20
3	1	佐藤 三郎	サトウ サブロウ	男	20
3	2	渡辺 花子	ワタナベ ハナコ	女	21
3	3	日本 正子	ニホン マサコ	女	20

## ニチレイ飛込検定の流れ（現在の対応）



ニチレイ飛込検定の流れにおいて、現在の対応として一部変更をしております。検定終了後、所定の様式において結果を報告していただきます。確認後、認定証及びバッジと振込票を送付させていただきますので、届き次第振込みをお願い致します。なお、認定証等の送付先も合わせてご連絡をお願い致します。

## ニチレイ飛込技術検定会結果報告書

2024年1月13日～2024年12月12日現在

参加状況	小学生		中学生		高校生		一般		合計	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
	42名	58名	3名	8名	5名	2名	85名	56名	135名	124名

### 受検・合否状況

1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
8	9	5	2	7	5	8	18
9級	10級	11級	12級	13級	14級	15級	
12	11	23	14	23	18	53	

### 開催県・施設

神奈川県	相模原市立総合水泳場 横浜国際プール
三重県	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿
新潟県	ダイエープロビスフェニックスプール
東京都	東京アクアティクスセンター
茨城県	山新スイミングアリーナ 筑波大学飛込プール
北海道	北海道立野幌総合運動公園プール
群馬県	群馬県立敷島公園水泳場
岐阜県	長良川スイミングプラザ

令和6年度 飛込競技登録者数一覧

ブロック	競技者登録数												未登録者数										総数					
	番号	都道府県名	小学生		中学生		高校生		一般		合計		合計	小学生		中学生		高校生		一般		合計	合計	男	女	合計		
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女	男	女							
北海道	01	北海道	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	3	4	
東北	02	青森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	03	岩手	0	3	1	1	1	1	0	0	2	5	7	0	2	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	7	9	
	04	宮城	1	1	0	0	0	1	0	0	1	2	3	2	3	0	0	0	0	0	2	3	5	3	5	8	8	
	05	秋田	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	2	2	6	2	0	0	1	0	0	4	7	11	6	7	13	
	06	山形	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	2	1	1	0	0	0	0	0	1	1	2	1	3	4	4	
	07	福島	4	4	2	6	2	2	1	1	9	13	22	1	4	0	1	0	0	0	0	1	5	6	10	18	28	
	08	茨城	0	3	0	1	3	3	0	0	3	7	10	0	3	1	0	0	0	6	5	7	8	15	10	15	25	
関東	09	栃木	0	5	0	2	1	3	1	2	2	14	15	20	0	0	0	1	0	0	15	21	36	17	33	50		
	10	群馬	3	1	0	3	0	1	0	1	3	6	9	0	2	0	0	0	0	8	3	8	5	13	11	11	22	
	11	埼玉	0	1	2	1	0	1	0	0	1	6	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	7	
	12	千葉	0	1	2	1	0	1	0	0	2	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	5	
	13	東京	4	11	2	7	1	2	4	0	11	20	31	0	0	0	0	0	0	12	4	12	4	16	23	24	47	
	14	神奈川	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	2	1	3	
	15	山梨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北信越	16	長野	0	1	1	1	0	0	1	0	2	4	2	5	2	0	0	0	2	1	6	6	12	8	8	16	16	
	17	新潟	2	3	3	6	2	0	1	0	8	9	17	15	15	2	2	0	0	0	3	17	20	37	25	29	54	
	18	富山	0	1	0	1	2	1	0	0	2	3	5	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	3	3	6	6	
	19	石川	4	5	1	3	2	2	1	0	8	10	18	1	3	0	0	0	0	0	0	1	3	4	9	13	22	
	20	福井	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1	2	3	
東海	21	静岡	3	8	1	1	0	1	1	0	5	15	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	6	10	16	16	
	22	愛知	0	0	2	1	3	0	2	1	7	9	3	2	0	0	0	0	7	3	10	5	15	17	7	24		
	23	三重	10	6	0	5	2	1	1	0	13	25	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	14	12	26		
	24	岐阜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
近畿	25	滋賀	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	3	3	1	0	0	1	0	0	4	4	8	5	5	10	10	
	26	京都	0	0	0	1	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	
	27	大阪	1	2	0	0	0	0	2	0	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	5	
	28	兵庫	0	2	0	0	1	0	0	1	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4	
	29	奈良	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	0	0	0	0	1	1	2	1	3	4	4	
	30	和歌山	1	1	2	0	0	0	0	0	3	4	0	3	1	0	0	0	0	0	1	3	4	4	4	8	8	
中国	31	鳥取	1	2	0	2	0	0	0	0	4	6	1	1	0	0	0	0	0	1	1	2	2	5	7	7	7	
	32	島根	3	1	2	2	1	0	0	0	6	9	8	4	0	0	0	0	0	8	4	12	14	7	21	21		
	33	岡山	0	4	0	0	1	1	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	6	
	34	広島	2	3	5	1	2	1	0	1	9	15	10	10	0	0	0	0	0	10	10	20	19	16	35	35		
	35	山口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四国	36	香川	0	2	0	1	0	1	0	0	4	4	0	2	0	0	0	0	0	0	2	2	0	6	6	6	6	
	37	徳島	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	38	愛媛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	39	高知	1	2	1	2	1	2	0	1	3	10	2	5	0	0	0	0	0	2	5	7	5	12	17	17	17	
九州	40	福岡	0	0	0	1	1	0	1	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	3	
	41	佐賀	3	1	1	0	2	0	0	1	6	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2	8	8	
	42	長崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	43	熊本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	44	大分	1	2	1	0	2	0	0	1	4	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	7	7	
	45	宮崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	46	鹿児島	0	0	1	1	2	1	1	0	4	6	1	0	1	1	0	0	0	2	1	3	6	3	9	9	9	
	47	沖縄	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
合計			45	76	31	51	34	27	17	10	127	176	303	72	98	11	4	0	3	35	19	119	124	243	246	300	546	

令和6年度 飛込教室参加数一覧

ブロック	番号	都道府県名	実施対象(その他)		参加人数
			対 象 者	人数制限	
北海道	01	北海道			
東北	02	青森			
	03	岩手	小学生, 中学生, 高校生, 一般	人数制限を設けていない	12
	04	宮城	年齢制限を設けていない	20名以下	51
	05	秋田	小学生, 中学生	人数制限を設けていない	23
	06	山形	小学生	30名以下	29
	07	福島	小学生, 中学生, 高校生	30名以下・人数制限を設けていない	44
関東	08	茨城	小学生, 中学生, 高校生, 一般	20名以下・人数制限を設けていない	10
	09	栃木	小学生	スタッフの人数によって異なる	35
	10	群馬	年齢制限を設けていない	20名以下	33
	11	埼玉	小学生, 中学生		30
	12	千葉	小学生, 中学生, 高校生, 一般,	人数制限を設けていない	24
	13	東京都	小学生, 中学生, 高校生, 一般	30名以下	102
	14	神奈川県	小学生, 中学生, 高校生, 一般	30名以下	49
北信越	15	山梨			
	16	長野	年齢制限を設けていない	20名以下	10
	17	新潟	年齢制限を設けていない	20名以下	34
	18	富山	小学生, 中学生, 高校生, 一般	20名以下	25
	19	石川	小学生, 中学生, 高校生, 一般	30名以下	52
東海	20	福井	年齢制限を設けていない	10名以下	6
	21	静岡県	小学生, 中学生, 高校生, 一般・年齢制限を設けていない	20名以下	15
	22	愛知			
	23	三重	小学生	30名以下	
近畿	24	岐阜	小学生, 中学生	10名以下	8
	25	滋賀	小学生, 中学生, 高校生	30名以下	57
	26	京都	小学生	10名以下	26
	27	大阪			
	28	兵庫			
	29	奈良			
中国	30	和歌山	小学生	20名以下	17
	31	鳥取	年齢制限を設けていない	20名以下	13
	32	島根	小学生	人数制限を設けていない	40
	33	岡山			
	34	広島	小学生	30名以下	20
四国	35	山口			
	36	香川			
	37	徳島			
	38	愛媛			
九州	39	高知	小学生	10名以下	7
	40	福岡	小学生, 中学生	10名以下	6
	41	佐賀	小学生	30名以下	60
	42	長崎			
	43	大分	小学生	人数制限を設けていない	
	44	熊本			
	45	宮崎			
46	鹿児島	小学生, 中学生, 高校生, 一般, 年齢制限を設けていない	20名以下	98	
47	沖縄				
合計					936



令和6年度 飛込競技者総数			
	男	女	合計
競技登録者	127	176	303
競技未登録者	119	124	243
大学生	15	19	34
合計	261	319	580
飛込教室	936		936
総合計(人数)			1,516
【加盟大学】			
東北支部	仙台大学		
関東支部	日本体育大学		
	慶応義塾大学		
	筑波大学		
	日本大学		
	早稲田大学		
	日本女子体育大学		
	法政大学		
	明治大学		
	白鷗大学		
	高崎健康福祉大学		
中部支部	中京大学		
	東海学園大学		
関西支部	近畿大学		
中国・四国支部	福山平成大学		
	島根大学		
	四国大学		
	高知工科大学		
	倉敷芸術科学大学		

# 補足資料1

◎過去の数値

年度	男女	競技者登録	競技未登録者	大学生	飛込教室	総計
2023	男	113	112	18	954	<b>243</b>
	女	189	105	21		<b>315</b>
	合計	302	217	39	954	<b>1,512</b>
2022	男	109	108	17	868	<b>234</b>
	女	183	134	20		<b>337</b>
	合計	292	242	37	868	<b>1,439</b>
2021	男	128	124	19	692	<b>271</b>
	女	179	150	28		<b>357</b>
	合計	307	274	47	692	<b>1,320</b>
2020	男	108	103	19	527	<b>230</b>
	女	173	123	23		<b>319</b>
	合計	281	226	42	527	<b>1,076</b>
2019	男	153	76	21	941	<b>250</b>
	女	194	104	22		<b>320</b>
	合計	347	180	43	941	<b>1,511</b>
2018	男	164	108	22	1,203	<b>294</b>
	女	210	137	31		<b>378</b>
	合計	374	245	53	1,203	<b>1,875</b>

## 補足資料2

### 教室・ニチレイ検定に関する内容

☆飛込教室を開催して、何か課題等ありましたら、内容を記述してください。

- 指導者が少なく教室の自由度が高いため全体を把握出来ずらい。
- 本年度は、本県・スポーツ協会主催のトライアル事業における体験会のみ実施しているが、時間・人数に制限が設けられていないため、時間により参加人数の差が大きい。安全に体験してもらうには人数制限が必要。(次年度開催時の課題として、スポーツ協会へ要望済み)
- 今年度実施を計画したが、申込者がいなかった。告知場所と方法を検討する必要がある。
- 小中学生の参加者が少ない。
- 講師の確保。毎年、全5回の実施で開催しているが、講師の確保が難しく、参加者の人数に対して講師の人数があっておらず、参加者には不便を強いている。
- 体験教室として実施していますが、競技に繋がっていない。
- 需要に対する受け皿が狭い。
- 単発の参加はあるが、継続的には来てもらえていない。
- 現状では継続して選手を指導できる指導者がいないため、選手育成に繋がられない。
- 実施日数と指導者の数。レベルによるランク分けできる教室数に至っていない。
- 教室希望者は多いが継続的に実施するにあたっては、スタッフの人数にかぎりがあり、人数制限が必要となる。
- 体験教室止まりで、育成・選手コースになかなか発展していかない。
- 担当スタッフが少ない。
- 5月～9月で毎月1回行って、毎回20名弱集まっているのに、クラブに1人も入会しませんでした。習い事として飛込はハードルが高いようです。
- 教室に集まってくれる参加者は、普段立ち入り禁止のプールに入れるから参加したという理由で集まって来てる参加者がほとんどで、先に繋がらないのが悩み。

☆ニチレイ飛込検定について何かございましたら自由に記述ください。

- 検定受検級に制限(飛び級なしなど)をかける方が長く実施できると思われる。検定に使う用紙の級ごとの目標の記載内容は採点項目や基準を記載するなど修正したほうが、採点基準が明確になり場所によつてのギャップを少なくできるのではないかと思う。
- 1級につき1000円の負担はやや高いように感じる。
- 競泳の「特別検定」のように、受験料が無料になる検定日を設定して欲しい。
- 申請や申し込みの簡素化をしていただきたい。
- 実施方法など詳細を周知してほしい。
- 初心者には段階が急すぎる。

# 競技部目次

1. 2025年度以降 主要競技会「日程・開催予定地」
2. 2024年 飛込委員会決定事項（6点）
  - ① 主要競技大会出場資格について（保留案件有）
  - ② 『推薦願い』要領について
  - ③ 国民スポーツ大会（水泳・飛込）の予備エントリー要領
  - ④ 競技会におけるダイブシート提出期限の運用について
  - ⑤ 国民スポーツ大会におけるトップアスリート参加資格特例措置対象者選出要領について
  - ⑥ 日本選手権・国民スポーツ大会の予選会中止時の対応について
3. 2025年度 主要競技会「競技会要項（案）抜粋」

1. 2025年度以降 主要競技会「日程表」

2024年12月末作成

競技会名	2025	2026	2027	2028
オリンピック				アメリカ (ロサンゼルス)
世界選手権	シンガポール		ハンガリー	
FISU ワールドユニバーシティゲームズ	ドイツ 7/16～27		韓国	
アジア競技大会		日本(名古屋)		
世界ジュニア選手権				
ユースオリンピック				
アジア大会				
アジア AGE				
世界マスターズ				
日本選手権	栃木 8/29～31			
翼ジャパソング化ソングカップ 兼国際大会派遣選手選考会	東京 2025/3/19～22			
日本学生選手権	大阪 9/6～7	大阪	未定	未定
JOC ジュニアオリンピック カップ (夏季)	大阪 8/22～25(予定)	大阪 8/22～25(予定)	大阪 8/22～25(予定)	大阪 8/22～25(予定)
JOC ジュニアオリンピック カップ (春季)	栃木県 2025/3/28～29	未定	未定	未定
高等学校体育大会	広島県・福山市 8/17～20	滋賀県・草津市 8/17～20	東京都	東海ブロック
全国中学校体育大会	鹿児島県・鹿児島市 8/17～19	広島県		
国体 (2024より国民スポーツ大会)	滋賀県・草津市	青森(宮城・仙台市)	宮崎	

## 主要競技大会出場資格について

本要領により、日本水泳連盟が主催する競技会の出場資格について、飛込委員会の方針を明示することとする。

なお、2020年度以降の競技会において、新型コロナウイルス感染症流行による予選会実施も確実ではなかった状況を鑑みて変更していた内容についても、本要領で改めることとする。

※本資料では競技者登録および団体登録に関することは記載しない。

### 1. 日本選手権

#### ●個人種目

①当該年度下記競技会の当該競技種目において標準点数（※1）を突破（同点可）した者。

関東選手権／関西選手権

②前年度日本選手権終了後に、翼ジャパンダイビングカップが開催された場合、その翼ジャパンダイビングカップにおいて、標準点数（※1）を突破（同点可）した者。

③(公財)日本スポーツ協会が定める「当該年度トップアスリーの国民体育大会参加資格の特例措置」における当該競技種目の対象者。

④飛込委員会において各加盟団体からの推薦に基づき、承認された者。

#### ●シンクロナイズド競技種目 以下のいずれかを満たすチーム（※2）

①エントリーするチームの両名の内1名は、当該競技種目の個人競技種目出場資格を持っている事。

②飛込委員会によって承認された推薦チームであること。

#### ※1 標準点数

	男子			女子	
	種目	自由選択飛		種目	自由選択飛
男子	1 m飛板	240	女子	1 m飛板	170
	3 m飛板	280		3 m飛板	200
	高飛込	280		高飛込	200

※2 参加申込締め切り後やむを得ない事由により、どちらかの選手が出場できない場合、監督者会議以前であれば選手の交替を認める。

### 2. 翼ジャパンダイビングカップ（塗りつぶし部分保留案件）

#### ●個人種目

①当該年度下記競技会の当該競技種目において、下記の成績をおさめた者。

（当該年度に下記競技会が本競技会エントリーまで未実施の場合は、前年度に読み替える）

- ・全国中学校水泳競技大会において、当該競技種目 1位～3位の者。
- ・日本高等学校選手権水泳競技大会において、当該競技種目 1位～3位の者。
- ・全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季大会14歳～15歳区分において、当該競技種目 1位  
または、16歳～18歳区分において、当該競技種目 1位～3位の者。
- ・日本学生選手権大会において、予選競技または決勝競技 1位～6位の者。
- ・国民スポーツ大会少年の部において、当該競技種目 1位～3位の者。
- ・国民スポーツ大会成年の部において、当該競技種目 1位～8位の者。
- ・日本選手権において、当該競技種目 1位～12位までの者。

②(公財)日本スポーツ協会が定める「当該年度トップアスリーの国民体育大会参加資格の特例措置」における当該競技種目の対象者。

③飛込委員会において各加盟団体からの推薦に基づき、承認された者。

●シンクロナイズド競技種目

『1. 日本選手権』に準じる。

3. 日本学生選手権

以下の条件のいずれかに該当すること。

①前年度日本学生選手権以降に開催された公認競技会（ブロック大会以上および本連盟の主催する大学対抗戦）において以下の標準点数を突破した者。なお、学生委員会加盟校登録が1回目の者は、前年度全国JOC夏季ジュニアオリンピックカップ・全国高校総体・国民体育大会の自由選択飛の記録でも可とする。

男子飛板飛込 210点/男子高飛込 200点/女子飛板飛込 150点/女子高飛込 140点

②(公財)日本スポーツ協会が定める「当該年度トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」における当該競技種目の対象者。

※日本学生選手権については、学生委員会が主管であることから、本方針はあくまでも飛込委員会方針であり、適宜変更等の可能性はある。

※コロナ禍により対象とする競技会を拡大したが、大学生の学生生活の実態（実習や就職活動）を鑑み、これを維持することとした。但し、全国高校総体等の種目数が不足している点については、特段の配慮はせず、1演技種目少なくとも標準点数を超えていることを求める。

4. 全国JOC夏季ジュニアオリンピックカップ

●個人種目

・当該年度各ブロック予選会において以下の標準点を突破（同点可）した者で、各ブロックの参加枠の範囲内でエントリーできる。

性別	区分	種目	標準点数	性別	区分	種目	標準点数
男子	9～11歳	1 m飛板飛込	150点	女子	9～11歳	1 m飛板飛込	150点
		12～13歳	1 m飛板飛込			220点	12～13歳
		高飛込	195点			高飛込	
	14～15歳	3 m飛板飛込	275点		14～15歳	3 m飛板飛込	250点
		高飛込	255点				高飛込
	16～18歳	3 m飛板飛込	370点		16～18歳	3 m飛板飛込	305点
		高飛込	340点				高飛込

※各ブロック参加枠については、各ブロック3名に加えて、前年度本大会において8位までの入賞選手を輩出したブロックにその人数の枠数を付与したものである。

●シンクロ種目

・参加するチームは兩名ともに、個人競技種目の出場権を満たしているチーム。

※参加制限：12～18歳無差別とする。

5. 全国 JOC 春季ジュニアオリンピックカップ

①2025 年度実施の都道府県・ブロック等の競技会・記録会において以下の標準点数を突破した者。

性別	区分	種目	標準点数	性別	区分	種目	標準点数
男子	9～11歳	1 m 飛板飛込	150点	女子	9～11歳	1 m 飛板飛込	150点
		12～13歳	1 m 飛板飛込			220点	12～13歳
		3m 飛板飛込	220点			3m 飛板飛込	
	14～15歳	1m 飛板飛込	275点		14～15歳	1m 飛板飛込	250点
		3m 飛板飛込	275点				3m 飛板飛込

②当該年度の全国中学校体育大会・日本高等学校体育大会・国民スポーツ大会・日本選手権に出場した者。

③本大会において男女各 1 名の参加がない都道府県は、男女各 1 名をエントリー資格者として各都道府県水泳連盟（協会）から推薦できる。またエントリー資格者が男女どちらか一方の場合は、資格者がいない方について推薦できる。

※全国 JOC ジュニアオリンピックカップについては、JO 実行委員会が主管であることから、本方針はあくまでも飛込委員会方針であり、適宜変更等の可能性はある。

以上



## 日本水泳連盟飛込委員会『競技会推薦願』受領要領について

本要領により、日本選手権・翼ジャパンダイビングカップにおける競技会推薦願いの受領、審査、承認、回答について飛込委員会の方針を明示することとする。

### 1. 受領について

#### ●個人種目

各加盟団体より、以下の①～③のいずれかに該当する者が推薦された場合、受領する。

① 推薦される者が、当該競技会の出場資格を獲得する競技会（予選会等）へ出場が出来なかった理由が、怪我や疾病、海外遠征等によるもので、当該競技会の実施最終日から遡って、2年以内に、以下の競技会での競技実績を有することを原則とする。なお推薦する競技種目と同一であること。

1. 日本選手権8位以内
2. 翼ジャパンダイビングカップ8位以内
3. 学生選手権6位以内
4. 高等学校選手権3位以内
5. 全国中学3位以内
6. 全国J0 3位以内（9-11歳のクラスを除く）
7. 国民スポーツ大会少年の部3位以内/成年の部8位以内

② 過去にオリンピック大会および世界水泳大会等、日本代表として出場した実績がある者。

③ ①②には該当しないが、飛込委員会強化部より推薦することが推奨された者。

#### ●シンクロ種目

各加盟団体より、以下の①～③のいずれかに該当するチームが推薦された場合、受領する。

① 推薦されるチームは、当該競技会の出場資格を獲得する競技会（予選会等）へ出場が出来なかった理由が、怪我や疾病、海外遠征等によるもので、当該競技会の実施最終日から遡って、2年以内に、以下の競技会での競技実績を有することを原則とする。なお推薦する競技種目と同一であること。

1. 日本選手権優勝
2. 翼ジャパンダイビングカップ優勝
3. 全国J0 優勝

※該当競技会の競技種目が公開競技の場合は、最上位の記録であること。

② 過去にオリンピック大会および世界水泳大会等、日本代表として出場した実績があるチーム。

③ ①②には該当しないが、飛込委員会強化部より推薦することが推奨されたチーム。

### 2. 審査・承認について

飛込委員会強化部は、以下の審査項目を参考に、推薦可否の原案を作成し、飛込委員会に提案する。

- ・成長著しいと認められる若手選手・チーム。
- ・国際大会派遣選手選考会を兼ねる場合は、選考対象になると見込める選手・チーム。

なお、回答までに飛込委員会の開催が出来ない場合は、飛込委員会強化部の原案を、委員長・副委員長が承認することで、飛込委員会の決定事項とする。

### 3. 回答について

加盟団体に文書をもって回答する。

以上

## 国民スポーツ大会（水泳・飛込）の予備エントリー要領

本要領により、全国の加盟団体に統一見解を持たせ、予備エントリーの手順および予備エントリー選出選手の取扱について明示するものとする。

### 1. 予備エントリー実施の目的について

（公財）日本スポーツ協会より定められ『水泳・飛込競技』に付与された参加者枠数98名（選手・監督）を日本水泳連盟飛込委員会が定めた基準で審査し、本エントリーできる枠数を各都道府県に配分するものである。

### 2. 予備エントリーの手順について

予備エントリーの方法・手順については、全国の加盟団体に改めて周知するが、飛込委員会競技部が委託したシステムを用いて行う。予備エントリー締切日や結果の回答日については別途通達する。

### 3. 予備エントリーできる選手について

各加盟団体は、以下のいずれかに該当する者を予備エントリーできる。

- ①本大会の競技会要項に記載された予選対象大会で標準点数を突破した者。
- ②開催年度の国民スポーツ大会におけるトップアスリート参加資格特例措置対象者。

（制限）

- ・各都道府県は、最大4名までしか予備エントリーできない。
- ・各都道府県は、1種目につき1名までしか予備エントリーできない。
- ・上記②に該当する選手は、対象種目に限らず、飛板飛込・高飛込両方に予備エントリーできる。
- ・選手兼任監督である者は、予備エントリー時からその旨申請すること。

### 4. 予備エントリー選出選手の選出方法

予備エントリーされた者の中から以下の基準で順に選出を行う。

基準1 開催都道府県の選手

基準2 「3. 予備エントリーできる選手について」の②に該当する選手。

基準3 基準2で選出した選手を除き、予備エントリーした各都道府県の達成率（※）最上位者

基準4 基準1～3までの対象者選手がいる都道府県に監督枠1を配分する。

基準5 基準1～4での枠数を98から差し引いた枠数分、残りの対象者の内達成率（※）の上位の者  
※達成率・・・予選会得点を標準点数で割ったもの。2種目エントリーしている者は、高い方を採用する。

※なお、基準4の時点で98名を上回る場合、基準3に遡り、その対象者の中でランキング順にし、上位より選出する。基準4での監督者枠配分は、必ず参加都道府県には配分されるように配慮する。

### 5. 予備エントリー結果の回答について

日本水泳連盟飛込委員会は、予備エントリーした都道府県の加盟団体に、「4. 予備エントリー選出選手の選出方法」に基づき決定した選手枠数（監督者数+選手数）を回答する。

### 6. 本エントリーについて

各加盟団体は、日本水泳連盟飛込委員会から回答のあった選手枠数に基づき、本大会競技会要項のとおりエントリーを行う。その際、予備エントリーしていない選手であっても、競技会要項の申込規定を満たし、配分された選手枠数（監督者数含む）の範囲内であれば、本エントリーすることができる。

以上

## 競技会におけるダイブシート提出期限の運用について

本要領により、2024年度競技会より、原則ダイブシートの提出期限を各競技開始時刻24時間前とすることに伴い、各競技会の初日に実施される競技会は、前日の公式練習の実施状況によるところであり、また提出忘れの対応も開門時間によることから、以下のとおり運用する。

### 1. ダイブシートの提出期限について

- ・競技会第1日目15時までに開始される競技について  
『前日の15時まで提出とする。』
- ・競技会第1日目15時以降から最終日までに開始される競技について  
『当該競技開始の24時間前まで提出とする。』

### 2. ダイブシート提出時刻超過後の受付について

- ・各日開門後3時間30分以内に開始される競技について  
『当日開門後30分以内まで受け付ける。』
- ・各日開門後3時間30分超過以降に開始される競技について  
『当該競技開始の3時間前まで受け付ける。』

なお、申請手数料として、20,000円を徴収する。

ただし、2025年度に開催される競技会については、申請手数料の徴収を免除し、競技会審判長の嚴重注意のもと受け付けることとする。

### 3. その他

- ・ダイブシート提出時は提出時刻を記載すること。(競技役員がその場で記載することが望ましい)
- ・ダイブシートの提出場所は、常設することになるため、プールサイドや記録席に限らず、受付や記録本部等、競技会の実情に合わせて対応できることとする。

上記事項は、日本水泳連盟主催競技大会において運用するが、その他競技会においても広く準用いただくことを要望する。但し、その競技会の実情に合わせて、修正を加えることは差し支えないこととし、その場合は、競技会要項等で周知すること。

上記事項を採用した際の競技会要項への記載については、例文として以下を示す。

『ダイブシートは所定のものを使用し必要事項を記入の上、当該競技開始時刻の24時間前までに提出すること。なお、競技会1日目15時までに開始される競技については前日15時までの提出を可とする。』

また、当該競技提出期限超過後であっても競技開始3時間前までに記録席本部に申し出ること、審判長嚴重注意のもと受け付ける場合がある。なお各日競技開始3時間30分前に競技会会場の開門時刻となっていない場合は、開門後30分間は同様の対応をする。

なお提出場所および各競技の提出時刻については、二次要項で周知する。』

## 国民スポーツ大会におけるトップアスリート参加資格特例措置対象者 選出要領について

本要領により、毎年度4月頃に日本スポーツ協会に提出する当該年度の「トップアスリート参加資格特例措置対象者」について、以下のとおり飛込委員会内の方針を明示することとする。

前提) スポーツ協会からの条件

### 1. 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- 1) 大会開催の直近に開催されたオリンピック競技大会（冬季競技はオリンピック冬季競技大会）に参加した者。
- 2) 大会開催年の4月30日（冬季大会は前年10月31日）時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者。
  - (1) JOC オリンピック強化指定選手
  - (2) 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者
  - (3) 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

上記、スポーツ協会からの条件を基に、飛込競技においては以下のとおり対象者は選出している。

- ① 「1) 大会開催の直近に開催されたオリンピック競技大会に参加した者」を採用し、直近のオリンピック競技大会に参加した者。
- ② 2)の(2) 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者にに基づき、直近の翼ジャパンダイビングカップまたは国際大会派遣選手選考会または日本選手権の各種目上位8名に入った者。

ここで改めて、2023年5月飛込委員会競技部協議事項より、翼ジャパンダイビングカップが国際大会派遣選手選考会を兼ねた開催時期が流動的な競技会であると位置づけられたため、トップアスリートを選出する競技会も流動的になってしまうことを避けるために、固定した競技会での選出について検討した結果、日本選手権に固定して、対象者を選出することを飛込委員会の方針とする。

以下のとおり飛込委員会としての選出対象基準とする。

- ① 「1) 大会開催の直近に開催されたオリンピック競技大会に参加した者」に基づき、直近のオリンピック競技大会に参加した者。
- ② 2)の(2) 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者にに基づき、前年度の日本選手権の各種目上位8名に入った者。

以上

## 日本選手権・国民スポーツ大会の予選会中止時の対応について

日本選手権および国民スポーツ大会成年の部の予選会として指定されている関東選手権・関西選手権、国民スポーツ大会少年の部の地域高等学校選手権・夏季 J0 ブロック予選会が荒天等不測の事態により、競技が成立しなかった場合に、以下のとおり選手に対する救済処置について、定めることとする。

### 1. 救済処置が適用される条件

- ・当該予選会の中で荒天等不測の事態により、予選競技・決勝競技ともに成立しなかった競技※1にエントリーし、競技開始時刻時点で棄権していない者※2であること。

※1) 予選競技のみが成立した場合は、出場選手に演技機会があったため、対象競技会予選会としては成立したものと判断する。

※2) 故障・疾病等によりエントリーしていない者および棄権した者は、救済処置の適用から除外する。

### 2. 救済処置に指定する対象予選会

- ・日本選手権および国民スポーツ大会成年の部  
夏季 J0 ブロック予選会の点数を予選会得点として採用※3する。

※3) 不足する種目数は追加で演技し、予選会用のダイブシートを別途作成する。

- ・国民スポーツ大会少年の部  
各ブロックの判断で、追加で予選会を実施※4することを認める。

※4) ブロックが追加で実施できる予選会は1回とする。

### 3. 手続きの流れ

- ①対象予選会が実施できなかった場合、担当者は飛込委員会競技部へ対象者を含めて報告する。
- ②対象者は、救済処置を希望する場合、出場する代替予選会を事前に飛込委員会競技部へ報告する。  
その際認められる代替予選会は1つに限る。
- ③対象者は、代替予選会出場後、ダイブシートを添えて、飛込委員会競技部へ報告する。
- ④飛込委員会競技は、ダイブシートを各競技会担当者に共有し、予選会記録として扱う。

### 4. 特例対応について

- ・日本選手権のエントリー期限については、その状況により適宜調整する。
- ・国民スポーツ大会の予備エントリー期限については、いかなる状況でも変更はしない。
- ・日本学生選手権、夏季 J0 の予選会については、この適応の対象外であり、高等学校選手権については別途高体連の定める方法にて対応する。

### 5. その他

各ブロック長においては、成年選手が夏季 J0 ブロック予選会に参加する際には、寛大な対応を願います。その際、一選手が複数のブロックに出場することがないように対応します。

以上

## 2. 2025年度 主要競技会「要項案」

以下は、主要競技会の要項案です。この要項案は2024年12月時点に作成し、各競技会の競技種目、競技方法、競技日程、申込規定等を提示するものです。正式な競技会要項は日本水泳連盟HP（2025年4月頃公表予定）よりご確認ください。

### 第101回（2025年度）日本選手権水泳競技大会飛込競技

開催場所：栃木県・日環アリーナ栃木

競技期間：8月29日（金）～8月31日（日）

#### 競技種目

以下の競技種目を男女それぞれ行う。※ 高飛込の高さは、10mに限る。

- 1) 1m飛板飛込 2) 3m飛板飛込 3) 高飛込（※）  
4) 3mシンクロ飛板飛込 5) 10mシンクロ高飛込（※）

#### 競技方法

各種目以下のとおり行う。

- 1) 1m飛板飛込  
決勝競技のみ行う。
- 2) 3m飛板飛込、高飛込
  - ・予選競技、決勝競技を行う。
  - ・決勝競技進出者は予選競技上位12位までの選手とし、13位、14位の選手をリザーブとする。決勝競技進出者決定後、棄権者が出た場合にはリザーブより繰上げを行い、12名を確保する。
  - ・決勝競技における競技順は予選競技下位の選手からとする。
  - ・最終順位は、決勝競技の得点合計により決定する。
- 3) シンクロナイズド3m飛板飛込、シンクロナイズド高飛込
  - ・決勝競技のみ行う。
  - ・男女同時進行にて競技を行う。
  - ・出場チーム数が3組未満の場合は、公開競技として行う。（公式競技決定については、二次要項で確認すること。）

#### 競技日程

8月29日（金）	1. 女子	3m飛板飛込	予選	2. 男子	1m飛板飛込	決勝
	3. 女子	3m飛板飛込	決勝	4. 男女	3mシンクロ飛板飛込	決勝
8月30日（土）	5. 男子	3m飛板飛込	予選	6. 女子	高飛込	予選
	7. 男子	3m飛板飛込	決勝	8. 女子	高飛込	決勝
8月31日（日）	9. 男子	高飛込	予選	10. 女子	1m飛板飛込	決勝
	11. 男子	高飛込	決勝	12. 男女	10mシンクロ高飛込	決勝

#### 申込規定

##### 1) 資格

●個人競技種目 以下の①～③を全て満たす者。

- ① 競技者は（公財）日本水泳連盟競技者登録（2025年度）完了者で中学生以上であること。
- ② ①と同様に競技者が所属する団体も団体登録が完了していること。
- ③ 以下の条件のいずれかに該当する者。

イ. 2025年度下記競技会の当該競技種目において標準点数（下表）を突破（同点可）した者。

関東選手権・関西選手権

ロ. 2024年度下記競技会の当該競技種目において標準点数（下表）を突破（同点可）した者。

翼ジャパンダイビングカップ

ハ. （公財）日本スポーツ協会が定める「2025年度トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」における当該競技種目の対象者。

ニ. 各加盟団体からの推薦に基づき、飛込委員会で承認された者。

⇒『『推薦願い』要領について』を参照すること。

●シンクロ競技種目 以下の①～②の全てを満たすチーム

①エントリーするチームの両名は、個人競技種目①②を満たすこと。

②以下の条件のいずれかに該当するチーム

イ. エントリーするチームの両名の内1名は、当該競技種目の個人競技種目③の条件を満たしていること。

ロ. 各加盟団体からの推薦に基づき、飛込委員会で承認されたチームであること。

⇒『『推薦願い』要領について』を参照すること。

《標準点数》

	1m飛板飛込	3m飛板飛込	高飛込
男子	240	280	280
女子	170	200	200

以上

## 2025年度翼ジャパンダイビングカップ 兼 国際大会派遣選手選考会

開催場所：東京都・東京アクアティクスセンター

競技期間：2026年3月19日（木）～3月22日（日）

### 競技種目

以下の競技種目を男女それぞれ行う。※高さは10mに限る

- 1) 3m飛板飛込 2) 高飛込 3) 3mシンクロ飛板飛込 4) 10mシンクロ高飛込（※）
- 5) MIX 3mシンクロ飛板飛込 6) MIX 10mシンクロ高飛込（※）

なお、5) 6) は公開競技として実施する。

### 競技方法

各種目以下のとおり行う。

- 1) 3m飛板飛込、高飛込
  - ・予選競技、決勝競技を行う。
  - ・決勝競技進出者は予選競技上位12位までの選手とし、13位、14位の選手をリザーブとする。決勝競技進出者決定後、棄権者が出た場合にはリザーブより繰上げを行い、12名を確保する。
  - ・決勝競技における競技順は予選競技下位の選手からとする。
  - ・最終順位は、決勝競技の得点合計により決定する。
- 2) 3mシンクロ飛板飛込、10mシンクロ高飛込、MIX 3mシンクロ飛板飛込、MIX 10mシンクロ高飛込
  - ・決勝競技のみ行う。
  - ・男女同時進行にて競技を行う。
  - ・出場チーム数が3組未満の場合は、公開競技として行う。（公式競技決定については、二次要項で確認すること。）

### 競技日程

- ・ 3月19日（木） 1. 女子 高飛込 予選 / 2. 女子 高飛込 決勝 / 3. MIX 10mシンクロ高飛込 決勝
- ・ 3月20日（金） 4. 男子 3m飛板飛込 予選 / 5. 男子 3m飛板飛込 決勝 /  
6. MIX 3mシンクロ飛板飛込
- ・ 3月21日（土） 7. 女子 3m飛板飛込 予選 / 8. 女子 3m飛板飛込 決勝 /  
9. 男女 3mシンクロ飛板飛込 決勝
- ・ 3月22日（日） 10. 男子 高飛込 予選 / 11. 男子 高飛込 決勝 / 12. 男女 10mシンクロ高飛込 決勝

### 申込規定

#### 1) 資格

●個人競技種目 以下の①～③を全て満たす者。

- ① 競技者は(公財)日本水泳連盟競技者登録（2025年度）完了者で中学生以上であること。
- ② 競技者が所属する団体も同様に団体登録が完了していること。
- ③ 以下の条件のいずれかに該当する者。

イ. 2025年度下記競技会の当該競技種目において下記の成績をおさめた者。（塗りつぶし部分継続審議中）

- ・全国中学校水泳競技大会において、当該競技種目1位～3位の者。
- ・日本高等学校選手権水泳競技大会において、当該競技種目1位～3位の者。
- ・全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季大会（※）において、当該競技種目1位～3位の者。

※グループA・Bに限る。グループBの順位について継続審議中である。

- ・国民体育大会少年の部において、当該競技種目1位～3位の者。
- ・国民体育大会成年の部において、当該競技種目1位～8位の者。
- ・日本学生選手権大会において、予選競技または決勝競技1位～6位の者。
- ・日本選手権において、当該競技種目1位～12位までの者。

ロ. (公財)日本スポーツ協会が定める「2025年度トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」における当該競技種目の対象者。

ハ. 各加盟団体からの推薦に基づき、飛込委員会で承認された者。

⇒『『推薦願い』要領について』を参照すること。

●シンクロ競技・MIXシンクロ競技 以下の①～②の全てを満たすチーム

①エントリーするチームの両名は、個人競技種目①②を満たすこと。

②以下の条件のいずれかに該当するチーム

イ. エントリーするチームの両名の内1名は、当該競技種目の個人競技種目③の条件を満たしていること。

ロ. 各加盟団体からの推薦に基づき、飛込委員会で承認されたチームであること。

⇒『『推薦願い』要領について』を参照すること。

以上

## 第100回（2024年度）日本学生選手権

開催場所：大阪府・Asue大阪プール

競技期間：9月6日（土）～9月7日（日）

### 競技種目

男子 3m飛板飛込 自由選択飛（各群より6演技種目） / 高飛込 自由選択飛（各群より6演技種目）  
女子 3m飛板飛込 自由選択飛（各群より5演技種目） / 高飛込 自由選択飛（異群より5演技種目）

### 競技方法

- 1) 予選競技、決勝競技を行う。
- 2) 決勝競技進出者は、予選競技上位12位までの選手とする。ただし決勝進出者は1校3名以内とする。
- 3) 決勝競技進出者決定後、棄権者が出た場合には繰上げを行い、12名を確保する。
- 4) 順位は決勝競技の得点合計により決定する。

### 競技日程

9月6日（土） 1. 男子 3m飛板飛込 2. 女子 高飛込  
9月7日（日） 3. 女子 3m飛板飛込 4. 男子 高飛込

### 申込規定

#### 1) 資格

以下の①～③を全て満たす者。

- ① 競技者は(公財)日本水泳連盟競技者登録（2025年度）完了者であること。
- ② ①と同様に競技者が所属する団体も団体登録が完了しており、学生委員会加盟校であること。
- ③ 以下の条件のいずれかに該当すること。

イ. 前年度日本学生選手権以降に開催された公認競技会（ブロック大会以上および本連盟の主催する大学対抗戦）において以下の標準点数を突破した者。なお、上記②の登録が1回目の者は、前年度全国JOC夏季ジュニアオリンピックカップ・高校総体、国民スポーツ大会の自由選択飛の成績でも可とする。

男子飛板飛込 210点 女子飛板飛込 150点  
男子高飛込 200点 女子高飛込 140点

ロ. (公財)日本スポーツ協会が定める「2025年度トップアスリーの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」における当該競技種目の対象者。

### 団体表彰

各競技種目の予選競技および決勝競技における各校3名までの総得点合計の数値が最も多い大学を選手権校とする。総得点と同じ場合は、次の順序に従って決定する。

- ①入賞者の多い大学（個人競技6位まで）
- ②個人競技1位の数の多い大学
- ③個人競技2位の数の多い大学（以下、最後までこれにならう。決勝に進出できなかった者は予選の順位による）
- ④予選競技・決勝競技の各校出場選手の上位3名までの得点平均値が高い大学（総得点合計÷総演技数）  
（平均値は小数点第3位を四捨五入し、第2位まで算出する）
- ⑤予選競技・決勝競技の各校出場選手の上位3名までのなかで、1演技について最も高い得点を得た者の所属する大学。

以上



## 第48回（2025年度）全国JOCジュニアオリンピックカップ（夏季大会）

開催場所：大阪府・Asue大阪プール

競技期間：8月22日（金）～8月25日（月）

### 年齢区分

以下の4区分で実施する。（参加年齢の決定は2025年12月31日における満年齢による。）

- 1) 9歳～11歳    2) 12歳～13歳    3) 14歳～15歳    4) 16歳～18歳

### 競技種目

#### ・男子

- 1) 9～11歳 1m飛板飛込 6演技種目（4つ以上の群より選択）  
制限選択飛（難易度合計 5.4以内） 異群より3演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 2) 12～13歳 1m飛板飛込 8演技種目  
制限選択飛（難易度合計 9.0以内） 各群より5演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 3) 12～13歳 高 飛 込 7演技種目（高さは5m、7.5mに限る）  
制限選択飛（難易度合計 7.6以内） 異群より4演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 4) 14～15歳 3m飛板飛込 9演技種目  
制限選択飛（難易度合計 9.5以内） 各群より5演技 / 自由選択飛 異群より4演技
- 5) 14～15歳 高 飛 込 8演技種目（5つ以上の群より選択）  
制限選択飛（難易度合計 7.6以内） 異群より4演技 / 自由選択飛 異群より4演技
- 6) 16～18歳 3m飛板飛込 10演技種目  
制限選択飛（難易度合計 9.5以内） 各群より5演技 / 自由選択飛 各群より5演技
- 7) 16～18歳 高 飛 込 9演技種目（6つ以上の群より選択）  
制限選択飛（難易度合計 7.6以内） 異群より4演技 / 自由選択飛 異群より5演技
- 8) 12～18歳 3mシンクロ飛板飛込 5演技種目（4つ以上の群より選択）  
指定難易度2.0とみなす2演技、自由選択飛（難易度下限6.0）3演技

#### ・女子

- 1) 9～11歳 1m飛板飛込 6演技種目（4つ以上の群より選択）  
制限選択飛（難易度合計 5.4以内） 異群より3演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 2) 12～13歳 1m飛板飛込 7演技種目  
制限選択飛（難易度合計 9.0以内） 異群より5演技 / 自由選択飛 異群より2演技
- 3) 12～13歳 高 飛 込 6演技種目（高さは5m、7.5mに限る）  
制限選択飛（難易度合計 7.6以内） 異群より4演技 / 自由選択飛 異群より2演技
- 4) 14～15歳 3m飛板飛込 8演技種目  
制限選択飛（難易度合計 9.5以内） 各群より5演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 5) 14～15歳 高 飛 込 7演技種目（5つ以上の群より選択）  
制限選択飛（難易度合計 7.6以内） 異群より4演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 6) 16～18歳 3m飛板飛込 9演技種目  
制限選択飛（難易度合計 9.5以内） 各群より5演技 / 自由選択飛 異群より4演技
- 7) 16～18歳 高 飛 込 8演技種目（5つ以上の群より選択）  
制限選択飛（難易度合計 7.6以内） 異群より4演技 / 自由選択飛 異群より4演技
- 8) 12～18歳 3mシンクロ飛板飛込 5演技種目（4つ以上の群より選択）  
指定難易度2.0とみなす2演技、自由選択飛（難易度下限6.0）3演技

### 競技方法

- ・9～11歳および12～13歳区分  
決勝競技のみ行う。  
競技順は、ブロック予選会の得点合計の下位選手からとする。  
最終順位は、決勝競技の得点合計により決定する。
- ・14～15歳および16～18歳区分  
予選競技・決勝競技を行う。  
予選競技の競技順は、ブロック予選会の得点合計の下位の選手からとする。  
予選競技は、制限選択飛と自由選択飛で行う。  
決勝競技進出者は、予選競技上位8名までの選手とする。  
決勝競技は、自由選択飛で行う。  
決勝競技における競技順は、予選競技の下位の選手からとする。  
最終順位は、予選競技における制限選択飛と決勝競技における自由選択飛との得点合計により決定する。

**競技日程**

8月22日（金）

- 1. 男子（14～15歳） 3m飛板飛込 予選
- 2. 女子（16～18歳） 高飛込 予選
- 3. 男子（9～11歳） 1m飛板飛込 決勝
- 4. 女子（12～13歳） 高飛込 決勝
- 5. 男子（14～15歳） 3m飛板飛込 決勝
- 6. 女子（16～18歳） 高飛込 決勝

8月23日（土）

- 7. 女子（14～15歳） 高飛込 予選
- 8. 男子（16～18歳） 3m飛板飛込 予選
- 9. 男子（12～13歳） 高飛込 決勝
- 10. 女子（9～11歳） 1m飛板飛込 決勝
- 11. 女子（14～15歳） 高飛込 決勝
- 12. 男子（16～18歳） 3m飛板飛込 決勝

8月24日（日）

- 13. 男子（14～15歳） 高飛込 予選
- 14. 女子（16～18歳） 3m飛板飛込 予選
- 15. 女子（12～13歳） 1m飛板飛込 決勝
- 16. 男子（14～15歳） 高飛込 決勝
- 17. 女子（16～18歳） 3m飛板飛込 決勝
- 18. 19. 男女（12～18歳） 3mシンクロ飛板飛込 決勝

8月25日（月）

- 20. 女子（14～15歳） 3m飛板飛込 予選
- 21. 男子（16～18歳） 高飛込 予選
- 22. 女子（12～13歳） 1m飛板飛込 決勝
- 23. 女子（14～15歳） 3m飛板飛込 決勝
- 24. 男子（16～18歳） 高飛込 決勝

**申込規定**

1) 資格

●個人種目

以下の①から③の全てを満たす者で、各ブロックの参加枠数（別表記載）の範囲でエントリーすることができる。

- ① 競技者は(公財)日本水泳連盟競技者登録（2025年度）完了者であること。
- ② ①と同様に競技者が所属する団体も団体登録が完了していること。
- ③ ブロック予選会において以下の標準点を突破（同点可）していること。

	区分	種目	標準点数		区分	種目	標準点数
男子	9～11歳	1m飛板飛込	150点	女子	9～11歳	1m飛板飛込	150点
		12～13歳	1m飛板飛込			220点	12～13歳
	14～15歳	高飛込	195点		14～15歳	高飛込	
		3m飛板飛込	275点			16～18歳	3m飛板飛込
	高飛込	255点	高飛込		225点		
	16～18歳	3m飛板飛込	370点		16～18歳	3m飛板飛込	305点
		高飛込	340点			高飛込	275点

● 3mシンクロ飛板飛込

エントリーするチームの両名ともに、個人競技種目の条件を満たしていること。

※参加申込締め切り後やむを得ない事由により、どちらかの選手が出場できない場合、監督者会議以前であれば選手の交替を認める。ただし、競技参加基準を満たしていること。

**個人表彰・団体表彰**

1) 個人表彰

最優秀選手賞 男女各1名にJOCジュニアオリンピックカップを授与する。

優秀選手賞 男女各1名に優秀選手賞を授与する。

その選考基準は次の通りとする。

- ①各競技種目優勝者および2位の選手の標準点数達成率（得点合計÷標準点×100）を算出し、男女別に、その数値の最も高い者を最優秀選手、次の数値を得た者を優秀選手とする。（小数点第3位を四捨五入し、小数第2位まで算出する）
- ②標準点達成率が同じ場合は次の順に従って決定する。  
ア. 得点の平均値（得点合計÷演技数）が高い者。 イ. 1演技種目について最も高い得点を得た者。

2) 団体表彰 クラブ対抗とし、男女各総得点の1位には優勝カップ、2位には準優勝カップを授与する。

①個人競技は、1位10点、2位7点……8位1点を与える。

シンクロ競技は、1位12点、2位10点、……6位2点を与え、所属が異なる場合は得点を2分割する。

②総得点と同じ場合は次の順に従って決定する。

- ア. 入賞者の多いクラブ（個人競技8位まで）
  - イ. 個人競技1位の数が多いクラブ
  - ウ. 個人競技2位の数が多いクラブ（以下8位までこれにならう。但し、シンクロ競技は6位までとする）
  - エ. クラブの入賞者の得点合計の平均値が高いクラブ（小数第3位は四捨五入し、小数第2位まで算出する。但し、シンクロ競技は対象外とする）
  - オ. クラブの入賞者の中で一演技について最も高い得点を得た者が所属するクラブ（但し、シンクロ競技は対象外とする）
- 補1）ア、イ、ウについては、対象チームを構成する「クラブ所属数」を当該入賞者数とする（同一クラブの2人で構成するチームは、所属人数「2」をチームの当該数とする）

(別表)

		9-11歳	12-13歳		14-15歳		16-18歳	
		飛板	飛板	高飛	飛板	高飛	飛板	高飛
男子	北海道	3	3	3	3	3	3	3
	東北	3	3	3	4	4	3	3
	関東	3	4	4	3	3	3	4
	北信越	6	4	4	4	5	6	5
	東海	5	4	3	4	4	5	5
	近畿	5	3	4	3	3	3	3
	中国	3	6	6	7	6	3	3
	四国	4	4	4	3	3	4	4
	九州	3	4	4	4	4	5	5
女子	北海道	3	3	3	3	3	3	3
	東北	3	3	3	4	4	3	4
	関東	6	5	4	6	8	8	6
	北信越	4	3	4	4	4	4	4
	東海	4	5	5	3	3	3	3
	近畿	3	3	3	3	3	3	3
	中国	5	5	5	4	3	3	4
	四国	3	5	5	5	4	5	5
	九州	4	3	3	3	3	3	3

この別表は各ブロック3名に加えて、2024年度本大会において8位までの入賞選手を輩出したブロックにその人数の枠数を付与したものである。

以上

## 第48回（2025年度）全国JOCジュニアオリンピックカップ（春季大会）

開催場所：栃木県・日環アリーナ栃木

競技期間：3月28日（土）～3月29日（日）

### 年齢区分

以下の4区分で実施する。（参加年齢の決定は2025年12月31日における満年齢による。）

- 1) 9歳～11歳    2) 12歳～13歳    3) 14歳～15歳

### 競技種目

#### ・男子

- 1) 9～11歳 1m飛板飛込 6演技種目（4つ以上の群より選択）  
制限選択飛（難易度合計 5.4以内） 異群より3演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 2) 12～13歳 1m飛板飛込 8演技種目  
制限選択飛（難易度合計 9.0以内） 異群より5演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 3) 12～13歳 3m飛板飛込 8演技種目  
制限選択飛（難易度合計 9.5以内） 異群より5演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 4) 14～15歳 1m飛板飛込 9演技種目  
制限選択飛（難易度合計 9.0以内） 各群より5演技 / 自由選択飛 異群より4演技
- 5) 14～15歳 3m飛板飛込 9演技種目  
制限選択飛（難易度合計 9.5以内） 各群より5演技 / 自由選択飛 異群より4演技

#### ・女子

- 1) 9～11歳 1m飛板飛込 6演技種目（4つ以上の群より選択）  
制限選択飛（難易度合計 5.4以内） 異群より3演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 2) 12～13歳 1m飛板飛込 7演技種目  
制限選択飛（難易度合計 9.0以内） 異群より5演技 / 自由選択飛 異群より2演技
- 3) 12～13歳 3m飛板飛込 7演技種目  
制限選択飛（難易度合計 9.5以内） 異群より5演技 / 自由選択飛 異群より2演技
- 4) 14～15歳 1m飛板飛込 8演技種目  
制限選択飛（難易度合計 9.0以内） 各群より5演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 5) 14～15歳 3m飛板飛込 8演技種目  
制限選択飛（難易度合計 9.5以内） 各群より5演技 / 自由選択飛 異群より3演技

### 競技日程

3月28日（土）

1. 女子（9～11歳）1m飛板飛込    2. 男子（12～13歳）3m飛板飛込    3. 女子（12～13歳）1m飛板飛込  
4. 男子（14～15歳）3m飛板飛込    5. 女子（14～15歳）1m飛板飛込

3月29日（日）

6. 男子（9～11歳）1m飛板飛込    7. 女子（12～13歳）3m飛板飛込    8. 男子（12～13歳）1m飛板飛込  
9. 女子（14～15歳）3m飛板飛込    10. 男子（14～15歳）1m飛板飛込

### 競技方法

- 1) 決勝競技のみ行う。  
2) 最終順位は、決勝競技の得点合計により決定する。

### 申込規定

#### 1) 資格

以下の①～③の基準を満たす者。（1m・3mに限らず該当者は両種目にエントリーできる。）

- ① 競技者は（公財）日本水泳連盟競技者登録（2025年度）完了者であること。  
② ①同様に競技者が所属する団体も団体登録が完了していること。  
③ 以下の基準のいずれかを満たすこと。

イ. 2025年度実施の都道府県・ブロック等の競技会・記録会において以下の標準点数を突破した者。

性別	区分	種目	標準点数	性別	区分	種目	標準点数
男子	9～11歳	1m飛板飛込	150点	女子	9～11歳	1m飛板飛込	150点
		3m飛板飛込	220点			3m飛板飛込	190点
	12～13歳	1m飛板飛込	220点		12～13歳	1m飛板飛込	190点
		3m飛板飛込	220点			3m飛板飛込	190点
	14～15歳	1m飛板飛込	275点		14～15歳	1m飛板飛込	250点
		3m飛板飛込	275点			3m飛板飛込	250点

- ロ. 2025年度全国中学校体育大会・日本高等学校体育大会・国民スポーツ大会・日本選手権に出場した者。
- ハ. 本大会において男女各1名上記イ・ロの基準を満たす者がいない都道府県は、男女各1名をエントリー資格者として各都道府県水泳連（協会）から推薦できる。またイ・ロの資格を満たす者が男女どちらか一方いる場合でも、資格を満たす者がいない方について推薦できる。

#### 個人表彰・団体表彰

##### 1) 個人表彰（最優秀、優秀選手賞の決定）

- ① 男女別に各競技種目の1位と2位の選手の得点合計を標準点数で割った数値を算出し、その数値のもっとも高い男女各1名に最優秀選手賞、次の数値を得た男女各1名に優秀選手賞を授与する。
- ② 得点率が同じ場合の順位の決定
  - ア. 得点の平均値の高いもの。（得点合計を演技数で割る）
  - イ. 1演技の得点の最も高いもの。

##### 2) 団体表彰

- ① クラブ対抗とし、男女各総得点の1位には優勝カップ、2位には準優勝カップを授与する。
- ② 個人競技は、1位10点、2位7点……8位1点を与える。
- ③ 総得点と同じ場合は次の順に従って決定する。
  - ア. 入賞者の多いクラブ（個人競技8位まで）
  - イ. 個人競技1位の数が多いクラブ
  - ウ. 個人競技2位の数が多いクラブ（以下8位までこれにならう。）
  - エ. 当該入賞者の得点合計の平均値が高いクラブ（小数第3位は四捨五入し、小数第2位まで算出する。）
  - オ. 当該入賞者の中で1演技について最も高い得点を得た者が所属するクラブ

以上

## 第93回（2025年度日本高等学校選手権）

開催場所：広島県・福山通運ローズアリーナ

実施期間：8月17日（日）～20日（水）

### 競技種目

男子	3m飛板飛込	10演技種目（制限選択飛	難易計 9.5以内	各群より5演技／自由選択飛	各群より5演技）
	高飛込	9演技種目（制限選択飛	難易計 7.6以内	異群より4演技／自由選択飛	異群より5演技）
女子	3m飛板飛込	9演技種目（制限選択飛	難易計 9.5以内	各群より5演技／自由選択飛	異群より4演技）
	高飛込	8演技種目（制限選択飛	難易計 7.6以内	異群より4演技／自由選択飛	異群より4演技）

### 競技方法

- 1) 予選競技における演技種目は、自由選択飛とする。
- 2) 予選競技の競技順は、地域大会における得点の低い順に行う（抽選は行わない）。
- 3) 決勝競技進出者は予選競技上位12位までの選手とし、13位、14位の選手をリザーブとする。決勝競技進出者に棄権者が出た場合は、リザーブより繰上げを行い、12名を確保する
- 4) 決勝競技における演技種目は、制限選択飛・自由選択飛で行う。ただし、決勝競技における自由選択飛演技種目は予選競技終了後30分以内であれば変更を認める。
- 5) 最終順位は、決勝競技の得点合計によって行う。

### 競技日程

8月17日（日）	女子高飛込／男子3mシンクロナイズド飛板飛込（公開競技）
8月18日（月）	男子3m飛板飛込／女子3mシンクロナイズド飛板飛込（公開競技）
8月19日（火）	女子3m飛板飛込
8月20日（水）	男子高飛込

### 申込規定

- 1) 資格 以下の①～③の全てを満たす者。
  - ① 競技者は日本水泳連盟競技者登録（2025年度）完了者であること。
  - ② ①同様に競技者が所属する団体も団体登録が完了していること。
  - ③ 以下のいずれかにも条件を満たす者。
    - イ. 地域大会の当該競技種目において、以下の標準点を突破（同点可）していること。  
《標準点数》

男子3m飛板飛込	293点	女子3m飛板飛込	256点
男子高飛込	259点	女子高飛込	231点
    - ロ. 全国大会開催都道府県特別措置  
地域大会において全国大会開催都道府県に本大会出場資格者がいない場合、その当該競技種目において成績上位の選手男女1名を全国大会開催都道府県の高等学校体育連盟および加盟団体で推薦することができる。
    - ハ. 全国大会特別出場処置  
国際大会の代表選手は地域予選会を経なくとも出場できる。
- 2) エントリー制限 1校1種目3名以内

## 第65回（2025年度）全国中学水泳競技大会 案（抜粋）

開催場所：鹿児島県・鴨池プール

実施期間：8月17日（日）～8月19日（火）

### 競技種目

男子	3m飛板飛込	9演技種目（制限選択飛	難易計 9.5以内	各群より5演技／自由選択飛	異群より4演技）
	高飛込※	8演技種目（制限選択飛	難易計 7.6以内	異群より4演技／自由選択飛	異群より4演技）
女子	3m飛板飛込	8演技種目（制限選択飛	難易計 9.5以内	各群より5演技／自由選択飛	異群より3演技）
	高飛込※	7演技種目（制限選択飛	難易計 7.6以内	異群より4演技／自由選択飛	異群より3演技）

※高飛込においては、男女ともに総演技種目において5つ以上の群より選択しなければならない。

※男女高飛込の競技においては、すべての学年で10mまでの高さを選択できる。

### 競技方法

- 1) 予選競技・決勝競技を行う。
- 2) 予選競技は、制限選択飛と自由選択飛で行う。
- 3) 決勝競技進出者は、予選競技上位12位までの選手とし、13位、14位の選手をリザーブとする。決勝競技進出者決定後、棄権者が出た場合にはリザーブより繰り上げを行い、12名を確保する。
- 4) 決勝競技における競技順は、予選競技の下位の選手からとする。
- 5) 最終順位は、予選競技における制限選択飛と決勝における自由選択飛との得点合計により決定する。

### 競技日程

8月17日（日）	女子高飛込予選競技／女子高飛込決勝競技
8月18日（月）	男子高飛込予選競技／女子3m飛板飛込予選競技／男子高飛込決勝競技
8月19日（火）	男子3m飛板飛込予選競技／女子3m飛板飛込決勝競技／男子3m飛板飛込決勝競技

### 申込規定

- 1) 資格 以下の①～③のいずれかを満たす者。
  - ①各都道府県大会の当該競技において標準点数を突破（同点可）した者。  
《標準点数》

男子3m飛板飛込	282点（自由選択飛135点）	女子3m飛板飛込	247点（自由選択飛100点）
男子高飛込	255点（自由選択飛140点）	女子高飛込	220点（自由選択飛105点）
  - ②全国大会開催都道府県に限り、当該競技種目の予選会優勝者。
  - ③代表選手特別処置  
国際大会等の代表選手は、都道府県予選会を経なくても本大会に出場出来る。

以上

## (2025年度) 国民スポーツ体育大会 案 (抜粋)

開催場所：滋賀県・インフロニア草津AC

競技期間：9月13日(土)～9月15日(月)

### 競技種目

成年男子 3m飛板飛込 自由選択飛 (各群より6演技種目) / 高飛込 自由選択飛 (各群より6演技種目)  
成年女子 3m飛板飛込 自由選択飛 (各群より5演技種目) / 高飛込 自由選択飛 (異群より5演技種目)  
少年男子 3m飛板飛込 自由選択飛 (各群より5演技種目) / 高飛込 自由選択飛 (異群より5演技種目)  
少年女子 3m飛板飛込 自由選択飛 (異群より4演技種目) / 高飛込 自由選択飛 (異群より4演技種目)

### 競技方法

決勝競技のみ行う。

### 競技日程

9月13日(土) 1. 少年女子高飛込 2. 少年男子飛板飛込 3. 成年女子高飛込  
9月14日(日) 4. 少年女子飛板飛込 5. 少年男子高飛込 6. 成年男子飛板飛込  
9月15日(月) 7. 成年女子飛板飛込 8. 成年男子高飛込

### 申込規定

#### 1) 資格

1. 当該年度の以下の指定競技会の成績により(公財)日本水泳連盟に予備エントリーをし、各都道府県に配分された枠数の範囲内で、本エントリーできる。

・成年男子、成年女子

①関東選手権 ②関西選手権

・少年男子、少年女子

②高等学校選手権地域大会 ②全国JOC夏季ジュニアオリンピックカップブロック予選会

2. (公財)日本スポーツ協会が定める、国民体育大会参加資格の特例措置で「トップアスリート特別枠」に選出された選手は、予選会を免除する。

⇒予備エントリーに関する取扱は、「国民スポーツ大会(水泳・飛込)の予備エントリー要領」を参照すること。

2) 標準点数 前項の競技会において以下の標準点数を突破(同点可)すること。

種別		演技数	飛板飛込	高飛込
成年	男子	6演技	240	230
	女子	5演技	175	175
少年	男子	5演技	165	165
	女子	4演技	125	125

#### 3) 制限

1都道府県 各競技種目1名 合計4名以内。

※選手は1人2種目(飛板飛込、高飛込)までエントリーすることができる。ただし、指定された予選会に出場し標準点を突破していること。

以上



# 審判部 目次

1. 2024 年度 飛込競技公認審判員資格更新手続きについて
2. 2024 年度 審判員登録者の種別と分布
3. 2024 年度 ・ 2025 年度 更新対象者名簿
4. 2024 年度 全国主要競技大会審判員一覧
5. 2023 年-2024 年 審判員研修会・審判実績一覧表
6. 2024 世界選手権ドーハ大会報告書
7. 2024 年 第 11 回アジアエージ大会報告書(フィリピン)
8. 2024 World Aquatics World Cup #2 - Berlin Report
9. French Diving Cup - Paris Report
10. World Aquatics Junior Championships ( 2024 Rio De Janeiro)- Report

1 . 飛込競技公認審判員資格更新手続きについて

登録申請の手続き

1. 登録申請者

申請用紙( A ・ B )に必要事項を記入し、加盟団体飛込競技担当責任者に登録料 4,000 円を添えて手続きをしてください。

2. 加盟団体飛込競技担当者

登録申請者全員の申請用紙ならびに登録料をまとめて加盟団体に提出してください。

3. 下記の書類を2025(令和7年) 3月末までに公益財団法人日本水泳連盟飛込委員会宛に郵送し、登録料を『登録料等の送付について』に記載の口座に振り込んでください。

- ・ 審判登録申請書 ( A ・ B )(押印必須)
- ・ 登録料の送付について
- ・ 振込利用明細のコピー

4. 昇格申請について

事前に資格審査が必要です。「飛込競技公認審判員資格規定」で条件を満たしていることを確認した後、至急日本水泳連盟飛込委員会審判部 金戸 まで連絡をお願い致します。

資格審査委員会は年に1度(1月予定)しか開催されないため、年度内に昇格したい場合は遅くても11 月末までに飛込委員会審判部に申請していただき、飛込委員会の承認を経て1月の資格審査委員会へ提出する流れになりますのでご注意ください。

5. 新規登録について

新規申請については資格審査委員会で審査するのではなく飛込委員会で承認されますので希望者がいる場合は審判部 金戸 まで連絡をお願い致します。

6. 申請書及び資格規定について

日本水泳連盟ホームページ右下の「資料・各種申請書」→審判関係→「【飛込】公認審判員申請書」のPDFファイルに申請用紙( A ・ B ) 及び「飛込競技公認審判員資格規定」がまとめてアップロードされています。ダウンロードしてご利用ください。

申請者	加盟団体	日本水泳連盟	
		飛込委員会審判部	資格審査委員会
資格・昇格の意向	→	→	
	←	←	←
	→	→	→
申請書等の提出 (更新も含む)	←	←	←

加盟団体		日本水泳連盟	
とりまとめ		飛込委員会審判部	資格審査委員会
→	→	とりまとめ	
←	←	結果の連絡	←
→	→	受理	
←	←	「資格証」の送付	←
			資格審査 (1月予定)

「申請についての確認事項」

- ① 競技役員の有効期限切れの方は、至急競技役員登録をお願いします。
- ② A・B級は、公認審判員中央研修会受講、C級は中央研修会または伝達研修会受講が必要です。ご注意ください。(伝達研修会を今後実施予定の加盟団体は実施計画書を送ってください。伝達研修会実施後は、1週間以内に伝達研修会報告書を飛込委員会審判部まで送ってください。)

公認審判員中央研修会のブロック開催について

審判技術向上のため、公認審判員は年1回以上の研修を受講する義務があり、特に A・B 級審判員は飛込委員会が主催する中央研修会を必ず受講しなければなりません。しかし、それまで開催していた東京と大阪の2会場だけでは、公務の都合で参加不可能な場合もあり、資格維持が困難な状況も出てきています。

そこで、2009 年度に審判部として中央研修会を希望するブロックに対して開催を可能にしました。

また、C 級の審判員も受講することで、直ちに中央や国際審判の情報も吸収し、さらに審判技術の向上と徹底を図っていただきたいと思います。

記

- ① 各ブロックは、中央研修会開催の申請ができる。
  - ② 実施に関しては、審判部との協議により決定する。但し、実施不可の場合もありえる。研修内容は、講義・テスト・審判実技(模擬審判を含む)をセットとするため、できるだけ競技会時に開催することが望ましい。全国大会開催の前に実施することが望ましいため、7月中旬までの地域予選会等での実施を推奨する。
  - ③ 開催希望のブロックは最低でも15名の受講生を募り、受講料は4,000円とする。
  - ④ 講師にかかる費用(交通費・食費など)、会場利用料、資料の印刷代などは日本水泳連盟が支払う。
  - ⑤ 希望するブロックは、2月末までに日本水泳連盟審判部まで申請すること。
  - ⑥ 妊娠中、出産後など研修会に参加が難しい場合は**審判部 金戸**までお知らせください。
- ※ 尚伝達研修会も基本的に、講義＋審判実技＋テストの形式で行うようご協力ください。資料は下記連絡先まで連絡いただければデータでお渡しします。

連絡先 金戸 幸

電話 090-3907-0681

E-mail yukikaneto@me.com

## 審判員登録者の種別と分布

2024.12現在

コード	都道府県	資格				コード	都道府県	資格			
		A級	B級	C級	計			A級	B級	C級	計
1	北海道	0	2	2	4	25	滋賀	0	1	2	3
2	青森	0	0	0	0	26	京都	1	1	0	2
3	岩手	0	1	2	3	27	大阪	5	2	5	12
4	宮城	2	1	2	5	28	兵庫	7	0	2	9
5	秋田	0	1	3	4	29	奈良	2	2	1	5
6	山形	1	1	7	9	30	和歌山	0	1	1	2
7	福島	4	3	8	15	31	鳥取	3	1	3	7
8	茨城	4	6	3	13	32	島根	2	4	2	8
9	栃木	3	1	2	6	33	岡山	2	2	9	13
10	群馬	3	2	7	12	34	広島	1	4	3	8
11	埼玉	5	0	6	11	35	山口	0	0	0	0
12	千葉	1	2	0	3	36	香川	1	0	1	2
13	東京	7	4	4	15	37	徳島	0	0	0	0
14	神奈川	2	0	2	4	38	愛媛	0	0	0	0
15	山梨県	0	0	0	0	39	高知	2	2	1	5
16	長野	2	2	1	5	40	福岡	2	2	6	10
17	新潟	3	1	2	6	41	佐賀	2	0	2	4
18	富山	2	1	13	16	42	長崎	0	0	0	0
19	石川	6	8	7	21	43	熊本	0	0	0	0
20	福井	0	1	0	1	44	大分	1	1	1	3
21	静岡	4	3	6	13	45	宮崎	0	1	0	1
22	愛知	2	2	9	13	46	鹿児島	0	3	0	3
23	三重	1	1	10	12	47	沖縄	0	2	2	4
24	岐阜	0	0	2	2	<b>合計</b>		<b>83</b>	<b>72</b>	<b>139</b>	<b>294</b>

<b>合計294名</b>
---------------

2024年度 更新者対象者名簿

有効期限 2025年3月31日

01	北海道	1	01G0103	森木 義雄	13	東京	3	13A13032225	中村 小松
04	宮城	1	04C0406	高橋 一哉			4	13A13042225	毒島 泰士
08	茨城	1	08A0805	坂田 和也			6	13A13062325	金戸 恵太
		2	08B0809	関口 拓朗	14	神奈川県	8	14C14082225	黒田 美恵子
		3	08C0812	渡邊 雅子			9	14C14092225	渡邊 由稀那
		4	08E0813	畑岡 映美	16	長野	2	16A16022225	岡部 美恵子
09	栃木	1	09C0905	上野 太助			4	16A16042225	寺島 美千代
10	群馬	1	10B1005	高山 愛彩			5	16C16052225	西山 達也
		2	10C1009	後藤 福寿			6	16B16062225	島田 佐由理
		2	13A1309	中山 藍奈			7	16B16072425	長谷川 英治
		3	13B1307	飯沼 きよみ	19	石川	1	19A19012225	諸田 健朗
		4	13C1312	戸田 洋			3	19A19032225	山本 泰子
17	新潟	1	17A1703	石沢 孝行			7	19A19072225	浅田 雅子
18	富山	1	18C1805	能松 裕			12	19B191122225	浅田 崇一
		2	18C1806	道淵 亜優子			15	19B19152225	樋口 まゆみ
19	石川	1	19C1920	中 しず玖			17	19C19172225	横浜 猛夫
		2	19C1921	池田 朱里	20	福井	1	20B20012425	新良 貴 優
23	三重	1	23B2302	池田 庸祐	21	静岡県	1	21A21012225	山内 正夫
		2	23C2303	山岡 啓太			2	21A21022225	鈴木 羊子
		3	23G2309	小立 なつみ			8	21C21082225	在原 俊行
		4	23G2310	千賀 貴之			14	21C21142225	千葉 宏昌
		5	23G2311	千賀 博美			16	21C21162225	長田 未妃
		6	23G2312	山吉 智子	22	愛知	2	22A22022225	村越 爽江
		7	23G2313	小立 忠弘			4	22B22042225	葛西 昌治
28	兵庫	1	28C2813	大久保 郁世			6	22B22062225	北岡 紀之
40	福岡	1	40B4005	竹川 広子			7	22C22072225	岩崎 敏政
		2	40B4006	水島 豊			8	22C22082225	湯浅 千鶴子
		3	40C4010	水島 優樹			10	22C22102225	河原 進
47	沖縄	1	47B4701	西元 敬二			12	22C22122225	岩崎 紘樹
				A級 3名	23	三重	4	23C23042225	田中 英則
				B級 8名			5	23C23052225	赤松 成未
				C級 18名	25	滋賀	3	25B25032225	増田 圭亮
				合計 29名	27	大阪	2	27A27022225	河上 孝久

2025年度 更新者対象者名簿

有効期限 2026年3月31日

01	北海道	1	01B01012225	祖根 裕己	28	兵庫	1	28A28012225	馬淵 かの子
		2	01B01022225	佐藤 律樹			4	28A28042225	阿部 しげの
		5	01C01052225	澤田 猛美			5	28A28052225	馬淵 崇英
04	宮城	1	04A04012225	笠井 学			6	28A28062225	笠松 真理子
		3	04B04032225	高橋 志歩			11	28B28112425	辰巳 楓佳
05	秋田	2	05C05022225	仲谷 正紀	29	奈良	3	29A29032225	瓦井 健二
		3	05C05032225	田中 克尚			4	29A29042225	中島 勝司
07	福島	1	07A07012225	江川 省吾			6	29B29062225	瓦井 光子
		2	07A07022225	小野寺 光喜			8	29C29082225	後藤 和男
		4	07A07042225	西川 友章			10	29B29102325	門田 美穂子
		5	07B07052225	矢作 貴則	30	和歌山	4	30C30042225	安永 元樹
		8	07B07082225	大島 恭子	31	鳥取	4	31A31042425	百千田 幸太郎
		9	07B07092225	明石 人嗣			6	31C31062225	前谷 健佑
		10	07C07102225	今野 菜見	32	島根	1	32A32012225	吉岡 信道
		11	07C07112225	川崎 勇太			2	32B32022225	門脇 秀子
		14	07C07142225	栗田 明海			3	32B32032225	大橋 歩
		15	07C07152225	鷺森 淳			4	32B32042225	早水 健治
08	茨城	3	08A08032225	吉原 直博			7	32C32072225	杉原 安代
		11	08B08112225	田邊 佐央理	33	岡山	1	33A33012225	河田 正英
		15	08B08152225	小林 和真	36	香川	3	36C36032225	植村 佳貞
09	栃木	1	09A09012225	布村 隆	39	高知	2	39B39022225	都築 正治
		2	09A09022225	鈴木 義孝	40	福岡	7	40C40072225	中山 友美
		4	09C09042225	桑川 明史	41	佐賀	4	41C41042225	横尾 伸子
10	群馬	12	10C10122225	二木 大樹	44	大分	1	44A44012225	茶木 康寛
11	埼玉	1	11A11012225	木村 勉	45	宮崎	1	45B45012225	柴岡 三郎
		2	11A11022225	小谷 理貴子	46	鹿児島	1	46B46012225	山下 万喜子
		7	11C11072425	保科 美加子			2	46B46022225	今堀 雄二
		8	11A11082225	名東 真樹			4	46B46042425	重信 宏多
		11	11C11112225	大久保 剛					A級 33名
12	千葉	1	12A12012225	谷内 覚					B級 30名
		2	12B12022225	関口 大輝					C級 33名
		3	12B12032225	森 敏仁					合計 96名

2024年度（公財）日本水泳連盟 主要競技会 飛込競技 審判団一覧表

大会名	日本高校		全国中学		全国J0夏季		日本選手権		学生選手権		国民スポーツ大会		翼ジャパン		全国J0春季	
期日	8月17日（土）～ 8月20日（火）		8月17日（土）～ 8月19日（月）		8月22日（木）～ 8月25日（日）		8月30日（金）～ 9月1日（日）		9月7日（土）～ 9月8日（日）		9月14日（土）～ 9月16日（月）		##### 3月23日（日）		##### 3月30日（日）	
場所	大分県・別府市 別府市営飛込プ ール		石川県・金沢市 金沢プール		滋賀県・草津 草津市立プール		滋賀県・草津市 草津市立プール		東京都・江東区 東京アクアティ クスセンター		佐賀県・佐賀市 SAGAアクア		東京都・江東区 東京アクアティ クスセンター		栃木県・宇都宮市 日環アリーナ 栃木	
飛込委員長	野村孝路 委員会		金戸 幸 委員会		野村孝路 委員会		野村孝路 委員会		野村孝路 委員会		野村孝路 委員会		野村孝路 委員会		野村孝路 委員会	
審判長	大久保一司 委員会		金戸 幸 委員会		金戸 幸 委員会		金戸 幸 委員会		大久保一司 委員会		金戸 幸 委員会		金戸 幸 委員会		金戸 幸 委員会	
副審判長 1	浅田 雅子 委員会		中川 真依 委員会		中山 藍奈 委員会		浅田 雅子 委員会		金戸 幸 委員会		浅田 雅子 委員会		浅田 雅子 委員会		浅田 雅子 委員会	
副審判長 2	土井 謙吾 近 県		佐賀 川城 智亮 近 県		新潟 中島 勝司 近 県		奈良 中島 勝司 近 県		伊藤 正明 近 県		東京 水島 豊 近 県		福岡 伊藤 正明 近 県		東京 布村 隆 近 県	
ジャッジ 1	安永 三郎 委員会		鳥取 小谷理貴子 委員会		埼玉 池本 友馬 委員会		東京 吉田 理知 委員会		島根 鈴木 義孝 近 県		栃木 毒島 泰士 委員会		東京 小谷理貴子 委員会		茨城 小谷理喜子 近 県	
ジャッジ 2	澄川真寿美 近 県		福岡 藤井 洋平 近 県		石川 瓦井 健二 近 県		奈良 湯浅よしの 近 県		兵庫 坂井由美子 近 県		神奈川 澄川真寿美 近 県		福岡 布村 隆 近 県		栃木 関口 大輝 近 県	
ジャッジ 3	水島 豊 近 県		福岡 山口 義晃 近 県		石川 増田 圭亮 近 県		滋賀 瓦井 健二 近 県		奈良 河合 研司 近 県		京都 茶木 葉 近 県		大分 重信 宏多 近 県		鹿児島 谷内 覚 近 県	
ジャッジ 4	柴岡 三郎 近 県		宮崎 清水 国重 近 県		富山 富山 帯 同		帯 同		河村 隆 関 東		栃木 宮本基一郎 近 県		鳥取 中山 藍奈 関 東		東京 川城 智亮 北信越	
ジャッジ 5	笠井 学 北海道・東北		宮城 小野寺光喜 北海道・東北		福島 帯 同		帯 同		清水 国重 北信越		富山 帯 同		明石 人嗣 北海道・東北		福島 阿部しげの 近 畿	
ジャッジ 6	伊藤 正明 関東・東海		東京 名東 真樹 関東・東海		埼玉 帯 同		帯 同		清水 国重 北信越		富山 帯 同		明石 人嗣 北海道・東北		福島 阿部しげの 近 畿	
ジャッジ 7	和田 守弘 関東・東海		静岡 藤井 昭光 関東・東海		東京 帯 同		帯 同		中川 真依 近 畿		大阪 帯 同		山田 立 関東・東海		静岡 帯 同	
ジャッジ 8	豊田 健吾 北信越		石川 岡部美恵子 北信越		長野 帯 同		帯 同		コーチ		帯 同		畑岡 映美 関東・東海		茨城 帯 同	
ジャッジ 9	中島 勝司 近 畿		奈良 笠松真利子 近 畿		兵庫 帯 同		帯 同		コーチ		帯 同		新良 貴 優 北信越		福井 帯 同	
ジャッジ 10	藤井 誠也 中・四国		広島 横木 翔 中・四国		島根 帯 同		帯 同		コーチ		帯 同		木綿 薫 近 畿		兵庫 帯 同	
ジャッジ 11	西元 敬二 九州		福岡 江島 弘恵 九州		鹿児島 帯 同		帯 同		コーチ		帯 同		横田 雅 中・四国		高知 帯 同	
ジャッジ 12	—		—		帯 同		帯 同		コーチ		帯 同		—		帯 同	
ジャッジ 13	—		—		帯 同		帯 同		コーチ		帯 同		—		帯 同	
ジャッジ 14	—		—		帯 同		帯 同		コーチ		帯 同		—		帯 同	
ジャッジ 15	—		—		帯 同		帯 同		コーチ		—		—		帯 同	
ジャッジ 16	—		—		帯 同		帯 同		コーチ		—		—		帯 同	
ジャッジ 17	—		—		帯 同		帯 同		コーチ		—		—		帯 同	
ジャッジ 18	—		—		帯 同		帯 同		コーチ		—		—		帯 同	
ジャッジ 19	—		—		帯 同		帯 同		コーチ		—		—		帯 同	
ジャッジ 20	—		—		帯 同		帯 同		コーチ		—		—		帯 同	
ジャッジ 21	—		—		帯 同		帯 同		コーチ		—		—		帯 同	
ジャッジ 22	—		—		帯 同		帯 同		コーチ		—		—		帯 同	
ジャッジ 23	—		—		帯 同		帯 同		コーチ		—		—		帯 同	
記録 1	委員会		委員会		委員会		委員会		委員会		委員会		委員会		委員会	
記録 2	委員会		委員会		委員会		委員会		委員会		委員会		委員会		委員会	
記録 3	—		—		委員会		委員会		—		—		委員会		委員会	



布村 隆	栃木	A	関東	●	●						●	
鈴木 義孝	栃木	A/国際	東北		●				●			
松本 行夫	栃木	A	関東		●							
桑川 明史	栃木	B	関東									
辰巳 楓佳	栃木	B	関東									
上野 太助	栃木	C										
野村 孝路	群馬	A	関東									
高橋 史倫	群馬	A	関東									
岡部 優	群馬	A	関東									
石原 歩	群馬	B	レポート									
高山 愛彩	群馬	B	レポート									
加藤 豪也	群馬	C	伝達									
石原 いづ美	群馬	C	伝達									
齋藤 恭介	群馬	C	伝達									
後藤 福寿	群馬	C	伝達									
佐藤 セツ子	群馬	C	伝達									
角田 由美子	群馬	C	伝達									
二木 大樹	群馬	C	関東									
木村 勉	埼玉	A										
小谷 理貴子	埼玉	A	関東	●			●				●	
前田 雅博	埼玉	C										
水尾 亨	埼玉	A	レポート									
千葉 裕司	埼玉	A	関東									
山岸 勲	埼玉	C										
保科 美加子	埼玉	C										
名東 真樹	埼玉	A	関東				●					
橋本 光晴	埼玉	C										
石川 剛	埼玉	C	関東									
大久保 剛	埼玉	C	関東									
谷内 覚	千葉	A	関東	●								
関口 大輝	千葉	B	東北								●	
森嶋 敏仁	千葉	B										
伊藤 正明	東京	A	関東	●		●			●			
金戸 幸	東京	A/国際	特免	●	●		●	●	●	●	●	●
中村 小松	東京	A										
毒島 泰士	東京	A/国際	関東		●					●		
毒島 めぐみ	東京	A/国際	関東									●
金戸 恵太	東京	A	関東		●							
飯沼 きよみ	東京	B	レポート									
藤井 明光	東京	B	関東				●					
中山 藍奈	東京	A/国際	特免	●				●				●
池本 友馬	東京	B	関東					●				
戸田 洋	東京	C	伝達									
藤内 依理子	東京	B	関東									
村上 和基	東京	C	関東									
大久保 柊	東京	C										
坂井 弘靖	神奈川	A	関東									
坂井 由美子	神奈川	A	関東		●				●			
黒田 美恵子	神奈川	C	伝達									
渡邊 由稀那	神奈川	C	伝達									
岡部 美恵子	長野	A	北信越				●					
寺島 美千代	長野	A	北信越									
西山 達也	長野	C										
島田 佐由理	長野	B	北信越									
長谷川 英治	長野	C	北信越									
川城 智亮	新潟	A	関東	●			●					
石沢 孝行	新潟	A	北信越		●							











## World Aquatics Championships Doha 2024 報告

国際審判員 浅田雅子

2月2日～2月10日 World Aquatics Championships は Qatar Doha で行われた。パリオリンピックへの出場枠を得る最後のフェーズだったため、各国からその枠を狙って沢山のダイバーが集った。

試合が始まる前日に行われたテクニカルミーティング・ジャッジミーティングでは、1月に追加された新しいルール、以下の2点について説明がされた。

- ① 演技採点基準『0.5～2点』のカテゴリーである“unsatisfactory”を“very deficient”に。
- ② オリンピック・世界水泳で行われる全てのシンクロナイズドダイビング競技は、予選を行わず直接決勝を行うものとする。

早速、今大会よりシンクロ競技は全て直接決勝の形で行われた。また1mの競技では福岡で行われた世界水泳同様、予選は選手を2グループに分け競技を行った。2グループに分けて行うのは、まだ試験的ではあるが、今回70名もの選手が出場した男子3m予選を振り返ると、5時間にもおよぶ長時間の試合の中、後半で何人もの選手が助走のやり直しを行ったり、飛び出しでバランスを崩し失敗をしたりと、選手等に大きな負担が掛かっているの是一目瞭然であった。皆同じ条件であるにせよ、今後選手の安全性を考えると何らかの処置を考慮していく必要がある。ミーティングではシンクロ競技の同調性審判の採点について多くの話し合いがもたれた。試合前には何本もビデオを見て、同調性審判の採点基準である各エレメンツにプラスされた全体の印を含めて、演技をどのように採点したのかを話し合った。その成果は試合で発揮され、一貫性を持った採点が出来たとTDCから高い評価を得た。しかし演技審判に問題が残った。自分が採点する演技者ではない方の演技が目に入り、正しい採点が出来なかったり、審判席の縦並び・横並びで見える角度の違いから点数が割れた場面が多々見受けられ、シンクロ競技の中での演技審判の重要性が指摘された。

また毎日試合1時間前に行われるミーティングでは、4～5人1組のグループとなりビデオを見ながら問題定義を行い、9日間の間に2回グループ編成を行って、より多くの審判員同士のディスカッションがもたれた。最終日、「演技は見る角度によって見え方が違う」ということを考慮し、それぞれの角度からビデオを見て採点を行った（個人的には3次元でないものに対してアングルを変えて見ても、実際に見るような大きな違いは期待できないと感じた）。シンクロ競技の前には、数人の審判員が集まり採点基準の一貫性を謀るため練習を行い試合に備えるなど、活発に審判員の中でも勉強の場がもたれた。

今大会は前大会メダリストが予選落ちするなど、準決勝に残ることさえ難しい大会であったが、ポジティブに考えれば誰にでもチャンスがある大会でもあった。ただし長丁場の試合をいかにメイク出来るか？この点が先に進むための大きな境目になったのではないだろうか？そんな中で3m男子に出場した坂井丞選手、3m女子の榎本遼香選手はキャリアを活かし見事オリンピック出場枠を獲得した。また出場枠を得ながら日本の選考基準に達することが出来ず、悔しい思いをした選手達には今後多くの経験を積んで、大きく成長して又この場に戻って来てもらいたい。最後に貴重な経験の場を与えて頂いた事に感謝申し上げ、国内での還元を務め精進していきたいと思っております。

2024年3月11日  
報告者 毒島 めぐみ

11th Asian Age Group Championships 2023  
New Clark City 2023 報告書

2023年より国際水泳連盟「FINA」から「World Aquatics」に名称が変更されたことに伴い、アジア水泳連盟も「Asia Aquatics」に名称変更される節目を迎えてから、初のアジアエージ選手権となった。また、世界中を巻き込んだコロナ禍により、2019年から4年ぶりの開催となった本大会は、アジアのジュニア選手、スタッフが久々に寄り集う機会となった。

本来、2023年12月に開催予定であった本大会は、開催地の都合により2ヶ月半ほど延期され、年を跨ぎ下記の期間に開催となった。

1. 派遣期間 2024年2月24日（土）～2024年3月2日
2. 開催地 フィリピン・ニュークラークシティ
3. 会場名 Aquatics Center
4. 参加国 17カ国
5. 審判員数 10名 TDC6名



## 6. 審判報告

### (1) 審判実績

2月26日（大会1日目）～3月1日（大会5日目）全ての競技に従事  
全てのクラスで、男子と女子が同時競技を実施

## 7. ジャッジミーティング

### (1) 実施日

- ① 2/25 挨拶、出欠確認、スケジュール確認、テクニカルミーティング
- ② 2/27 ジャッジレポート・意見交換
- ③ 2/28 ジャッジレポート・意見交換
- ④ 2/29 ジャッジレポート・意見交換
- ⑤ 3/1 ジャッジレポート・意見交換・解散前の挨拶

(2) 大会全体に関して

- ・出欠確認。
- ・個人種目に関しては、すべて2パネル。
- ・個人種目において5人、シンクロ競技において9人ジャッジで採点を行う。
- ・全てのクラスにおいて男子と女子が同時に競技を行う為、ジャッジの評価を男女で区別する必要がある。
- ・棄権等の確認（テクニカルミーティングで2時間越えの時間を要した）。
- ・競技中の撮影がないため、ジャッジミーティングでの動画を利用したレポートと振り返りはなし。
- ・全体スケジュール、ミーティング実施時間、施設の確認。
- ・点数を入力し送ってしまった後、間違いに気がついた時には、手をあげてレフリーに知らせ、フラッシュカードで訂正後の点数を表示する。
- ・プールの構造上の問題で、3M飛板よりも3, 5, 7.5, 10M固定台先端が前に出ており、個人種目では4審、シンクロではS3審は演技が見えない箇所があるが、見えたもので判断して欲しいとのこと。

(3) 個人競技に関して

- ・採点カテゴリー名称変更に伴う再確認

Unsatisfactory → Very Deficient

(0.5点 ~ 2.5点)

- ・7つの採点カテゴリーを意識して採点するように。
- ・演技種目の採点場面（開始姿勢とアプローチ・踏み切り・空中演技・入水）をそれぞれ切り分けて減点評価すると同時に、全体の印象（All Over Impression）を大事にすること。
- ・この大会は、選手の演技に幅があるため難しい審判になるだろう。
- ・入水の手的位置をしっかりと確認する。（水面に対する腕の角度）
- ・足から入水する選手がいるので腕の位置を確認する。
- ・台や板との距離が頭に近い演技と感じた時、手を上げ2点以下を入力する。
- ・高さのある演技や入水、テクニックをしっかりと見て点数をつける。
- ・逆立ちに関して、まっすぐ立っていない倒立姿勢や、ふらついている場合はしっかりと減点すること。
- ・確認箇所は多いが、「全体的な印象」もしっかり見て欲しい。
- ・演技種目違いにより0点の演技があったが、違いに気づかず点数を入力した審判がいた。手元のアイパッドや表示スクリーンで、しっかりと演技種目を確認してから実際の演技を評価すること。
- ・シンクロ競技とも共通して、空中フォームに関しては、タックやパイクフォームにおける型が正しくないものは減点対象であることを、念を押すように話があった。
- ・日本人コーチと選手がコール中にコーチングをしていることについて、注意を受けた。理由としては、選手の演技準備の遅れにより競技進行に影響があり、印象も良くないと指摘を受けた。日本全体に波及している様子があるので、客観的な意見として真摯に受け止め、情報共有していくべき事項である。

(4) シンクロ競技に関して

- ・踏み切り、距離、タイミング、エントリーにおける同調性の違いが多いことが予想される。サティスファクトリー（5～6.5）のカテゴリーが増える傾向にあるが、良いものと悪い

ものを見極めてジャッジすること。

- ・エクスキュージョンジャッジは、反対サイドの選手に何が起こっても自分の担当する選手の演技に集中する技術を持つこと。

## 8. 総括・所感

### (1) 傾向

今大会は、アジアのジュニア選手ということもあり、飛込演技レベルにかなり差があった。演技の出来栄えや、しっかりカテゴリーを見分ける技術が必要であった。

### (2) 環境

天候は、気温が高く、風もあった。選手に至っては、ジャグジーが壊れていて使用出来ず、シャワーは出るものの水しか出なくかなり寒かったようだ。

競技役員達は、お昼頃から気温が高くなるが、日本の夏に比べると心地よい気候であった。

### (3) 入水・ボディライン

入水角度、スプラッシュ、入水時の手の位置は、評点に差をつけるべき判断材料であった。また、逆立ちに関して、倒立時のボディラインと静止もしっかり評価していた。

### (4) 入水時の捻れ

今回は、完全90度以上捻れ0点や0点に近い演技がいくつか見受けられた。

捻れや振れの違いではこの判断の難しさは、ジャッジミーティング中でも沢山の意見や議論があった。実際のジャッジでは、多くのジャッジがしっかり減点していた。

### (5) クローホップについて（高飛込）

今回、日本代表選手への明らかな減点があった。



以上



# World Aquatics Diving World Cup-Berlin 2024 審判報告

2024年3月26日

中川 真依

## 【概要】

- 開催期間 3月20日～24日
- 参加国 19か国
- 参加人数 97名
- ジャッジ人数 24名



## 【ジャッジミーティングの内容について】

### （大会前日）

- 1回目のジャッジミーティングは大会前日のリーダーズミーティング後に行われた。

### （大会1日目：9:00～9:45）

- 7つのカテゴリーの重要性についての説明
  - ✓ 7つのカテゴリーを瞬時に判断し、その枠内での High/Low を決定
  - ✓ 7人のジャッジ全員が同じカテゴリー内になる事が目標
- グループディスカッション
  - ✓ ジャッジが4グループに分かれ演技を視聴
  - ✓ 演技の採点とその理由についてグループで意見交換
  - ✓ グループによって点数や意見が違った時には熱い議論に
- ジャッジの説明責任についての説明
  - ✓ 全ての演技において、なぜその点数を出したのかを聞かれたときに、全て説明できることが必要



### （大会2日目：8:45～9:40）

- 演技の動画を見てグループごとにディスカッションと発表
  - ✓ 似たような演技を見て、演技の違いや点数を発表

### （大会3日目：9:00～）

- シンクロの試合についての注意事項の確認。
  - ✓ シンクロの動画を見てグループディスカッションと発表

### （大会4日目：9:15～9:45）

- ジャッジの注意点を再確認
  - ✓ 特に逆立ち、踏み切る時の手が大きくずれていないかを重要視する
  - ✓ 前日の試合の振り返り

## 【ジャッジをして感じたこと】

- 簡単には Very Good(8.5 以上)は出ない
- 大きな失敗がなくてもなんとなくの演技では最高 7 点止まり
- 入水が決まっても高さが低い演技の点数は伸びない、逆に高さのある演技への評価は高い
- 台に近いだけではなく遠い演技においても点数が出ない
- 入水が決まらなくても高さ、キレ、スピードがあれば高得点が出る
- 抱え型のひざの位置や、えび型のひざの曲がり、空中でつま先が伸びているかも点数に大きく響く

## **【最後に】**

今回で 3 回目となった国際審判。回を重ねるごとに緊張で硬くなることは無くなってきているが、その分責任も重く感じるようになってきた。何度かミスジャッジをしてしまい、反省点もあるが、少しずつ慣れてきたようにも感じる。今大会では予選が AB に分かれており、試合の間に休憩(選手の練習時間)があった。そのため一旦気持ちをリセットする時間があり、長い試合でも最後まで集中できた。

毎日のミーティングで行われるグループディスカッションの甲斐があり、ジャッジのスキルもかなり上がってきているように感じた。選手のレベルも年々上がってきているが、その分ジャッジの目も厳しくなっている。TDC の方たちがおっしゃるように、「点数はみんなへのメッセージ」だということを念頭に置き、常に正確なジャッジが出来るよう今後も努力していきたいと思う。今回もとても勉強になる有意義な時間を過ごすことができた。日本国内の大会でもこの学びを活かし、選手たちのレベルアップにつなげられるよう頑張りたい。



## ■概要

大会名：French Diving Open 2024

期間：2024年5月8(水)–10(金)

会場：Centre Aquatique Olympique

参加国数：16

各種目の出場人数：

男高 syn 3 女高 syn 3 男板 syn 5 女板 syn 6

男子高 8 女子板 15 女子高 11 男子板 14

プレオリンピックに指定されている大会だが、参加国、各種目の出場人数は多くなく、小規模な開催だった。全て1発決勝で時間に余裕のあるスケジュールだった。飛込プール側の観客はほぼ満員。試合前にはアナウンスによる盛り上げや手拍子があり、フランス選手の順番になると歓声が沸き起こり、飛込が盛んではない国ながら注目されていることを感じた。

## ■日本人の結果

### ・男子高

CAO Yuan(CHN)や WILLIAMS Noah(GBR)が1本ずつミスをする中、玉井は安定した演技を見せた。最後2本を9点の演技で締めくり、合計500点超えで逆転優勝した。

### ・女子板

三上、榎本共に7点を超える演技が出ず、3位と5位にとどまった。1位の KEENEY Maddison(AUS)と2位の CHANG Yani(CHN)は安定的に高得点を出した。CHANG の最後の一本のミスで KEENEY が逆転優勝。

### ・女子高

荒井は安定していて、全ての演技で7点以上を出した。途中 VIETA Maycey(PUR)が6243Dを決めてリードを許したが、その後のミスもありすぐに荒井が逆転。最後は16.5点引き離して優勝した。

### ・男子板

前半安定していた坂井は4本目終了時点で3位。5本目の307cのミスで5位に後退し、最後の107bで8点を出したがメダルまで6点足りず4位で終わった。優勝は XIE Siyi(CHN)。

## ■ジャッジまわり

毎日のジャッジミーティングは地元のレフリーにより行われ、基本的には出欠確認、スケジュール確認のみだった。

TDC からはバシャール氏がきていて、

①見栄えのいい座り方をすること

②スマートフォンのバイブによる集中の妨げがないようにとの指摘があった。

選手が4人以上の国はジャッジが2名必要との事だったが、2名派遣したのはアメリカのみ。イギリスは出してすらいなく、全体の三分の一をフランス人のジャッジでカバーした。

ジャッジは選手紹介の後に一斉に席に座るよう指示があった。世界水泳では降りるタイミングも揃えていたとのこと。

エバリュエーションはなく、各種目終了後の振り返りもないため各々が近くのジャッジたちと話し合った。

## ■ジャッジ同士で話した内容

・シンクロで、2人とも同じ角度でショートしていた。

→垂直でなければシンクロナイゼーションも減点して良い。

・演技中、音楽が鳴り止まずにミスをした選手がいた。

→redive をお願いすれば許されたであろう。

・飛込台背面が一面ガラス張りでもぶしく、演技の妨げになっている

→オリンピックでは窓はシャットされる。

・男子高の1人目1本目がexcellentに近い演技だったが8点にとどまった。

→1本目は高得点を出しにくい、9を出すべきだった。

## ■その他

各種目終了後、レフリーによるサインを待たないまま結果を発表していた。試合後すぐにアナウンスできるので、観客を待たせないスムーズでいい運営だと思った。

3位までの選手は自分の演技後に水着のまま待機場所で待つスタイルをとっていた。テレビ放送もあるため、選手同士のやり取りや喜ぶ様子などが見れていいと思った。

■ プールの様子





# World Aquatics Junior Diving Championships

RIO DE JANEIRO 2024 審判報告書

World Aquatics 国際ジャッジ

茶木 康寛

開催地：ブラジル リオデジャネイロ  
会場：JULIO DELAMARE AQUATIC PARK  
期 日：2024年11月24日～12月1日  
参加国：42か国  
参加人数：218名  
ジャッジ数：39名

## ◆会場（プール）



## ◆入場ゲート



## ◆ドライランド①



## ◆ドライランド②



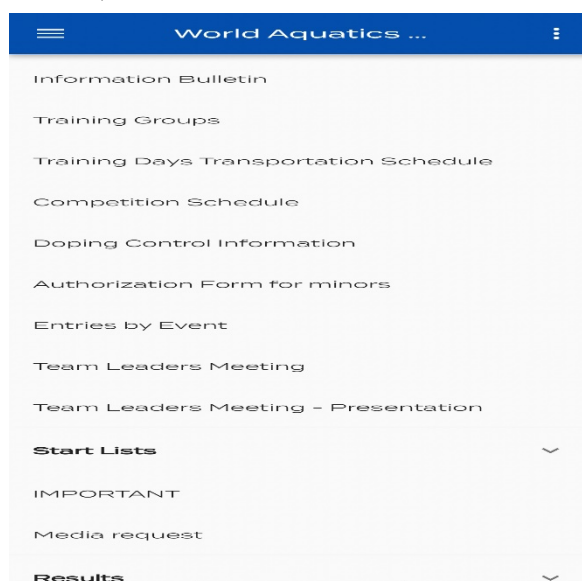
## 【チームリーダーズミーティング (TLM) 及びジャッジミーティング (JM)】

- ・同時進行なし
- ・外のプールのため、日没の関係で予選は45秒、決勝とシンクロは50秒サイクルで進行
- ・ドーピング検査あり
- ・最終日は隣接のマラカナンスタジアム（オリンピックの開閉会式会場）で地元サッカーの試合があり、競技時間の変更や騒音でホイッスルが聞こえない可能性あり
- ・チーム全体の連絡は World Aquatics のアプリ、ジャッジの連絡は WhatsApp アプリで更新する
- ・天候や気温を懸念し、予選は2～3本ごとにパネルを交代（制限選択、自由選択関係なく）
- ・「国の帽子を脱ぎなさい」（公平にジャッジをしなさい）  
あなたたちはコーチではなくジャッジとしてこの場に来た

### ◆チームリーダーズミーティング



### ◆World Aquatics アプリ



## 【1日目】

※予め振り分けられた6グループ（1グループ6～7人）で自己紹介

今後はこのグループでディスカッションを行うことの説明

- 1 まずは体調を万全に！
- 2 パネルがワンチームである
- 3 TDCの説明を聞くだけでなく、グループ内で議論することが大切
- 4 危険なダイブには点数を入力してから手を挙げること（Dangerボタンが無い場合）
- 5 「全体の印象」で7つのカテゴリを判断し、点数を決定すること

◆毎朝のミーティング



◆グループごとのディスカッション



【2日目】

- 1 (初日を終え) 全体的に良いジャッジができていると感じているが、点数が集まり過ぎているように感じる  
7人のジャッジがいるのだから、いい演技とそうでない演技にはしっかりと差をつけるべき  
高得点を出すことをためらわないこと
- 2 シンクロの点数が抑え気味ではないか？  
質の良い演技で同調性が高い演技には8～9点の採点を  
7点程度で終わらせないこと
- 3 ジャッジはラウンドごとのランキングボードを見ないように！

◆ジャッジ席



◆入力タブレット





### 【3日目】

- 1 距離が遠い演技には減点をすること
- 2 205Bや305Bで、膝を曲げて宙返りをかける動作や横に飛んでいる演技にもしっかりと減点  
をすること
- 3 逆立ちは、開始の姿勢（倒立姿勢）が不十分なものは0.5～2点の減点
- 4 6243Bなど、台の中に入っている演技にも減点をすべき
- 5 逆立ちジャッジは足だけでなく、手が動いたかどうかもしっかりと見る  
こと
- 6 カテゴリを瞬時に見極めること  
5つの要素の中の1つだけを見て減点し過ぎないこと
- 7 年齢グループを考慮すること（ほとんどの日がAとBの予選・決勝を交互に行っていたため）

#### ◆通告の様子



#### ◆本部席



### 【4日目】

- 1 シンクロのExジャッジはもう一人の演技に採点を惑わされないこと
- 2 Satisfactoryの中にはばかりいないこと  
ジャッジの「安全地帯」と思わず、良い演技には良い点数を出す勇気を持つこと

### 【5日目】

※この日から新しいグループにシャッフル

- 1 再度、「点数」のあとに「カテゴリ」が決まるのではなく、「カテゴリ」を瞬時に判断し、その中の  
「点数」を決定すること、の議論が交わされた



## 【6日目】

- 1 減点ばかりを探すのではなく、良い部分もしっかりと見ること  
違う失敗でも同じ点数になることがあるが、その理由が大切である

## 【7日目】

- 1 7人ジャッジがおり、3つの点数が残るが、その3つが同じになることが理想
- 2 試合では75%以上の採点が、1点以上離れている  
これは問題である  
毎朝グループで動画を見て協議し、意見をまとめているのはこの差が出ないようにしているからである

## 【8日目】

本大会を通じての意見、感想をグループ内で一人ずつ発表  
グループの代表が全体に発表した

## 【まとめ】

時差、治安、アウトドアプール、自身初の国際ジャッジなど、様々な不安があり参加した本大会であったが、毎日が充実した内容で無事終了することができた。

刻々と変化する気温、風、タイムスケジュールなど、選手・コーチは過酷な環境下の中で最善を尽くしてくれた。当然ながらジャッジもその影響を受けつつも、ジュニア世界最高峰の大会に答えるべく毎日、熱心に議論を繰り返した。

今回はオリンピックでのジャッジ経験者から、私のように初めての国際ジャッジも多数おり、毎朝のミーティングやTDCからの情報発信は非常に有意義なものとなった。国内大会でもこのようにジャッジングに対する議論が活発になれば、最終的に日本の競技力向上にも還元できると感じた。

また、日本の競技運営は世界に誇れるものであることを実感し、今後は積極的に国際大会を誘致すれば、「する、見る、支える」の全てが網羅できるのではないだろうか。

今回、このような機会を与えてくださった（公財）日本水泳連盟をはじめ、関係各位に感謝します。



## 2025年度飛込委員会日程

	<b>委員会日 程(19:00 ~)</b>	常務理事会 (18:00~)	委員長会議 (18:00~)	理事会 (14:00~)	評議員会 (11:00~)	備考
2025年 4月	<b>17日(木)</b>	9日(水)	16日(水)			
5月	<b>15日(木)</b>	7日(水)	14日(水)			
6月	<b>12日(木)</b>	4日(水)	11日(水)	14日(土)	29日(日)	6/5(木)審査会
7月	<b>17日(木)</b>	9日(水)	16日(水)			
8月	-	-	-			
9月	<b>18日(木)</b>	2日(水)	17日(水)			9/14(日)有功章表彰式・ 加盟団体長懇親会
10月	<b>16日(木)</b>	2日(水)	15日(水)	4日(土)		
11月	<b>13日(木)</b>	5日(水)	12日(水)			
12月	<b>20日(土)</b>	10日(水)	17日(水)			12/10(水)委員総会
2026年 1月	<b>22日(木)</b>	14日(水) (16:00~)	21日(水) (17:00~)			1/26(月)感謝の夕べ
2月	<b>19日(木)</b>	10日(水)	18日(水)			2/26(木)11:00~ 財務委員会
3月	<b>12日(木)</b>	4日(水)	11日(水)	7日(土)	15日(日)	3/5(木)18:00~ 公認推薦企業懇談会

# 飛込委員会内規

## 第1章 審議・所管事項

第1条 委員会は、本連盟の飛込競技に関する専門事項を審議・所管し、常務理事会に意見を具申する。

2. 前項に掲げる専門事項とは、次の各号をいう。

- (1) 飛込競技の国際競技力向上及び選手強化施策に関すること
- (2) 飛込競技の普及及び指導者養成に関すること
- (3) 飛込競技会運営及び競技役員、審判員の指導、養成に関すること
- (4) その他、飛込競技関係諸事業の目的達成に必要なこと

## 第2章 委員

第1条 委員会に、小委員会を設けることができる。

2. 小委員会については、委員会で別に定める。

## 第3章 本内規の変更

第1条 本内規は、常務理事会の決議により変更することができる。

## 第4章 細則

第1条 本委員会は、4部で構成される。

2. 前項にあげる4部とは、次の各部をいう。

- (1) 強化・普及部
- (2) 審判部
- (3) 競技部
- (4) 総務部

第2条 本委員会の各部では、専門事項の計画・立案を行う。

2. 前項に掲げる専門事項とは、次の各号をいう。

(1) 強化部の事業

- ・競技力向上のため、シニア強化とジュニア強化としての強化事業
- ・強化予算計画及び、報告。

国際大会派遣計画・国際大会実施報告を行う。

強化事業とともに選手層底辺拡大を目的とした普及事業も実施する。

- ・普及事業として、飛込技術検定会・飛込巡回計画及び報告を行う。
- ・指導者養成事業に関する企画・運営に関すること

(2) 審判部の事業

- ・主要競技会の審判団の構成及び、実務報告に関すること
- ・国際審判員の選考及び、実務に関すること
- ・飛込競技公認審判員規定に関すること
- ・国際審判研修会実施計画に関すること
- ・審判員研修会実施計画に関すること
- ・審判員伝達研修に関すること
  - ・飛込競技規則に関すること

(3) 競技部の事業

- ・主要競技会の日程に関すること
- ・主要競技会の要項に関すること
- ・主要競技会の参加基準に関すること
- ・主要競技会の役員構成に関すること
- ・主要競技会の記録整理及び、管理に関すること
- ・競技会運営に関する役員養成講習の企画、運営に関すること
- ・競技役員の手引き及びプール公認規則に関すること

(4) 総務部の事業

- ・委員会招集の連絡、議事進行及び、議事録作成、発送に関すること
- ・委員会名簿作成、ブロック・各都道府県連絡網作成
  - ・細事の計画、実施に関すること
  - ・広報活動

第3条 委員の選出について

次期委員の選出は、各部長から推薦を受け委員長・副委員長で審議し決定する。

付則1.

本内規は、平成30年（2018）9月26日に遡及し施行する。

本内規は、令和3年（2021）5月12日に遡及し施行する。

## 競技力向上コーチ委員会

1. 水泳コーチ資格取得について . . . . . P1
2. 基礎水泳指導員養成講習会 . . . . . P2-4
3. アスリート対象 基礎水泳指導員免除申請 . . . . . P5-6
4. 免除適応校コース設置大学（在学中に資格を取得） . . . P7
5. 水泳コーチ3養成講習希望申請 . . . . . P8
6. 水泳コーチ4への昇格について . . . . . P9
7. 水泳コーチ3・4規定（現行）

以上

## 水泳コーチ資格（水泳コーチ3）取得について

○2025年10月頃 水泳コーチ3養成講習会を実施予定

※飛込競技の専門科目講習会を実施予定

<受講資格>

4月1日現在 20歳以上で「基礎水泳指導員」資格を有するもの

方法Ⅰ 基礎水泳指導員指導員を取得する

※各都道府県水泳連盟（協会）へお問合せください。

※アスリート免除対象者について（別紙）

※スキップ制度対象者について（別紙）

方法Ⅱ 免除適応コース設置大学にて在学中にコーチ資格（水泳コーチ3）を取得する

※水泳コーチ3養成講習会の受講必要はありません

※免除適応コース設置大学について（別紙）



No.	加盟団体	養成講習会						更新研修会											
		基礎水泳指導員		コーチ1		コーチ2		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		講習	検定日	講習	検定日	講習	検定日												
1	北海道	11/2 11/3 11/17	11/17										26						8
2	青森県			5/3 5/4 5/5	5/5									4					
3	岩手県	11/4 11/10 11/24	12/1															9	
4	宮城県	9/29 10/20 11/17	11/17															16	
5	秋田県	2/11 2/16	3/2												15				
6	山形県	1/26 1/27 2/15 2/16	3/3												8				
7	福島県			9/8 10/6 11/10	11/10								20						
8	茨城県	11/23 11/24 11/30	12/14															15	
9	栃木県	12/1 12/15 1/19	1/19															2	
10	群馬県	3/31-4/14-4/21 (5-4) 中止	5/5							26									
11	埼玉県	①4/21 4/28 5/12 ②10/6 10/13 10/20	①5/19 ②11/10									29							
12	千葉県	①8/10 8/11 8/18 ②12/7 12/21 12/22	①8/18 ②12/22							29				2					1
13	東京都	①6/8-9-10-11-12-13 ②10/5-6-7-8-9-10	①6/23 ②10/12			※				19			20						2
14	神奈川県	10/19 10/26 11/4	11/24												1				9
15	山梨県	12/8 12/15 12/22	1/12						15										
16	長野県													24					
17	新潟県			7/7 9/8 9/22	10/27							18	1	10					
18	富山県	9/15 9/22 9/29	10/20											23					
19	石川県	未定																	9
20	福井県	5/5 5/12 5/19	5/19									8中止							16
21	静岡県	11/3 11/4 11/17	12/15															16	
22	愛知県	11/9 11/17 11/24	11/30												8				
23	三重県	9/8 9/29 11/24	12/15										13						
24	岐阜県			10/6 10/13 11/24	11/24								22						
25	滋賀県	未定				未定													
26	京都府	11/29 11/30 12/1	11/30 12/1										29						
27	大阪府	10/6 10/13 10/20	11/3										27						
28	兵庫県	10/20 10/27	11/24							2								19	
29	奈良県													9					
30	和歌山県	1/5 1/12 1/26	2/2															26	
31	鳥取県	11/10 11/24	12/8										13						
32	島根県	10/27 11/4 11/10	11/17					28		30									
33	岡山県	8/10 8/11	8/18										23		1				
34	広島県	9/21 9/22 10/12	10/13															12	
35	山口県	11/2 11/3 11/9 11/17	11/17							10				17					大会実施6/9,7/6,7/7,12/8
36	香川県			11月下旬										19					
37	徳島県	10/27 11/3 11/24 12/8	12/8																実施なし
38	愛媛県			11/4 11/24 12/1	12/1														実施なし
39	高知県	1/26 2/2 2/23 3/9	3/9											3					
40	福岡県	10/27 11/17 12/22	12/22											20					
41	佐賀県	12/22 1/13 1/19	1/19																23
42	長崎県	10/26 10/27 11/23	11/24												1				
43	熊本県	10/20 10/27 11/10	11/10																9
44	大分県	1/12 2/23	3/16																23
45	宮崎県	未定				未定													
46	鹿児島県			9/14 9/15 9/21	9/21														実施なし
47	沖縄県	10/6 10/27 11/17	12/15																26

※ 日本水泳連盟地域指導者委員会主管 コーチ2養成講習会 9/14・9/15・9/16・10/19 検定10/20 会場 国立スポーツ科学センター



## 1. 受講資格

- (1) 100m個人メドレーの泳力を有するとともに、基礎水泳指導員をめざす方で検定試験当日18歳以上の方。
- (2) 補講（未修了の方）、補強（修了者で更に学びたい方）は講習会担当者へお問い合わせください。

## 2. 申込み方法

封書で下記の①②を同封し（公財）東京都水泳協会指導者委員会宛へ申込みしてください。（申込期限必着）定員を超えた場合は、抽選とします。

- ① 基礎水泳指導員養成講習会申込書（ホームページの「申込書」をA4サイズ横でダウンロードした用紙）  
※ダウンロード出来ない方は、郵送（注1）にて取り寄せることができます。
- ② 84円切手を貼った（長形3号）返信用封筒（自分の住所・氏名〇〇〇〇様を記入）同封してください。

## 3. 注意事項

- (1) 主催者は、傷病、その他の事故に際し、応急処置を除いて一切の責任を負いません。  
参加者は事前に健康診断を受けるなど、万全な健康管理のもとに講習会を受講してください。  
（講習会期間中は必ず健康保険証を持参してください。）
- (2) 車での来場はお断りします。
- (3) 会場内は禁煙です。

## 4. その他

本講習会の実技に関する免除規定があります。

（公財）日本水泳連盟ホームページ、地域指導者委員会から基礎水泳指導員免除規定の項を参照講習会申し込み時にお申し出ください。（備考欄に記入）また講習の免除を証明できる書類（プログラムやリザルト、各種資格証）の写しを講習会初日までにご準備ください。

## 5. 受講料・検定料 20,000円 ・ 8,000円

- ① （公財）東京都水泳協会が扱います。
- ② 納入方法は「受講決定通知書」でお知らせします。

なお、講習会開始後のキャンセルは出来ませんので、受講資格・日程等をご確認の上、お振り込みください。

### 申込み・問い合わせ先

（公財）東京都水泳協会 指導者委員会「基礎水泳指導員養成講習会担当」

〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-3-18 広尾オフィスビル8階 TEL03-5422-6147 FAX 03-5422-6241

月曜～金曜（休日を除く）13時～17時

（注1）講習会申込用紙をダウンロードできない方は、上記へ郵送にてお申込み下さい。

84円切手を貼った（長形3号）返信用封筒（自分の住所、氏名（〇〇〇〇様）を記入）を同封し

※申込み封筒の左スミに“基礎水泳指導員養成講習会申込書申請”と赤字で明記すること。

## [第2回]基礎水泳指導員養成講習会

1. 主催 (公財) 東京都水泳協会
2. 会場 【学科会場】 東京アクアティクスセンター 第1会議室  
 【実技会場】 東京アクアティクスセンター サブプール・ダイビングプール  
 〒135-0053 東京都江東区辰巳 2-2-1  
 JR 京葉線 潮見駅 徒歩 15 分・東京メトロ有楽町線 辰巳駅徒歩 10 分
3. 定員 60名 (定員を超えた場合は抽選とします)

### 4. 日程及び内容

期日	受付	科目	時間	内容	会場
2024年 10月5日(土)	9:10		9:40	開講式	東京アクアティクスセンター
		学科	9:50~1h	水泳指導員の役割 (指導員制度含む) 指導者とは (体罰、ドーピング、薬物)	〃
		学科	11:00~1h	初心者指導法	〃
	昼休憩 (50分)				
	12:50	学科	13:00~1h	水泳の歴史	〃
		学科	14:10~2h	水泳プールにおける安全 (水泳の安全、水泳事故、飛び込み、溺水など)	〃
10月6日(日)	9:10	学科	9:30~1.5h	水泳・水中運動の特性	〃
		学科	11:10~1.5h	バイオメカニクス	〃
	昼休憩 (50分)				
	13:30	実習	13:40~2h	指導メニュー・立案	〃
10月7日(月)	18:45	実技	19:00~2h	各種泳法 (スタート・ターン)	サブプール
10月8日(火)	18:45	実習	19:00~2h	指導実習①	〃
10月9日(水)	18:45	実技	19:00~2h	各種泳法 (計測)	ダイビングプール
10月10日(木)	18:45	実習	19:00~2h	指導実習② 閉講式	サブプール

※講義内容・時間等一部変更することがあります。

5. 申込期日・受講料 2024年8月28日(水)~9月4日(水) 必着 受講料 20,000円 (教本代含む)  
 (定員に達するまで受け付けますのでお問い合わせください)

※ 講習会開始後のキャンセルは返金できません。

6. 検定日・検定料 2024年10月12日(土) 東京アクアティクスセンター  
 検定料 8,000円 (講習会受講料と合わせてお支払いください)

※ 講習会をすべて受講修了された方のみ受験可能です

2019年7月1日

申請者各位

(公財) 日本水泳連盟  
地域指導者委員会

## アスリート対象 基礎水泳指導員免除申請について

この免除申請は、公益財団法人 日本水泳連盟（以下「本連盟」という。）、公益財団法人 日本スポーツ協会公認水泳コーチ1・水泳コーチ2 規則第10条2項および本連盟公認基礎水泳指導員規則第9条の規程に基づき実施する。

〈申請方法〉

1. 申請書：「アスリート対象 基礎水泳指導員免除申請書」に必要事項を記入し、写真を貼付すること（縦3.5cm×横2.5cm）。  
\*選手本人及び選手を育成した監督・コーチについては、大会への出場および順位が証明できる資料（写し可）を添付する。
2. 審査料：5,000円を納入し、振込用紙（写し可）を申請書に貼付すること。  
振込先：
  - ① みずほ銀行 渋谷中央支店 普通 2732293  
口座名義：公益財団法人 日本水泳連盟指導者養成事業
  - ② 郵便振替：振替預金口座 00100-5-542045  
口座名義：公益財団法人日本水泳連盟指導者養成事業\*振込用紙伝言欄に「アスリート免除申請」と記入すること。  
\*審査料の納入は振込のみとなります。現金での受け付けはしません。
3. 申請書送付先：公益財団法人 日本水泳連盟 地域指導者委員会  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号  
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 8F
4. 審査結果の通知
  - ① 審査により申請が認められた場合  
→本連盟 地域指導者委員会から申請者の現住所の加盟団体へ書面にて連絡の後、加盟団体を通じて登録申請をする（規程の登録料が必要）。
  - ② 審査により申請が認められなかった場合  
→本連盟 地域指導者委員会から申請者に書面にて通知する。

### ■注意事項

1. 本資格申請の該当者は、満20歳に達した者で、各競技（競泳、飛込、水球、アーティスティックスイミング、オープンウォータースイミング）において、本連盟が選考して国際大会に出場した選手および選手を育成した監督・コーチ、ならびに日本選手権等において入賞した選手および選手を育成した監督・コーチとする。
2. 競技実績については、平成19（2007）年度以降のものを対象とする。なお、これ以前に国際大会に日本代表選手として出場し、現在水泳指導者として活動している者については、特別枠として申請することができる。
3. 本資格申請は、コーチ3資格の受講を要件とするものである。
4. 本資格の審査は、8月と12月を除き1ヶ月に1回の審査日を行う。審査結果については、本人ならびに本人が所属する加盟団体および競技力向上コーチ委員会委員長に通知する。

## アスリート対象 基礎水泳指導員免除申請書

◇本人の実績は「アスリート対象 基礎水泳指導員免除申請」に該当いたしますので、申請をいたします。

現住所	〒	電話	
氏名（ふりがな）	( )	男・女	携帯電話
勤務先			勤務先電話
生年月日	西暦 年 月 日 ( 歳)	備考	

\*本免除申請には要件があります。別紙免除規定をご覧ください。

\*審査の結果、免除が認められた基礎水泳指導員の登録は、原則現住所地の加盟団体とします。

【選手用】 出場した免除対象大会名(国内大会は決勝順位まで記載すること)

西暦 年	大会名：	種目：	順位：
------	------	-----	-----

\*大会への出場・順位が証明できる資料（写し可）を添付すること。

【監督・コーチ用】 出場した免除対象大会名(国内大会は決勝順位まで記載すること)

西暦 年	大会名：	種目：	順位：
指導した選手名			
選手と関わった時期	西暦 年 月 ～ 西暦 年 月		

指導した選手の署名、捺印

以上の通り相違ありません。 氏名 \_\_\_\_\_ (印)

\*審査料5,000 円の振込用紙を貼付すること（写し可）。

写真貼付 3.5×2.5
-----------------

\*申込先（郵送で受け付ける）

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4 番2 号

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 8F

公益財団法人 日本水泳連盟 地域指導者委員会 宛

\*封筒に「免除申請書在中」と書くこと。

\*申請書の個人情報については、本申請以外に使用いたしません。

### コーチ3取得可能大学一覧（免除適応コース承認校）

1	仙台大学	体育学部
2	筑波大学	体育専門学群
3	早稲田大学	スポーツ科学部
4	順天堂大学	スポーツ健康科学部
5	国土舘大学	体育学部
6	東京学藝大学	教育学部
7	日本女子体育大学	体育学部
8	日本体育大学	体育学部
9	日本大学	スポーツ科学部
		文理学部
10	至学舘大学 ※	健康科学部 ※
11	新潟医療福祉大学	健康科学部
12	山梨学院大学	スポーツ科学部
13	中京大学	スポーツ科学部
14	東海学園大学	スポーツ健康科学部
15	大阪体育大学	体育学部
16	天理大学	体育学部
17	九州共立大学	スポーツ学部
18	西日本短期大学	健康スポーツコミュニケーション学科
19	福岡大学	スポーツ科学部
20	鹿屋体育大学	体育学部

※免除適応校ではなくなりました。

## 2025年度 水泳コーチ3養成講習希望申請について

競泳・飛込・水球・AS・OWS コーチ3取得のための2025年度コーチ3養成講習会受講希望申請の受付を開始いたします。下記Google formsにて仮申し込みをしてください。

<https://forms.gle/CYnYhmsNEwaPRJGx9>



仮申し込みをされた方に 2025年3月初旬に本申込みのご案内をお送りします。

問い合わせ先 mail: [jasfcoache@googlegroups.com](mailto:jasfcoache@googlegroups.com)

受付期間: 2024年10月25日 ~ 2025年1月末日

※公認コーチ3資格取得の養成講習会受講希望条件は、下記をご覧ください。

### 公認水泳コーチ3資格取得 養成講習会受講希望条件

2023年10月 2024年10月

年齢	2023年 - 2024年 4月1日現在 20歳以上		
競泳 飛込 水球 AS OWS	1	基礎水泳指導員	資格証
	2	公認水泳コーチ1	資格証
	3	公認水泳コーチ2	資格証
	4	公認水泳コーチ3 (現在おもちゃの種目以外のコーチ3資格にトライする方)	資格証
	5	公認水泳コーチ4 (現在おもちゃの種目以外のコーチ3資格にトライする方)	資格証
	6	公認水泳教師	資格証
	7	公認水泳上級教師	資格証
	8	水泳指導に関する基礎的な知識・技能と100m個人メドレーの基準(男子1分40秒0・女子1分50秒0・36歳以上1秒加算)の泳力を有する方	証明書類
飛込のみ	9	ニチレイ飛込検定5級以上の認定者 またはニチレイ飛込検定5級と同等に、競技会において異群4種目以上の演技をしたことがある方	証明書類

**注意事項** 上記のいずれかの条件を満たしていること  
競泳・水球・AS・OWSコーチ3については1~8のうち1つ飛込コーチ3については1~9のうち1つ

**書類提出** 資格証・証明書類は仮申込み時のGoogleFormに添付していただき提出いただきます 8と9に対する証明書類は競技会リザルツ又はニチレイ検定認定証が対象となります

#### <注意事項>

- ① アスリート対象基礎水泳指導員免除申請者は、申請後にコーチ受講希望者申請を提出してください。
- ② 基礎水泳指導員・水泳コーチ1・2資格者は、水泳コーチ3資格を取得することで資格変更となります。

## 公認水泳コーチ4への昇格について（2024年度用）

公認飛込コーチ4昇格を満たし、同資格の取得を希望する方は、下記の方法により昇格審査を受けてください

昇格用実務報告書をダウンロード後、必要事項を記入し下記宛て提出する。ダウンロードについては、こちらのQRコードより



郵送先：〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘町 4番 2号

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 8階

(公財) 日本水泳連盟 競技力向上コーチ委員会

mail: [jasfcoache@googlegroups.com](mailto:jasfcoache@googlegroups.com)

2025年度の公認コーチ4養成講習会を受講希望の方は

2025年 1月20日までに実務報告書を提出してください。

・さらに詳しくお知りになりたい方はこちら



公益財団法人 日本水泳連盟

コーチ規定

2022年7月1日

競技力向上コーチ委員会



公益財団法人 日本水泳連盟

公認水泳コーチ 3・コーチ 4 規定

[総 則]

#### 第 1 条 (目 的)

日本水泳界の競技力を向上し、世界の水泳界をリードする競技者を発掘・育成・指導するためには、その指導者もまた世界トップレベルの技量・人格の持ち主であることが求められる。本規定はかかる指導者が輩出することを期するとともに水泳指導者の社会的地位の向上を図ることを目的とする。

#### 第 2 条 (公認水泳コーチの種類)

(公財)日本水泳連盟(以下、本連盟)が公認する水泳コーチは、各競技種目(競泳・飛込・水球・アーティスティックスイミング・オープンウォータースイミング)とも、コーチ 3 およびコーチ 4 の二種類とする。

##### 1. コーチ 3

科学的・合理的な水泳指導理論を身につけており、競技者の発掘・育成・指導に当たることができる能力を備えたものであることを本連盟が公認したコーチをいう。またジュニア遠征派遣コーチは、この資格が必要となる。

##### 2. コーチ 4

豊かな実戦経験あるいは優秀競技者・チーム等の育成実績をもち、かつ高度な専門知識・技量・指導力を有し日本を代表する競技者の育成・指導の経験を有するとともに、人格・識見とも優れた日本を代表するコーチとして本連盟が公認したコーチをいう。

またジュニア遠征派遣ヘッドコーチおよびナショナルチーム遠征派遣コーチは、この資格が必要となる。

#### 第 3 条 (コーチ 3 受講資格および資格取得と免除規定)

4 月 1 日現在満 20 歳以上で、(公財)日本スポーツ協会が行う共通科目講習会、本連盟が行う専門科目講習会を受講し、検定試験およびレポート審査に合格した場合にコーチ 3 の資格を取得することができる。

専門科目講習の免除および免除適応校については、別に定めるものとする。

#### 第 4 条 (コーチ 4 受講資格および資格取得と免除規定)

4 月 1 日現在満 22 歳以上で、コーチ 3 資格を有するものが、各競技種目ごとに定め

た基準を充たす競技者・チーム等を育成し、本連盟が行う資格審査会に合格後、(公財)日本スポーツ協会が行う受講者審査および共通科目講習会、本連盟が行う専門科目講習会を受講し検定試験およびレポート審査に合格した場合にコーチ4へ昇格することができる。ただし、4年以内に講習会を受講しないものは受講資格を取り消すものとする。

専門科目講習の免除については、別に定めるものとする。

#### 第5条 (研修の義務)

1. 本連盟に登録しているコーチ3・4は、毎年本連盟が主催する研修会に出席しなければならない。

2. 4月1日現在満65歳に達したコーチ3・4は、研修の義務を免除することができる。(要申請)

ただし、コーチ3登録後、5年未満のものは除く。

3. コーチ3・4資格を有するものが、研修会および養成講習会の講師を務めた場合、その年のコーチ3・4の研修義務を免除する。

#### 第6条 (登録)

1. コーチ3・4として資格を認められたものは、本連盟に登録することができる。

2. 複数の資格を有するものは、その複数の資格を登録しなければならない。

3. 登録は、すべて所属する(公財)日本スポーツ協会を通して行わなければならない。

4. 登録・再登録については別に定める。

5. 登録情報に変更(改姓、転居、メールアドレスの変更等)が生じた場合は、速やかに(公財)日本スポーツ協会の指導者マイページの情報を変更しなければならない。

#### 第7条 (登録の更新)

登録年より4年毎に登録の更新をしなければならない。

#### 第8条 (資格の取り消し)

1. 本連盟公認コーチとしての名誉を傷つける行為があった場合。

2. 登録更新の手続きをしなかった場合。

3. 毎年行う研修会への出席を怠った場合。

#### 第9条 (細則・附則)

この規定実施のための細則は別に定める。

第10条（施行）

この規定は1979年4月1日から施行する。

この規定は1983年4月1日に改正する。

この規定は1984年5月24日に改正する。

この規定は1986年2月16日に改正する。

この規定は1988年4月1日に改正する。

この規定は1989年4月1日に改正する。

この規定は1991年4月1日に改正する。

この規定は1992年4月1日に改正する。

この規定は2000年2月25日に改正する。

この規定は2005年4月1日に改正する。

この規定は2009年4月1日に改正する。

この規定は2010年4月1日に改正する。

この規定は2011年4月1日に改正する。

この規定は2012年4月1日に改正する。

この規定は2013年4月1日に改正する。

この規定は2014年4月1日に改正する。

この規定は2016年4月1日に改正する。

この規定は2017年4月1日に改正する。

この規定は2018年4月1日に改正する。

この規定は2019年4月1日に改正する。

この規定は2021年10月1日に改正する。

この規定は2022年7月1日に改正する。

公益財団法人 日本水泳連盟

公認水泳コーチ 3・コーチ 4 規定実施細則

## Ⅱ. 飛込コーチ 3 規定実施細則

### 1. 規定 第 3 条 (コーチ 3 受講資格および資格取得と免除規定)

#### (1) 受講資格

4 月 1 日現在 20 歳以上で『基礎水泳指導員』資格を有するもの。

または、水泳指導に関する基礎的な知識・技能を有し、100m 個人メドレーの基準

(男子 1 分 40 秒 0、女子 1 分 50 秒 0、36 歳以上の場合、1 歳の加齢につき 1 秒加算する) となる泳力を本連盟に認められた者。この場合、模範となる泳ぎであること、競泳競技規則に違反しないこと。

または、ニチレイ飛込検定 5 級以上の認定者であること。(申請時にニチレイ飛込検定の結果コピーを添付する)

またはニチレイ飛込検定 5 級と同等に、競技会において異群 4 種目以上の演技をしたことがあること。(リザルツを提出)

※ニチレイ飛込検定 5 級とは、1 群～4 群の半回飛びができる事に相当する。

#### (2) 専門科目講習会、学科試験およびレポート審査

##### ① 専門科目講習会の内容

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
①種目の特性に応じた基礎理論	①	競技概説	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	②	トレーニング科学(水泳の生理学)◆	2.00 h	0.66 h	8.00 h
		トレーニング科学(バイオメカニクス・水泳の力学)◆	2.00 h	0.67 h	
		トレーニング科学(バイオメカニクス・各種目の力学)	2.00 h	0.67 h	
	③	心理学(水泳の心理学)◆	2.00 h	1.00 h	6.00 h
		心理学(メンタルトレーニング)◆	2.00 h	1.00 h	
	④	メディカルコンディショニング(栄養学)◆	2.00 h	1.50 h	14.00 h
		メディカルコンディショニング(医学)◆	2.00 h	1.50 h	
		メディカルコンディショニング(トレーナーの基礎知識)	2.00 h	1.50 h	
		メディカルコンディショニング(各種目における障害予防と対処法)	2.00 h	1.50 h	
小計			20.00 h	12.00 h	32.00 h
②指導理論	①	トレーニング法Ⅰ(選手育成に必要なトレーニング法の基礎)	2.00 h	2.00 h	8.00 h
		トレーニング法Ⅱ(選手育成に必要なトレーニング法の応用)	2.00 h	2.00 h	
	②	コーチング法Ⅰ(重要な指導のポイント、陸上練習)	2.00 h	1.00 h	12.00 h
		コーチング法Ⅱ(重要な指導のポイント、基本技術)	2.00 h	1.00 h	
		コーチング法Ⅲ(重要な指導のポイント、高等技術)	2.00 h	1.00 h	
		コーチング法Ⅳ(重要な指導のポイント、種目への発展)	2.00 h	1.00 h	
小計			12.00 h	8.00 h	20.00 h
③実技指導実習	①	指導実習(トレーニング法の実践)	0.00 h	4.00 h	4.00 h
	②	指導実習(コーチング法の実践)	0.00 h	4.00 h	4.00 h
	小計			0.00 h	8.00 h
※◆印部分については、全競技種目(競泳、飛込、水球、AS、OWS)共通で講義を実施する。			32.00 h	28.00 h	60.00 h

## ②検定試験

- A. 全科目を実施。
- B. 問題は各講義規定の問題数とする。

## ③レポート審査

- A. 全科目を実施。
- B. 問題は各講義1問とする。

## ④免除規定

別紙コーチ4昇格基準同様、日本選手権・国際大会派遣選手選考会・翼JAPANダイビングカップ決勝8位以内(1mは3位以内)で基準点を突破した競技者を育成したもの、および本連盟主催の指定した強化合宿に指導者として全日程参加したのものに対し、その他のレポート20h、指導実習8hを免除する。

なお、免除の条件を充たしているものは本連盟制定の免除申請書に所要事項を記入し、本連盟競技力向上コーチ委員会に送付する。

### (3) 期日・会場

評議員会で決定次第、本連盟ホームページに掲載公開する。

## 2. 規定 第4条 (コーチ4受講資格および資格取得と免除規定)

### (1) 受講資格

①4月1日現在 22歳以上で、コーチ3資格を有し資格審査会に合格しているもの。なお、本連盟が制定した昇格認定基準は、次表の通りとする。

<飛込コーチ4昇格認定基準点・順位>  
 2017年～2020年の平均点を参考とする  
 (2021年度～2024年度)

種目	男子			女子		
	1m	3m	高飛込	1m	3m	高飛込
点数	293	341	352	234	228	231

②順位と基準点数

日本選手権・国際大会派遣選手選考会・翼 JAPAN ダイビングカップ決勝8位以内で基準点を突破した競技者を育成。ただし1mは3位以内とする。※昇格基準の見直しは、4年毎に行うものとする。

③国際競技会とは下記に定めるものをいう。

- A. オリンピック
- B. FINA 世界選手権
- C. FINA ワールドカップ
- D. FINA ワールドシリーズ
- E. ワールドユニバーシティゲームズ
- F. アジア大会
- G. アジア選手権
- H. FINA グランプリ

※なお、全て NF または JOC の派遣のみとし、所属で参加した場合は不可とする。

④前項①・②の条件を充たしたものは、本連盟制定のコーチ3実務報告書に所要事項を記入し、本連盟競技力向上コーチ委員会に送付。確認後、本連盟資格審査会に提出する。

資格審査会合格者には(公財)日本スポーツ協会による受講者審査の後、コーチ4受講資格を与える。

(2) 専門科目講習会、学科試験およびレポート審査

①専門科目講習会の内容

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
①種目の特性に応じた基礎理論	①	競技情報・分析(国内・国際大会の競技情報を紹介し内容を分析)	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	②	ナショナルレベルにおける心理学(ナショナルレベルの選手育成に必要な心理学)◆	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	③	メディカルコンディショニング(水泳の医学・最前線)◆	2.00 h	2.00 h	12.00 h
		メディカルコンディショニング(トレーナーの知識)	2.00 h	2.00 h	
		メディカルコンディショニング(アンチドーピング)◆	2.00 h	2.00 h	
	④	トレーニング科学Ⅰ(最先端の専門的トレーニング、体力的課題)◆	2.00 h	2.00 h	12.00 h
		トレーニング科学Ⅱ(最先端の専門的トレーニング、技術的課題)◆	2.00 h	2.00 h	
トレーニング科学Ⅲ(最先端の専門的トレーニング、メンタル的課題)◆		2.00 h	2.00 h		
	小計		16.00 h	16.00 h	32.00 h
②指導理論	①	コーチング法Ⅴ(ナショナルコーチによる指導技術の紹介と習得)	2.00 h	2.00 h	8.00 h
		コーチング法Ⅵ(ナショナルコーチによるトレーニング計画立案と作成法)	2.00 h	2.00 h	
		小計		4.00 h	4.00 h
③実技指導実習	①	指導実習(トレーニング法の実践)	0.00 h	20.00 h	20.00 h
	②	指導実習(コーチング法の実践)	0.00 h	20.00 h	20.00 h
		小計		0.00 h	40.00 h
※◆印部分については、全競技種目(競泳、飛込、水球、AS、OWS)共通で講義を実施する。			20.00 h	60.00 h	80.00 h

## ②検定試験

- A. 全科目を実施。
- B. 問題は各講義規定の問題数とする。

## ③レポート審査

- A. 全科目を実施。
- B. 問題は各講義1問とする。

## ④免除規定

- (1)受講資格に定める、②日本選手権・翼 JAPAN ダイビングカップ 3位以内(1mは優勝)および③国際競技会代表となる競技者を育成したのに対し、その他のレポート 20h、指導実習 8h を免除する。  
なお、免除の条件を充たしているものは本連盟制定の免除申請書に所要事項を記入し、本連盟競技力向上コーチ委員会に送付する。

### (3) 期日・会場

評議員会で決定次第、本連盟ホームページに掲載公開する。

## 3. 規定 第5条 (研修の義務)

研修会規定は下記の通りとする。

### (1) 目的

公認コーチ 3・4 規定第5条にもとづき開催されるもので、日本水泳界の競技力を向上し、世界の水泳界をリードする競技者を発掘・育成・指導するためには、その指導者もまた世界をリードする技量・人格の持ち主であることが求められる。また指導者の社会的地位の向上を図ることを目的として研修を義務づけるものである。

### (2) 研修企画会

研修の企画、運営のための水泳コーチ 3・4 研修企画会を設け、競技力向上コーチ委員長、研修に関連のある各委員会の代表で構成する。

### (3) 開催日程および代替について

#### ①開催について

コーチ 3 研修会は年 10 回以上開催する。またコーチ 4 研修会は年 2 回開催する。

#### ②研修会の代替について

前①項にやむを得ない事情で参加できない場合は、下記の代替を認める。

##### A. コーチ 3

原則的に代替は認めない。ただし、委員会が別途定める代替措置を講ずることができる。

##### B. コーチ 4

本連盟主催の主要競技会および国際競技会を観戦し、そのレポートを（原稿用紙 800 字以内手書き）を指定期日までに提出した場合。ただし、2 年連続でのレポートによる代替は認めない。

※主要競技会・国際競技会とは規定細則第 4 条 (1)③④参照または、委員会が別途定める代替措置を講ずることができる。

#### ③研修内容および参加費

開催要項の決定次第、本連盟ホームページに掲載公開する。

また、コーチ 3・4 資格保持者には別途通知する。

④その他：社会情勢により①が困難な場合には別途定める研修会を開催することができる。

### (4) 義務不履行について

年 1 回の研修会への出席を怠ったものは、資格を取り消されるものとする。ただし、欠席したもので、審査の結果やむを得ない理由であったと認められたものは、次年度の研修会に参加することとレポート提出を条件に、1 年間資格の喪失を猶予する。以上の条件を充たさない場合、自動的に資格を喪失する。

## 4. 規定 第 6 条（登録）

(1) 第 1 項 コーチ 3 登録に必要な手続きは下記の通りとする。

①本連盟の専門科目合格者は、(公財)日本スポーツ協会の実施する共通科目修了後に、(公財)日本スポーツ協会より送付される申請者カードに必要事項を記入の上、指定期日内に(公財)日本スポーツ協会へ送付する。

②登録料は(公財)日本スポーツ協会の指示する方法で送付する。

(2) 第 1 項 コーチ 4 登録に必要な手続きは下記の通りとする。  
前規定①、②に準ずる。

## 5. 規定 第 7 条（登録の更新）

(1) 資格は 4 年ごとに更新登録をしなければならない。（認定は 4 月 1 日・10 月 1 日）



(2) 登録の更新に必要な手続きは下記の通りとする。

①(公財)日本スポーツ協会より送付される申請カードに必要事項を記入の上、指定期  
日内に(公財) 日本スポーツ協会へ送付する。

②登録料は(公財)日本スポーツ協会の指示する方法で送付する。

(3) 登録料等については、前規定4.に準ずる。

#### 6. 規定 第8条(施行)

- (1) この規定は2005年4月1日から施行する。
- (2) この規定は2009年4月1日から施行する。
- (3) この規定は2010年4月1日に改正する。
- (4) この規定は2011年4月1日に改正する。
- (5) この規定は2012年4月1日に改正する。
- (6) この規定は2013年4月1日に改正する。
- (7) この規定は2014年4月1日に改正する。
- (8) この規定は2016年4月1日に改正する。
- (9) この規定は2017年4月1日に改正する。
- (10) この規定は2018年4月1日に改正する。
- (11) この規定は2019年4月1日に改正する。
- (12) この規定は2021年10月1日に改正する。
- (13) この規定は2022年7月1日に改正する。

## 2025年コーチ4昇格規定更新予定情報について

コーチ4昇格規定について、規定の通り2025年中に4年に一度の改定がございます。  
下記の内容のとおり一部改訂が予定されていますので、ご承知おきください。

<飛込コーチ4昇格認定基準点・順位>

2021年～2024年の平均点を参考とする  
(2025年度～2028年度)

競技種目	男子			女子		
	1 m	3 m	高飛込	1 m	3 m	高飛込
得点合計	322	339	349	212	225	228

②順位と基準点数 日本選手権・国際大会派遣選手選考会・翼 JAPAN ダイビングカップ決勝8位以内  
で基準点を突破した競技者を育成。ただし1mは3位以内とする。

※昇格基準の見直しは、4年毎に行うものとする。

③国際競技会とは下記に定めるものをいう。

- A. オリンピック競技大会
- B. World Aquatics Championships
- C. World Aquatics Diving World Cup
- D. FISU ワールドユニバーシティゲームズ
- E. アジア競技大会
- F. アジア水泳選手権
- G. World Aquatics 承認大会

※なお、全て NF または JOC の派遣のみとし、所属で参加した場合は不可とする。

# 飛込委員会全国会議（北海道）ブロック報告資料

## 1. 2024年度競技会実績

### （北海道ブロック関係）

大会名	2024年度北海道体育大会 兼 第79回北海道選手権飛込競技大会
日程	6月22日(土)
開催場所	北海道立野幌総合運動公園プール
参加県	北海道
参加人数	2名(女子2名)

大会名	第47回(2024年度)全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会北海道予選会
日程	7月13日(土)
開催場所	北海道立野幌総合運動公園プール
参加県	未実施
参加人数	

大会名	2024年度北海道中学校体育大会 兼 第45回北海道中学校水泳大会飛込競技
日程	7月27日(土)
開催場所	北海道立野幌総合運動公園プール
参加県	未実施
参加人数	

大会名	第77回北海道高等学校選手権水泳競技大会兼第92回日本高等学校選手権水泳競技大会北海道予選会
日程	7月7日(日)
開催場所	北海道立野幌総合運動公園プール
参加県	未実施
参加人数	

### （全国大会関係）

大会名	
日程	
開催場所	
参加人数	

## 2. 2024年度ブロック合宿実績

合宿名	
日程	未実施
開催場所	

## 3. 2025年度競技会予定

### （北海道ブロック関係）

大会名	2025年度北海道体育大会 兼 第80回北海道選手権飛込競技大会
日程	6月21日(土)
開催場所	北海道立野幌総合運動公園プール

大会名	第48回(2025年度)全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会北海道予選会
日程	7月5日(土)
開催場所	北海道立野幌総合運動公園プール

大会名	2025年度北海道中学校体育大会 兼 第46回北海道中学校水泳大会飛込競技
日程	7月27日(日)
開催場所	北海道立野幌総合運動公園プール

大会名	第78回北海道高等学校選手権水泳競技大会兼第93回日本高等学校選手権水泳競技大会北海道予選会
日程	7月13日(日)
開催場所	北海道立野幌総合運動公園プール

### （全国大会関係）

大会名	
日程	
開催場所	
担当者	

## 4. 2025年度 ブロック合宿予定

合宿名	
日程	未定
開催場所	

## 5. 諸会議

### (実施)

会 議 名	
日 程	
開 催 場 所	
対 象	

### (計画)

会 議 名	
日 程	
開 催 場 所	
対 象	

## 6. 各県の普及活動

北 海 道	9月22日（日）水泳の日は野幌総合運動公園プールで開催され、飛込教室エントリー22名（当日参加18名）。
-------	--

## 7. 各県の現状と課題

北 海 道	小学生2名（男子1名・女子1名） 中学生2名（女子2名）
-------	------------------------------

## 8. 要望、その他

--

# 飛込委員会全国会議（東北）ブロック報告資料

## 1. 2024年度競技会実績

### （東北ブロック関係）

大会名	第72回東北高等学校選手権水泳競技大会 第92回日本高等学校選手権水泳競技大会予選会
日程	2024年7月19日（金）～20日（土）
開催場所	福島県・AGC郡山カルチャーパーク飛込プール
参加県	秋田県 岩手県 宮城県 山形県 福島県
参加人数	男子3校 女子4校（全7校） 男子3名 女子4名（計7名）

大会名	第79回東北水泳大会飛込競技
日程	2024年7月19日（金）
開催場所	福島県・AGC郡山カルチャーパーク飛込プール
参加県	岩手県 宮城県 山形県 福島県
参加人数	男子5チーム 女子6チーム（全8チーム） 男子8名 女子16名（OP2含）（計24名）

大会名	第47回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 東北ブロック予選会
日程	2024年7月20日（土）～21日（日）
開催場所	福島県・AGC郡山カルチャーパーク飛込プール
参加県	岩手県 宮城県 山形県 福島県
参加人数	男子5チーム 女子7チーム（全8チーム） 男子9名 女子16名（計25名）

大会名	第44回北日本選手権飛込競技大会（予定）
日程	2024年12月27日（金）～28日（土）
開催場所	宮城県・セントラルスポーツ宮城G21プール
参加県	—
参加人数	—

### （全国大会関係）

大会名	なし
日程	
開催場所	
参加人数	

## 2. 2024年度ブロック合宿実績

合宿名	東北ブロック飛込選手育成合宿
日程	2024年11月9日（土）～10日（日）
開催場所	宮城県・セントラルスポーツ宮城G21プール

合宿名	第一次東北ブロック合同合宿（予定）
日程	2024年12月25日（水）～26日（木）
開催場所	宮城県・セントラルスポーツ宮城G21プール

合宿名	第二次東北ブロック合同合宿（予定）
日程	2025年3月27日（木）～30日（日）
開催場所	秋田県・秋田県立総合プール

## 3. 2025年度競技会予定

### （東北ブロック関係）

大会名	第73回東北高等学校選手権水泳競技大会 第93回日本高等学校選手権水泳競技大会予選会
日程	2025年7月18日（金）～19日（土）
開催場所	山形県・米沢市営プール（飛込プール）

大会名	第80回東北水泳大会飛込競技
日程	2025年7月18日（金）
開催場所	山形県・米沢市営プール（飛込プール）

大会名	第48回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 東北ブロック予選会
日程	2025年7月19日（土）～20日（日）
開催場所	山形県・米沢市営プール（飛込プール）

大会名	第45回北日本選手権飛込競技大会
日程	未定
開催場所	宮城県・セントラルスポーツ宮城G21プール

### （全国大会関係）

大会名	なし
日程	
開催場所	
担当者	

#### 4. 2025年度 ブロック合宿予定

合 宿 名	東北ブロック飛込選手育成合宿
日 程	2025年10月または11月
開 催 場 所	宮城県・セントラルスポーツ宮城G 2 1 プール
合 宿 名	第一次東北ブロック合同合宿
日 程	2025年12月末
開 催 場 所	宮城県・セントラルスポーツ宮城G 2 1 プール
合 宿 名	第二次東北ブロック合同合宿
日 程	2026年2月または3月
開 催 場 所	宮城県・セントラルスポーツ宮城G 2 1 プール

#### 5. 諸会議

##### (実施)

会 議 名	第1回委員長会議
日 程	2024年7月20日 (土)
開 催 場 所	福島県・AGC郡山カルチャーパーク飛込プール
対 象	東北各県飛込委員長

##### (計画)

会 議 名	第2回委員長会議
日 程	2024年12月27日(金)
開 催 場 所	宮城県・セントラルスポーツ宮城G 2 1 プール
対 象	東北各県飛込委員長

会 議 名	第3回委員長会議
日 程	2025年2月
開 催 場 所	秋田市内またはオンライン
対 象	東北各県飛込委員長

#### 6. 各県の普及活動

宮 城 県	宮城県スポーツ協会のジュニアアスリートアカデミー事業よりジュニアアスリートの体験会・希望者の体験会、希望者の体験会を随時受け入れている。
岩 手 県	NPO法人盛岡市水泳協会が主催する盛岡スイミングスクールで飛込コースを運営。Jrコース (週1~2回) 育成コース (週3回) 選手コース (週6回) で活動中。岩手県水泳連盟としては毎年6月中旬から8月末まで毎週土曜夏季限定のスポーツ少年団を開催し、新規会員を募集 (チラシを作成し近隣の小学校に配布) その中から競技志向の選手を盛岡スイミングスクールに移籍させている。また、今年から盛岡市民体育大会の水泳競技に飛込を追加実施。来年度はビギナーの部を設けて参加者を増やす予定。
秋 田 県	秋田県スポーツ協会主催のトライアル事業にて体験会を実施している。また、秋田DC事業として体験会を実施し飛込競技の普及を実施している。事業の結果、新規入会者が増え、週3回程度、飛込競技の楽しさや面白さを伝えながら、ローカル大会への出場を目指し練習している。
山 形 県	夏の体験会に30名程参加があった。夏の参加者を対象に秋の体験会 (陸上での練習) を実施して飛込並びにクラブの説明を行った。来年3月までのSC米沢事業「ダイビングスクール」としてローカル大会に出場することを目標にクラブに入会。週2回楽しませながらの練習を行っている。
福 島 県	小学生の指導強化をすすめ、夏休みに強化選手の育成を図った。しかし、会津地区の選手がコロナに罹り地区別の強化事業となった。飛込教室は、郡山で開催されジュニアの子ども達が親しんだ。会津では、市民水泳大会が開催され、会津地区の選手が参加した。競技役員も定数が揃い、B級へ昇級者も見られた。

## 7. 各県の現状と課題

宮 城 県	指導者 2 名、高校生女子 1 名、小学生男子 3 名、小学生女子 7 名である。 宮城県スポーツ協会のジュニアアスリート事業による競技選択プログラム参加者は 6 名である。 課題は指導者および選手の育成である。
岩 手 県	競技役員の高齢化が進み、役員が減少中。20代の役員をどんどん育成したい。小学校 5、6 年から競技を始め て中学 3 年までに JOC や全中、国体に出場し、そこで区切りをつけて高校進学を機に辞める選手が多い。大学 まで競技を続けてくれるようにしたい。
秋 田 県	東北高校や J0 予選会に出場できる選手は育成できているが、なかなか全国大会へ出場できるまでの選手の育 成には至っていない。再来年の青森国スポは宮城県開催なので、それまでに全国大会に出場できるような選 手を育成することが課題である。室内の飛込プールが可動床の故障のために、8 月から使えていないが、年 内に修理できることになり安堵している。課題は指導者の数も少なく、競技役員も兼ねているため、指導者 や競技役員の育成である。
山 形 県	全国から応援いただいた米沢市営プールの存続ですが、今年度までに予算化し改修に入る予定でしたが、予 算がつかず次年度以降に引き延ばしになった。市長が変わりマニフェスト実現のために莫大な予算が必要 で各局大幅予算減だという理由。米沢市スポーツ推進計画や市発展計画にもしっかりと飛込プール改修が 必要と明記するように訴えてはいるけれども、怪しい雰囲気なので今後も注視していかなければならない。
福 島 県	国民スポーツ大会 2 名、全国中学 3 名、インターハイ 1 名が参加した。技の安定が十分でなく中盤以降順位 を下げる選手も見られた。国民スポーツ大会では、女子高飛込で 4 位入賞を果たした。次年度以降も選手を しっかりと育て、青森国スポでは少年でも入賞できるよう支援したい。

## 8. 要望、その他

--

# 飛込委員会全国会議（関東）ブロック報告資料

## 1.2024年度競技会実績

### （関東ブロック関係）

大会名	関東選手権
日程	7月6日(土)・7月7日(日)
開催場所	埼玉県 青木町公園総合運動公園
参加県	参加状況
参加人数	64名

大会名	関東高等学校水泳競技大会
日程	7月20日(土)・21日(日)
開催場所	茨城県 山新スイミングアリーナ
参加県	1都5県(東京都・千葉・神奈川・茨城・群馬・栃木)
参加人数	延12名

大会名	全国JO関東ブロック予選会
日程	7月26日(金)・27日(土)
開催場所	栃木県 日環アリーナ栃木屋内水泳場
参加県	1都6県(東京都・千葉・埼玉・神奈川・茨城・群馬・栃木)
参加人数	延55名

### （全国大会関係）

大会名	日本学生選手権
日程	9月7日(土)～8日(日)
開催場所	東京都 TAC
参加人数	53名

大会名	翼ジャパンカップ
日程	2025年3月20日(木)～23日(日)
開催場所	東京都 TAC
参加人数	

大会名	全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳大会
日程	2025年3月29日(土)・30日(日)
開催場所	日環アリーナ栃木屋内水泳場
参加人数	

## 2. 2024年度ブロック合宿・記録会 実績

合宿名	大野杯ダイビングフェスティバル
日程	令和6年9月22日
開催場所	埼玉県 川口青木町公園総合運動場屋外プール

合宿名	日環アリーナダイビングカップ2024(年5回)
日程	4月・7月・9月・11月・3月
開催場所	栃木県 日環アリーナ栃木屋内水泳場

合宿名	東スイ招待
日程	令和6年11月1日(金)～4日
開催場所	東京都 TAC

合宿名	関東合同記録会
日程	令和6年6月2日(日)
開催場所	神奈川県 相模原グリーンプール

合宿名	グリーンカップ飛込選手権
日程	11月17日(日)
開催場所	神奈川県 相模原グリーンプール

合宿名	千葉フェスティバル
日程	10月12日(土)
開催場所	千葉県 千葉国際総合水泳場

合宿名	第3回さがみはら Sakai Sho Cup
-----	------------------------



日程	2025年2月15日・16日
開催場所	神奈川県 相模原グリーンプール

合宿名	TAC杯
日程	2025年3月16日
開催場所	東京都 TAC

### 3. 2025年度競技会予定

#### (関東ブロック関係)

大会名	関東選手権
日程	7月12日(土)・13日(日)
開催場所	神奈川県 相模原グリーンプール

大会名	関東高等学校水泳競技大会
日程	令和7年7月19日(土)～20日(日)(18日は公式練習日予定)
開催場所	埼玉県 川口青木町公園総合運動場屋外プール

大会名	全国JO関東ブロック予選会
日程	2025年7月25日(金)・26日(土)
開催場所	栃木県 日環アリーナ栃木(主管山梨県)

#### (全国大会関係)

大会名	日本選手権
日程	2025年8月29日(金)～31日(日)
開催場所	日環アリーナ栃木屋内水泳場
担当者	鈴木 義孝

大会名	東スイ招待
日程	2025年10月31日(金)～11月3日(月)
開催場所	TAC
担当者	毒島 泰士

### 4. 2025年度 ブロック合宿予定

合宿名	未定
日程	
開催場所	

### 5. 諸会議

#### (実施)

会議名	関東ブロック飛込会議
日程	2024年11月10日(日)
開催場所	日環アリーナ栃木屋内水泳場会議室
対象	東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・群馬・栃木・山梨

#### (計画)

会議名	関東ブロック飛込会議
日程	2025年11月初旬予定
開催場所	
対象	

### 6. 各県の普及活動

東京	加盟団体主催飛込体験会1クール週末計5日・年2回開催 東京SC主催飛込体験会 年5日 水泳の日東京 飛込イベント(ショー・体験会) スポーツの日東京 無料開放・体験会開催 ニチレイ飛込検定 年3回開催(東京SC) 2025年度小学生以下タレント発掘事業実施予定
----	---

神奈川	年4回の初心者教室 一般開放 坂井丞選手によるジュニア教室(月4) 5月から9月に一般向けの教室
-----	---

千葉	通年で教室を開催 (キッズ・小中・大人) 平日2回開催
埼玉	8月初旬に川口市スポーツ課主催のダイビング教室を開催。参加人数は約20名弱。運営のメインは大久保コーチが指揮を執って、OB・OGにお手伝いを頂きながらの指導となりました。既クラブ員の兄弟も参加しており、クラブへの入会につながるかと思っておりましたが、残念ながら今年は0となりました。昨年ぐらいから、川口スポーツ課もこの事業に関してどの程度前向きに行っているのか疑問に思える状況があり、今回も草加市の方でスポーツが万能でトライアスロンをやっている小学生が飛込競技をやってみたいと参加を希望していたのに、お断りをしたと役所勤務の競泳関係の先生から話を聞きました。
茨城	笠松にて飛込教室を実施。またジュニアの強化事業と併せてニチレイ飛込検定を実施した。 8月に筑波大でも教室開催を告知したが、参加者は0だった。次年度以降告知方法と時期を充実させたい。 県南地区のIK!!K!DivingClubは、平日はコーチの勤務校を拠点としていることから選手の募集が困難な状況。
群馬	・水泳場主催の飛込教室及びニチレイ飛込検定を実施。
山梨	指導者不在のため活動はできていません。
栃木	日環アリーナ主催の飛込教室(小学生コース)を通年で開催 日環アリーナダイビングカップを今年度よりグランプリ形式変更 Meet1～final(全5回)で種目が指定されるので、必然と種目づくりがおこなえた

## 7. 各県の現状と課題

東京	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の確保</li> <li>東京アクアティクスセンターの土日休日利用が難しい</li> <li>東京アクアティクスセンターの他競技や他事業が飽和状態で中々、飛込で利用できる時間を確保できていない</li> <li>・若い人材の確保</li> <li>・競技役員の拡充</li> </ul>
神奈川	横浜国際飛込プール閉鎖、相模原グリーンプール改修(約1年半) 活動場所の確保が難しい
千葉	指導者不足

<p>埼玉</p>	<p>埼玉もまだ基礎段階だが、プール建設が始まっており、旧屋内プールを取り壊しての建設のため、練習場所が無い状態が続いています。昨年までは日吉の慶応プールが使用できていたのですが、部員が01になったため、使用できなくなりました。この状況は2年間は続くので、近隣のプールも厳しい状態だと聞いております。</p> <p>新屋内プールですが、10月に業者・県担当者を含めた話し合いを設けまして、改めてタワーの見直しをこちらからお願いをしています。参加者は、県スポーツ振興課施設担当4名、建設会社は前田建設3名、設計は大建2名、シンコースポーツ埼玉支店から支店長以下2名とリモートで参加いただいた方々が8名、うち1名はシンコースポーツ九州佐賀の橋本次長にも参加いただいて、タワーの件とドライランドの件について議論を行いました。年末までに設計を固めるとの事でしたので、ぎりぎりの攻防ですが何とかクリアしていただけるようお願いをしている状況です。</p> <p>来年度の関東高校についてもすでに、競泳関係者との打合せ・飛込高体連担当の先生との打合せや、飛込関係者内での協議を進めているところですが、今週の15日に関東高体連連絡協議会が埼玉で開催され、およその運営体制について各都県の委員長および理事長へ申し伝えられることになる予定です。</p> <p>飛込競技は、選手は少ない人数なのですが、この規模の大会となると競技役員はそれなりにそろえる必要が出てきます。今年の開催だった茨城県の坂田先生は痛感されていると思います。できるだけ、いらっしやる都県の先生方にもお手伝いを頂かないと難しい状況ですので、ぜひご協力をお願いしたいと思っております。</p>
<p>茨城</p>	<p>本年度、関東高校開催にあたり、ご協力ありがとうございました。</p> <p>ジャッジの人数がギリギリであったことから、今後は出場選手がいる都県については帯同ジャッジを1名を必ず派遣することに加え、隣接都県についても役員とジャッジの派遣が必要がある。選手のためにも重要度高くご協力をお願いします。</p> <p>県内は、水戸DSとIKI!K!DCで活動している。</p> <p>初心者からジュニア国際大会代表選手までおりレベルはさまざまいる。高校生・大学生から競技を始めたいという選手もあり、まずはとにかく選手数を増やしていきたい。</p> <p>現在は、当該年度の国スポ強化を各所属で重点的に行なっている。今後、小学生の普及と強化を充実させていきたいところ。県南地区は拠点が無く、県立高校の定期人事異動も控えていることから、積極的な募集ができていない。</p>
<p>群馬</p>	<p>9月末をもって27年間お世話になった敷島公園水泳場が閉場した。新施設の設計に関する県の準備係の方とは野村先生にご協力をいただきながら、主となり意見交換を進めてくださっている。強化の面でも野村先生の存在は大きく、乗松飛羽の通う健大高崎さんの全面的なバックアップにより高校施設内に仮設テント式のドライランドが建設され、10月からは健大生に限らず群馬DCの活動も許可を受けて活動することができている。ただ、十分な広さがないため、安全面や効率性を考慮し、練習時間を分けて進めている。野村先生率いる高校生以上の選手は、週末県外の施設に通って強化を進めている。岡部率いる中学生以下の選手は週2.3回の頻度で健大練習場や閉校した高校の剣道場をレンタルして常時活動に取り組んでいる。指導者・環境・2029年の国スポ開催に向けて競技役員の確保が課題。</p>
<p>山梨</p>	<p>指導者の発掘とそれを支援するサポート体制の構築、ダイビングプールの建設提案を議会にする必要がある。</p>
<p>栃木</p>	<p>日環主催の飛込教室で多くの小学生が参加しているが、そこから選手への引き上げが難しい男子選手の発掘を今後模索していかなければならない</p>

## 8. 要望、その他

今回のプール建設で聞こえてきた声ですので、検討してください。ご自分たちの大事な場ともなります。プール建設をするたびにレイアウトで紛糾することが多く見受けられます。どの道、公認を取るには25Mのサイズはクリアしないとならないわけですから、飛込委員会で参考レイアウトを作った方がいいと思います。問題は、業者側の知識の無さとその知識の出所がどこにあるのわからないという不明瞭さあるのが考えられます。25mの幅という決まったサイズに収めればいいので、難しくないでしょう。これがベストというレイアウトを参考レイアウトとして飛込委員会側が持つ。プール建設の話は、公認を取るため日水連に来るわけですから、待ち構えることはたやすいはず。間に立って監修するのではなく、参考レイアウトとして業者側が確認できるものを用意して受け取れるようにする。今までたくさんのプールを見てきた先生方なら大したことのない作業だと私は思いますがいかがか。埼玉県:山岸

[関東高体連坂田]

高体連も世代が変わり、都県によっては担当者が不在の都県も出てきました。慣例では各都県高体連より1名のジャッジ派遣を行なってきたと聞いていますが、現在は茨城県以外どこの都県も派遣していない状況です。ジャッジが集まらなければ競技が運営できませんし、役員も足りなければ大会が運営できません。

①選手が出場する都県は帯同ジャッジ1名を派遣。②隣接都県は①以外に必要なに応じて競技役員とジャッジを派遣(可能であれば運営予算で招聘)

という枠組みを共通理解として、県水泳連盟及び都水協の予算に入れてもらうよう、会議に要望の提出をお願いします。当面は、大会運営費での派遣が主になると思いますので、開催地は準備が必要です。

②関東高校のエントリー書類が、校長認知書(学校顧問作成)とWeb-SWMSYSでのエントリーのみとなる見込みです。(申込書類と手間の微減)

[東京都]

①飛込ページ内の全国各加盟団体飛込競技関連情報バナーを設置

【内容】・審判講習会実施加盟団体日時・申込フォーム

・飛込体験開催日時・申込フォーム

・ニチレイ飛込検定日時・申込フォーム

・全国各都道府県別飛込チーム一覧およびホームページリンク掲載

②強化普及部主催イベント

【内容】・コーチングクリニックの定期開催(年1回)

・ナショナル合宿見学または合同練習日の立ち上げ

③アスリート委員会主催イベント

【内容】飛込日本代表選手による普及イベント

# 飛込委員会全国会議（北信越）ブロック報告資料

## 1. 2024年度競技会実績

### （北信越ブロック関係）

大会名	北信越高等学校選手権大会
日程	2024年7月20日～7月21日
開催場所	ダイエープロビスフェニックスプール
参加県	新潟県、富山県、石川県
参加人数	8人

大会名	北信越ジュニアオリンピック水泳競技大会
日程	2024年7月19日～7月21日
開催場所	ダイエープロビスフェニックスプール
参加県	新潟県、富山県、石川県、長野県、福井県
参加人数	37人

大会名	富山室内オープン
日程	2月15日（土）～2月16日（日）
開催場所	富山県総合体育センター 飛込プール
参加県	石川県、新潟県、福井県（2023年実績）
参加人数	50人（2023年実績）

### （全国大会関係）

大会名	第64回全国中学校水泳競技大会
日程	8月17日～19日
開催場所	石川県：金沢プール
参加人数	約85名

大会名	第7回中田周三杯飛込競技大会
日程	12月7日～8日
開催場所	石川県：金沢プール
参加人数	約80名

## 2. 2024年度ブロック合宿実績

合宿名	
日程	
開催場所	

## 3. 2025年度競技会予定

### （北信越ブロック関係）

大会名	北信越高等学校選手権大会
日程	2025年7月20日～7月21日
開催場所	石川県小松市末広屋外水泳プール（主管：福井県高体連）

大会名	北信越ジュニアオリンピック水泳競技大会
日程	2025年7月19日～7月21日
開催場所	石川県小松市末広屋外水泳プール（主管：福井県水連）

### （全国大会関係）

大会名	第8回中田周三杯飛込競技大会
日程	2025年12月12～14日
開催場所	石川県金沢プール
担当者	横山

## 4. 2025年度 ブロック合宿予定

合宿名	北信越合宿
日程	10月25日（土）～10月26日（日）
開催場所	富山県総合体育センター 飛込プール

## 5. 諸会議

### （実施）

会議名	
日程	
開催場所	
対象	

### （計画）

会議名	
日程	
開催場所	
対象	

## 6. 各県の普及活動

新潟県	①こどもスポーツチャレンジ事業（10月5日、12日の2回実施：参加者数約40名） ②長岡DCエンジョイコース（毎週金曜日開催：10名在籍） ③長岡DCチャレンジコース（毎週土曜日開催：15名在籍） ④長岡DCマスターズコース（毎週土曜日開催：3名在籍）
長野県	年5回程度、体験教室を実施。15名程度の参加される。
富山県	・プール主催のジュニア短期教室で小学生10人参加と成人向けの体験教室で10人参加 ・スイミングクラブの小中学生30人に体験教室を実施 ・大会：毎年2月3週目に富山室内オープンを開催し、40人程度参加している
石川県	飛込プールを有する金沢市、白山市、小松市の3地区で随時体験教室を行っている。 毎年12月の中田周三杯飛込競技大会等において、飛込競技を広く県民、市民に周知し観戦を呼びかけるなど、広報活動に注力している。
福井県	クラブ活動 週3回 平日2回 休日1回 教室活動 毎月第2・第4日曜日 午前開催（今年度は教室申込0件） その他、SNSや県のHPにてクラブ活動の広報および、選手・教室希望者や体験希望者の募集を随時受け付けている

## 7. 各県の現状と課題

新潟県	・新潟県飛込委員会の組織強化と指導力向上が課題 強化、普及、運営体制の構築と役割分担を明確にする。 ・普及と発掘（強化）を目的に、長岡DC選手ステップコース、マスターズコースを新規設立。 ・県外からの合宿歓迎します。担当：荒木駿図
長野県	現状：おかげさまで、クラブ会員13名となり、全国大会出場することができる選手が育ってきた。 課題：指導力向上と練習環境整備が急務である。改装工事のため、プールが利用できなくなる。近県のプールで練習をさせていただく機会が増えると思うが、その際はよろしくお願ひしたい。
富山県	人材不足に関する現状と対応 ・指導者不足の影響 - 指導者不足により、普及活動や初心者選手の育成が十分に進んでいない状況 - 初心者への育成においても、課題が解決されていない状態 ・今年度の指導体制 - 指導者は今年度、強化1名と普及1名の2人体制で活動した - 全中帯同や全中直前練習では普段指導していないコーチが一時的に指導を担当した ・競技会運営 - 選手の保護者が役員資格を取得し競技会運営に協力している ・競技者数の減少 - 短期教室を開催しているものの、競技者の増加にはつながらない - 進学などを理由に競技を続けられなくなる選手もおり、競技者数の減少が進んでいる
石川県	小学生以下の普及は従来より継続して行っている。 各種競技会に出る選手は中学生に集中し、高校生が少ない状況となっている。 選手が地元の大学に進学して競技を続けられる環境づくりも大切であり、指導者の処遇も含めて対策を検討していきたい。
福井県	現状 小6男子1名の選手がおり、今年度の北信越大会に参加した。福井県からの参加選手は10年以上空いていたが普及に向けた活動の成果だと思う。次年度は中学生になるが、本人が他競技をメインに活動していきたい思いが強く、飛込競技を継続するのかわ今のところ不明。継続はもちろんだが、新規生徒の確保を併せて行っているところ。 課題 県内唯一の飛込プールが公認を受けていない為、次年度予定されている北信越大会（福井主催）も他県の協力が前提となっている。今後の競技普及を踏まえ、施設管理者（福井県）に現状と今後について意見しているが、公認取得の為に動く様子はない。安全な活動場所の確保を訴えているが、本県における飛込競技の普及意思の低さが大きな壁だと感じている。また、現状を打破していく具体策や段階的な構想などを県水連も持ち合わせていないため、飛込競技に関する全ての事柄が低迷している。（指導者育成・練習環境・競技役員育成・審判員育成など）

## 8. 要望、その他

--

# 飛込委員会全国会議（東海）ブロック報告資料

## 1. 2024年度競技会実績

### （東海ブロック関係）

大会名	東海JOC予選大会
日程	7月15日（月）
開催場所	三重交通Gスポーツの杜水泳場（三重県）
参加県	三重県・静岡県・愛知県
参加人数	23名

大会名	東海高等学校選手権大会
日程	7月21日（日）
開催場所	長良川メモリアルプール（岐阜県）
参加県	三重県・静岡県・愛知県
参加人数	6名

### （全国大会関係）

大会名	とびうお杯 全国少年少女水泳競技大会
日程	8月4日（日）
開催場所	日本ガイシアリーナ（愛知県）
参加人数	52名

## 2. 2024年度ブロック合宿実績

合宿名	ブロックでの実施はありません。
日程	
開催場所	

## 3. 2025年度競技会予定

### （東海ブロック関係）

大会名	東海高等学校選手権大会
日程	7月20日（日）
開催場所	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿水泳場（三重県） 担当者：池田 庸祐

大会名	東海JOC予選大会
日程	7月27日（日）
開催場所	日本ガイシアリーナ（愛知県） 担当者：湯浅 千鶴子

### （全国大会関係）

大会名	とびうお杯 全国少年少女水泳競技大会
日程	8月3日（日）
開催場所	日本ガイシアリーナ（愛知県）
担当者	和田 守弘

## 4. 2025年度 ブロック合宿予定

合宿名	東海ブロック合宿
日程	検討中
開催場所	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿水泳場（三重県）

## 5. 諸会議

### （実施）

会議名	東海ブロック委員長会議
日程	7月21日（日）
開催場所	長良川メモリアルプール（岐阜県）
対象	各県飛込委員長・高体連東海ブロック長

### （計画）

会議名	東海ブロック委員長会議
日程	7月20日（日）
開催場所	三重交通Gスポーツの杜水泳場（三重県）
対象	各県飛込委員長・高体連東海ブロック長

## 6. 各県の普及活動

静岡県	<p>富士、静岡、浜松の3施設における飛込教室、飛込体験の状況</p> <p>○富士：1期4回から8回の飛込教室（定員15名）を年間3期実施。定員は常に満員。この他、8月の施設無料開放日に飛込体験イベントを実施。</p> <p>○静岡：1期5回から8回の飛込エンジョイ教室（定員20名程度）を4期実施。この他、無料体験イベントなどを実施。</p> <p>○浜松：施設改修のため本年5月より来年8月まで普及活動ができません。</p>
-----	---

愛知県	2024年7月まで日本ガイシアリーナプールの改修工事のため、名古屋市スポーツ協会・愛知県スポーツ協会の事業である飛込教室は開催できなかった。 改修工事終了後2024年8・9月は名古屋市の教室1期6回（30名参加）・県の事業である小学4・5年対象体験プログラムが2回（21名参加）・小6～中2対象体験プログラムが2回（15名参加）実施できた。
三重県	○9/7に県スポーツ協会の「スポーツ体験会」（小学生対象）を実施。 85名募集、抽選の結果32名参加。継続者7名。 第2回「スポーツ体験会」を1/18に開催予定。 ○10/14にスポーツの杜鈴鹿のイベントで「飛込体験会」を実施。64名参加。 ○飛込検定を12月or1月に開催予定。日程調整中。
岐阜県	岐阜県の普及委員会より補助金をいただき、今年も飛込教室（5回）を実施して8名の参加。 最終日には検定を実施し、このうち3名が参加した。

## 7. 各県の現状と課題

静岡県	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内に3つの飛込施設（富士、静岡、浜松）があり、通年で利用が可能な施設である。浜松のプールについては、本年5月から改修により2シーズン利用ができない。3施設で分散して開催していた大会、合宿等が2施設に集約され土日祝日の利用が制限されている。</li> <li>選手育成としては、浜松と富士で活動している。また、静岡、富士では、飛込愛好家が活動をしている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな体験会や教室を指導者不足により開催できず普及活動ができていない。</li> <li>選手が非常に少ない。</li> <li>指導者・役員の後継者がいない。指導や拘束時間等に見合う謝金を得ることができずボランティアに近い現状では、負担が大きく理解されないと考えている。</li> </ul>
愛知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内唯一の施設である日本ガイシプールが2024年7月まで改修工事で使用できなかった。今年度もインターハイ予選・全中予選を静岡県（富士）にお世話になり、一緒に競技会を開催してもらった。</li> <li>選手育成・強化については三重県・静岡県（浜松）のプールにお世話になっていたが浜松トビオも2024年6月より改修工事のため利用できなくなった。なかなか思うようにいかないものだ。</li> <li>普及についてはガイシが利用できるようになった8・9月は少しだけ活動できた。</li> </ul> <p>常に課題である競技役員・審判員の増員、昇格・指導者育成には引き続き力を入れていく。通年利用できる施設がほしい。</p>
三重県	<ul style="list-style-type: none"> <li>○三重交通Gスポーツの杜鈴鹿が1年中使用できる為、拠点として活動をしています。普及を中心に活動を行っており、飛込体験会など飛込競技の普及に努めています。</li> <li>○課題・指導者の育成、確保。</li> <li>○派遣審判員の確保。平日開催の場合、なかなか確保できない。</li> </ul>
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東海高校総体では悪天候が予想され当初予定していた日程を早めて競技会が無事に終わりましたこと感謝しております。また岐阜県だけでは競技会開催には役員なども足りず愛知県にご協力いただきました。</li> <li>・飛込教室の運営にあたり、プール利用料などの関係でもう少し定員を増やさないと予算的に運営できない。岐阜県水泳連盟の普及委員会より補助をいただいで運営しているが補助が打ち切られたら運営はかなり難しい。また指導者についても外部委託している為、将来的に心配である。</li> </ul>

## 8. 要望、その他

<p>競技役員講習会について、各県の状況をお聞きしたい。（※飛込だけの競技役員の方も競泳の開催時に受講しているのか。参加費はいくらなのか。等）【愛知県】</p>
--



# 飛込委員会全国会議（近畿）ブロック報告資料

## 1. 2024年度競技会実績

### （近畿ブロック関係）

大会名	関西選手権
日程	2024年6月28日（金）～30日（日）
開催場所	京都アクアリーナ
参加県	48団体
参加人数	124名

大会名	近畿高等学校水泳競技大会
日程	2024年7月21日（日）
開催場所	京都アクアリーナ
参加県	1府1県
参加人数	男子2名・女子0名

大会名	関西ジュニア選手権（J0予選会）
日程	2024年7月28日（日）
開催場所	京都アクアリーナ
参加県	5団体
参加人数	12名

大会名	近畿中学校水泳競技大会
日程	2024年8月10日（土）
開催場所	京都アクアリーナ
参加県	1府3件
参加人数	男子2名・女子3名

### （全国大会関係）

大会名	JOCジュニアオリンピック夏季大会
日程	2024年8月22日～25日
開催場所	滋賀県草津市立プール（インフロニア草津アクアティクスセンター）

大会名	日本選手権
日程	2024年8月30日（金）～9月1日（日）
開催場所	滋賀県草津市立プール（インフロニア草津アクアティクスセンター）

## 2. 2024年度ブロック合宿実績

実施せず

## 3. 2025年度競技会予定

### （近畿ブロック関係）

大会名	関西選手権
日程	2025年6月27日（金）～6月29日（日）
開催場所	Asue大阪プール

大会名	近畿高等学校水泳競技大会
日程	調整中
開催場所	Asue大阪プール

大会名	関西ジュニア（J0予選会）
日程	調整中
開催場所	Asue大阪プール

大会名	近畿中学校水泳競技大会
日程	調整中
開催場所	Asue大阪プール

### （全国大会関係）

大会名	JOCジュニアオリンピック夏季大会
日程	2025年8月22日～25日
開催場所	Asue大阪プール
担当者	徳本 奈保美

大会名	2025国民スポーツ大会
日程	2025年9月13日～15日
開催場所	インフロニア草津アクアティクスセンター
担当者	増田圭亮

大会名	2025全国学生選手権飛込競技
日程	2025年9月 6日～ 7日
開催場所	Asue大阪プール
担当者	徳本奈保美

4. 2025年度 ブロック合宿予定

合宿名	検討中
日程	
開催場所	

5. 諸会議

(実施)・(計画)

実施予定なし

6. 各県の普及活動

大阪府	令和6年度は大阪プールが回収工事の為使用できず京都アクアリーナでの活動となった。そのため教室と開催できなかった。10月以降は滋賀・草津に室内プールができたためそちらを使用して継続している。令和7年5月sに業改修工事も終わるため現状に戻る。
京都府	毎年シーズン中に体験教室を8回実施
兵庫県	JSS宝塚にて2名の選手のみ実施継続中。
奈良県	プールがなくなったので活動できていない(できない)。
和歌山県	体験教室を実施し、体験教室参加者の中で選手としての継続を検討する場合は8月の練習に参加できるようにした。
滋賀県	8月からインフロンア草津アクアティクスセンターがオープンし、滋賀県水泳連盟と滋賀立命館ダイビングが各団体で教室を実施している。

7. 各県の現状と課題

大阪府	来年からは通常通り大阪プールと草津のプールをお借りし教室及び強化が可能となる。競技会についても近畿の大会は大阪プール・全国大会通常の全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季大会及びインカレは大阪プールでの実施が可能となる。
京都府	コーチの不足と高齢化 選手の増加と育成
兵庫県	特になし
奈良県	中学2年生、小学生それぞれ1名ずつの選手がいるため、近府県のプールを借りて練習に通っている。年3回の強化合宿も行っている。可能性は全く低いが、7年後(?)に国スポが当番県にあたるので飛込プール施設ができればと願っている。
和歌山県	指導者不足のため、全国大会の期間中、指導者が不在となり、練習が停滞してしまう。また合宿等もし難い状況である。
滋賀県	令和7年度は国スポが草津にて開催されます。よろしくお願ひ申し上げます。

8. 要望、その他

--

# 飛込委員会全国会議（中国）ブロック報告資料

## 1. 2024年度競技会実績

### （中国ブロック関係）

大会名	第75回 中国五県対抗水泳競技大会
日程	令和6年6月22日（土）～6月23日（日）
開催場所	鳥取県・鳥取県立東山水泳場
参加県	島根県・広島県・岡山県・鳥取県
参加人数	男子18名、女子15名、合計33名

大会名	JOC全国ジュニアオリンピック中国ブロック予選
日程	令和6年7月20日（土）・21日（日）
開催場所	島根県立水泳県立プール
参加県	島根県・広島県・岡山県・鳥取県
参加人数	男子13名、女子12名、合計25名

大会名	第71回中国高等学校選手権水泳競技大会
日程	令和6年7月20日（土）・21日（日）
開催場所	島根県立水泳県立プール
参加県	島根県・広島県・岡山県
参加人数	男子3名、女子2名、合計5名

### （全国大会関係）

大会名	実施なし
日程	
開催場所	
参加人数	

## 2. 2024年度ブロック合宿実績

合宿名	実施なし
日程	
開催場所	

## 3. 2025年度競技会予定

### （中国ブロック関係）

大会名	第76回 中国五県対抗水泳競技大会
日程	令和7年6月23日（土）・24日（日）
開催場所	広島県・福山通運ローズアリーナ

大会名	第73回中国高等学校選手権水泳競技大会・JOC全国ジュニアオリンピック中国ブロック予選
日程	令和7年7月19日（土）・20日（日）
開催場所	鳥取県・鳥取県立東山水泳場

### （全国大会関係）

大会名	令和7年度全国高等学校総合体育大会
日程	令和7年8月17日（日）～20日（水）
開催場所	広島・福山通運ローズアリーナ
担当者	広島県高体連飛込担当 桑田

## 4. 2025年度 ブロック合宿予定

合宿名	中国五県ブロック合宿
日程	令和7年5月3日（土）～6日（火）
開催場所	広島県・福山ローズアリーナ

## 5. 諸会議

### （実施）

会議名	中国五県込委員長会議
日程	未定
開催場所	オンライン会議（ZOOM）
対象	中国五県（広島県・岡山県・島根県・鳥取県）

## 6. 各県の普及活動

島根県	プール主催のトランポリン教室（週1回実施）と連盟主催の体験会（年2回実施）で飛込競技の勧誘を実施。大学生も指導スタッフとして協力。体験会からクラブへ加入して継続する子供が少ないことが課題。
広島県	通年毎週土曜日 ふくやま飛込クラブ 登録者 15名 夏期飛込教室（夏休み週2回）参加者18名 飛込講習会 7月27・28日（寺内健招聘）67名 ダイビングフェスティバル（初心者対象）7月28日 49名
岡山県	岡山県環境文化部スポーツ振興課 競技力向上班の つくろう・のぼそう スポーツプロジェクト「レッツチャレンジ 競技体験事業」に協力していただき、7月22日に体験教室を開催しました。小学生を対象として 定員30名で募集したところ、30名を超える応募がありました。しかし、教室終了後残念ながら 選手希望者は いませんでした。
鳥取県	飛込体験教室（全5回）を行い、14名の参加者があった。その中から、教室に入りたいという子供はいなかったが、大人の方の希望があった。現在は、マスターズの教室が立ち上げられていないので、来年に向けて整備をし子供から大人まで多くの方々が参加できるクラブチームを作っていきたい。8月には、マスターズ交流会を開催し、総勢9名の参加者があり盛大に行う事ができた。来年も開催予定である。
山口県	現在、活動状況なし

## 7. 各県の現状と課題

島根県	小学生から大学生まで15名が活動中。指導者は3名体制で初心者、ジュニア、トップの3グループに分けて指導。指導方針を統一させて、一貫指導体制が構築できるかが課題。
広島県	現状、小中高大と選手がいるので、流れ良く大学まで進めるようにできることが今後大事になる。平成大学が県外からの入学者を望んでいるが、ここ数年高校でやめてしまう現状が多く感じられるので、飛込競技の発展としても大学進学まで考える必要があるのではないかと思う。
岡山県	現状は、コーチ1名で 大学生1名・高校生2名・小学生4名を指導しましたが限界を感じている。課題としては、指導者不足の改善。指導者がボランティアなので対策が難しい。
鳥取県	指導者2名 選手5名（中学生2名、小学生3名）で活動をしている。オフ期には、月に2回程度室内プールを求めて県外遠征を行い、競技力向上とモチベーション維持に努めている。冬季練習環境の充実と指導者の育成が課題である。
山口県	現在、活動状況なし

## 8. 要望、その他

<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国J0開催期間の観覧席入場について、当日の入場もできるような仕組みにしてほしい。</li> <li>・国スポの参加標準点について見直しを検討してほしい。参加標準点のあり方が少年標準点と成年標準点設定のバランスが悪く成年選手が10名ほどしか参加できなくなっている。見直しをしていただき、適正レベルの選手が出場できるようにしてほしい。</li> </ul>
---

# 飛込委員会全国会議（四国）ブロック報告資料

## 1. 2024年度競技会実績

### （四国ブロック関係）

大会名	全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会飛込競技四国ブロック予選
日程	2024年7月13日
開催場所	高知県立春野総合運動公園
参加県	徳島県、香川県、高知県
参加人数	16名（徳島1、高知10、香川5）

大会名	四国高校総体
日程	2024年7月14日
開催場所	高知県立春野総合運動公園
参加県	高知県、香川県
参加人数	4名（高知3、香川1）

### （全国大会関係）

大会名	なし
日程	
開催場所	
参加人数	

## 2. 2024年度ブロック合宿実績

合宿名	なし
日程	
開催場所	

## 3. 2025年度競技会予定

### （四国ブロック関係）

大会名	全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会飛込競技四国ブロック予選
日程	2025年7月19日
開催場所	高知県立春野総合運動公園

大会名	四国高校総体
日程	2025年7月20日
開催場所	高知県立春野総合運動公園

### （全国大会関係）

大会名	なし
日程	
開催場所	
担当者	

## 4. 2025年度 ブロック合宿予定

合宿名	なし
日程	
開催場所	

## 5. 諸会議

### （実施）

会議名	伝達講習会
日程	1月頃予定
開催場所	未定
対象	

### （計画）

会議名	伝達講習会
日程	未定
開催場所	未定
対象	

## 6. 各県の普及活動

徳島県	特にしていない。
-----	----------

高 知 県	体験二回 飛込週三回 5名程度
-------	-----------------------

香 川 県	未実施
-------	-----

## 7. 各県の現状と課題

徳 島 県	全国大会上位入賞を目標に練習をしているが、練習環境が充実していない。全国大会や国際大会に出場し活躍する選手の育成に向け、安心安全に競技に専念できるような環境作りのための支援が必要。
-------	--

高 知 県	高校生3名のうち2名が大学進学後も競技を継続する予定。 四国高校総体を輪番制ではなく高知県開催としていたが、来年度は四国の高校生が香川に1名となり開催県の高校生は0名という状況に陥った。
-------	--

香 川 県	現在、選手女子4名 未登録女子2名 計6名で競技力向上に努めている。 指導者不足が永年の課題であり、現在は平日は40～50分程度の練習を週に3日程度、週末もドライランドが屋外のため、ひたすら施設内のエントランスの端っこでトレーニングを実施している状況である。 せめて室内の練習環境を整えたい。
-------	--

## 8. 要望、その他

国スポにおけるエントリーの仕組みについて、少年はブロック大会での得点で、成年は関西と関東のため不公平さが感じられる。
--

# 飛込委員会全国会議（九州）ブロック報告資料

## 1. 2024年度競技会実績

### （九州ブロック関係）

大会名	第26回 全九州高等学校選手権（末弘杯）飛込競技大会
日程	令和6年6月8日（土）
開催場所	福岡県・県立総合プール
参加県	福岡・佐賀・大分・鹿児島・沖縄
参加人数	男子7名、女子2名 計9名

大会名	令和6年度 第53回全九州高等学校総合体育大会
日程	令和6年7月13日（土）～14日（日）
開催場所	沖縄県・奥武山運動公園水泳場
参加県	福岡・佐賀・大分・鹿児島・沖縄
参加人数	男子7名、女子2名 計9名

大会名	第47回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会九州ブロック予選会
日程	令和6年7月12日（金）～14日（日）
開催場所	沖縄県・奥武山運動公園水泳プール
参加県	福岡・大分・佐賀・鹿児島
参加人数	11人

### （全国大会関係）

大会名	令和6年度全国高等学校総合体育大会
日程	令和6年8月17日～8月20日（火）
開催場所	大分県・別府市営青山プール
参加人数	男子26名、女子18名 計44名

大会名	SAGA2024国民スポーツ大会
日程	令和6年9月14日（土）～9月16日（月）
開催場所	佐賀県・SAGAアクア
参加人数	64名

## 2. 2024年度ブロック合宿実績

合宿名	夏季九州合同合宿
日程	令和6年8月7日（水）～8月11日（日）
開催場所	大分県：別府青山プール

## 3. 2025年度競技会予定

### （九州ブロック関係）

大会名	第27回 全九州高等学校選手権（末弘杯）飛込競技大会
日程	令和7年6月14日（土）
開催場所	福岡県・福岡県立総合プール

大会名	令和7年度 第54回全九州高等学校総合体育大会
日程	令和7年7月20日（日）～21日（月）
開催場所	大分県・別府市営青山プール

大会名	第48回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会九州ブロック予選会
日程	令和7年7月20日（日）～21日（月）
開催場所	大分県・別府市営青山プール 担当者：茶木康寛

### （全国大会関係）

大会名	第65回全国中学校水泳競技大会
日程	令和7年8月17日（土）～8月19日（月）
開催場所	鴨池公園水泳プール
担当者	坂之上 卓

## 4. 2025年度 ブロック合宿予定

合宿名	夏季九州合同合宿
日程	令和7年8月
開催場所	鹿児島県：鴨池公園水泳プール

## 5. 諸会議

### （実施）

会議名	
日程	
開催場所	
対象	

### （計画）

会議名	九州ブロック飛込委員会
日程	令和7年1月18日（土）もしくは1月25日（土）
開催場所	オンライン
対象	九州各県飛込委員長及び各部長

## 6. 各県の普及活動

福岡県	施設主催の飛込教室（小学生対象・週1回・定員10名）を行っている。また、スポーツの日には、施設主催のイベントで飛込体験会を開催した。 その他、直接クラブに問い合わせがあった場合は、随時体験等を行うようにしている。
-----	---

鹿 児 島 県	5月～9月、毎月飛込体験教室を開催し、100名程度参加するが、新規選手獲得無し。10月～3月は、トランポリン教室を開催。
大 分 県	今年度も活動拠点である別府市営青山プールで告知（募集案内）を行った。玉井選手の飛込史上初となるメダル獲得もあり、行政及び個人に連絡があることを期待したが、残念ながら新規申込者は0であった。
沖 縄 県	体験希望者がいれば、シーズン中の毎週土曜日10:00～12:00の施設の子ども使用料無料の時にやっている。しかし、台風や指導者が大会遠征で不在など体験希望者とのタイミングが合わないことも多く、ほとんど実施できていない。
佐 賀 県	今年度は県スポーツ協会主催の飛込教室（トライアル事業）を5回開催予定。定員30名は常に満員である。現段階で1名がクラブへ入会。引き続き紙媒体やSNS等で告知していきたい。
熊 本 県	熊本市のスポーツイベントがなくなったため、普及活動の実施はありません。

## 7. 各県の現状と課題

福 岡 県	現在、4名（社会人1名、中学生2名、小学生1名）で活動している。選手数がかなり減ってきているので、小学生を中心に選手を獲得できるようにしたい。 練習は、4月下旬～10月中旬までプール練習、他期間はスケートリンクが設置されプール練習はできない為、プールサイドにて陸上練習を行っている。冬季の練習環境が悪いので工夫して練習していく必要がある。
鹿 児 島 県	選手8名（社会人1名、高校生3名、中学生3名、小学生1名）、なかなか新規の選手獲得へ繋がらないため、小学校低学年向けにスポーツ教室を飛込プールサイドで毎週実施。13名程度集まり、飛込に触れてもらう機会を作っている。マスターズクラスも開講し、参加者3名。
大 分 県	選手6名（高校生2名、中学生1名、小学生3名） 週6日で活動し、夏季は別府市営青山プール、冬季はプールに隣接の別府翔青高校を中心に練習を行っている。 競技役員やOBは少しずつ増えてきたものの、単独の競技開催や強化スタッフの充実までには至っていない現状である。
沖 縄 県	高校女子選手が一人いたが、卒業後は飛込を続けないため、今年度でもって選手・練習生は一人もいなくなる見通しである。
佐 賀 県	指導者3名・選手6名（中学生1名、小学生5名）で活動している。 4月末から10月末まで加温設備とナイター設備を利用しながら練習し、11月から4月までは50m室内プールに設置している1m飛板とドライランドで練習している。 活動はコース制にしており、指導者3名が担当しているコースの選手を指導する形をとっている。
熊 本 県	屋内プールはあるが、指導者や選手がいない。設置されている飛び板は20数年前のものである。数年後に国民スポーツ大会の開催地となっているため、今後は飛び込み設備を整えていく予定。

## 8. 要望、その他

--